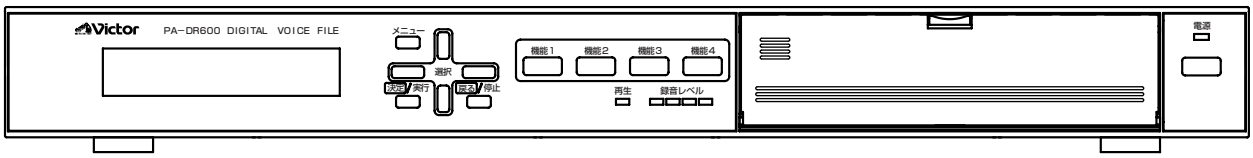
デジタルボイスファイル

型名 PA-DR600

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

著作権について

本製品を使ってお客様ご自身で任意のメッセージや音声を録音してご利用いただくことができますが、第三者の著作物などをご利用になる場合には、著作権法その他により、お客様の責任で、権利者の許諾を得ていただく必要があります。

LST0410-001B

特長

ＰＣＭ による高音質録音再生

音楽 CD と同等の 16 bit LPCM(非圧縮)の録音 / 再生に対応。用途に応じて、μ-law 圧縮形式も選択可能です。

大容量デジタルメモリーカードによる長時間録音が可能

・最大ファイル数 999、最長約 6 時間(デジタルメモリーカード容量が 512 MB 時)の音声を記録できます。
・録音したファイルをプレイリストに登録することで、最大 100 ファイルを組み合わせて 1 つのメッセージとして再生できます。
・音声ファイルおよび本機の設定データは、すべてデジタルメモリーカード(以降、メモリーカードと呼びます。)に記録しますので、メモリーカードを差し換えるだけで運用形態を変更できます。

メカレスによる高信頼性、長寿命

半導体メモリーカードの採用により、回転や駆動のメカを使用しない高信頼性設計です。メンテナンスフリーで長寿命、繰り返しの使用にも音質の劣化がありません。

外部制御入力端子を 15 端子装備

・タイマーやセンサーなど、制御機器からの外部制御入力を 15 回路装備しています。
・最大 15 個のプレイリストをダイレクトに再生可能です。
・バイナリ(2 進数)モードでは、最大 999 個のプレイリストを再生可能です。あらゆる場面でのメッセージ再生に対応できます。

制御出力端子を 2 端子装備

本機の再生動作に連動して下記のことができます。
・パワーアンプの電源を制御する。
・再生終了後に外部機器の制御などをする。

ミキシング出力可能な外部入力端子を装備

BGM 機器などを接続し、本機の再生音とミックスして出力できます。また、フェードイン / アウト時間、ミキシングレベルを設定可能です。

ワンタッチ再生が可能な機能ボタンを 4 個装備

本機前面に機能ボタンを 4 個装備しています。臨時のメッセージなどをワンタッチでマニュアル再生できます。

2 元独立再生に対応

2 つの出力から別々のファイルを独立して再生する「2 元出力モード」に対応しています。本機 1 台で 2 台分の再生ができます。

パソコンを使って編集が可能

デジタルボイスファイル設定ソフトウェア(PA-ZS600R、別供給品)を使用して、パソコンで下記のようなことができます。
・本機の各種機能やプレイリストの設定を行う。
・パソコン内の音声ファイルをメモリーカードに登録する。

非常用電源(DC 24 V)に対応

・非常電源ユニットから電源(DC 24 V)を供給して本機の動作を可能にすることができます。
・非常用放送システムなどと組み合わせて停電時の放送にも対応します。

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた

ご注意 操作上の注意が書かれています。

メモ 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞ 参考ページや参照項目を示しています。

■本書の記載内容について

●本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
●本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、©などのマークは省略してあります。
●本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

正しくお使いいただくための ご注意

保管および使用場所

■ 次のような場所に置かないでください。
誤動作や故障の原因になります。
- 許容動作温度（0 ℃～ 40 ℃）範囲外の 暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度（30% ～ 80%）範囲外の湿気の多いところ
- 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

■工事、設定は専門業者に依頼する
本機の設置、接続や設定には、技術を必要とします。
販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。

■機器を重ねて使用しない
お互いの熱やノイズの影響で誤作動、故障、火災の原因となります。

■通気孔をふさがない
通気孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので火災の原因となります。本システムを横倒し、逆さま、あお向けの状態で使用しないでください。

■本システムの上に物を置かない
テレビモニターなどの重いものや、本システム各機からはみでるような大きなものを置くと、バランスが崩れて倒れたり、落下し、ケガの原因となります。

■本システムの上に乗らない、ぶら下がらない
倒れたり壊したりしてケガの原因となります。特に小さいお子様には注意してください。

■本システムの上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

■内部に物を入れない
通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

お手入れについて

■ 本機はやわらかい布でふいてください。
シンナーやベンジンでふくと表面が溶けたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

移動について

■ 移動するときは接続コード類を外してください。
移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

省エネについて

■ 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源コードについて

■ 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしないでください。
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

メモリーカードについて

■ 本機で使用するメモリーカードは、必ず指定の「デジタルメモリーカード」（別売）をお使いください。
指定のメモリーカード以外での動作保障はいたしません。
指定品：
「デジタルメモリーカード」（サービスパーツ扱い）
品番 QAM0961-001（128 MB）
QAM0961-002（512 MB）

著作権について

■ 本製品を使ってお客様ご自身で任意のメッセージや音声を録音してご利用いただくことができますが、第三者の著作物などをご利用になる場合には、著作権法その他により、お客様の責任で、権利者の許諾を得ていただく必要があります。

もくじ

はじめに

特長 2
正しくお使いいただくためのご注意 3
もくじ 4
各部の名称とはたらき 6
・ 前面 6
・ 背面 8

システム動作中の操作について

電源の入れかた / 切りかた 9
・ 電源を入れる 9
・ 電源を切る 9
システム動作の実行と停止 10
・ システム動作を実行する 10
・ システム動作を停止する 10
【機能】ボタン、【制御入力】端子に割り当てた動作の実行と停止 11
・【機能】ボタン、【制御入力】端子の動作を実行する 11
・【機能】ボタン、【制御入力】端子の動作を停止する 11
ボタンのロックと解除 12
・ ボタンをロックする 12
・ ボタンのロックを解除する 12
LCD 画面表示を切り換える 13
・ 再生動作中の画面表示 13
・ 詳細表示画面に切り換える 13
メモリーカードを本機から取り出す 14

準備

準備の流れ 15
Step1: 本機を設置する 16
・ 本機をラックに取り付ける場合 16
Step2: 外部機器を接続する 17
・ システム構成例 17
・ アンプを接続する 18
・ 外部音声機器を接続する 20
・ スイッチやタイマーから本機を制御する（制御入力端子へ接続） 21
・ 本機で外部接続機器を制御する（連動出力端子へ接続） 23
・ 録音する機器を接続する 24
・ ヘッドホンを接続する 25
・ パソコンから本機の設定をする 26
・ 非常電源ユニット(EM-N112) を接続する 26
Step3: デジタルメモリーカードを入れる 27

基本操作

メニュー画面の構成 28
基本的な使い方の設定手順 29
Step1：録音をする 30
・ 録音手順 30
・ 録音の音質について 31
・ step1:録音の音質を設定する 32
・ step2:録音をする 32
Step2: 再生をする 34
・ ファイルを再生する 34
・ プレイリストを再生する 35
Step3: 出力モードを設定する 36
Step4: 制御入力の優先モードを設定する 37
・ パルス方式とレベル方式について 38
・ 優先順位について 38
Step5: 制御入力の制御方式を設定する 40
Step6: 再生ウェイト時間を設定する 42
Step7:【制御入力】端子に起動番号と動作を割り当てる 43
Step8: 設定した内容を保存する 47
その他の設定 48
・ LCD バックライト設定 48
・ 電源投入時の動作を設定する 49

応用操作

ファイルを編集する 50
・ 無音部を消去する 50
・ 音量のバラツキを補正する(ゲイン補正) 52
・ ファイル形式を変更する(フォーマット変換) 54
・ ファイルをコピーする 56
・ ファイルを消去する 57
プレイリストによるさまざまな再生方法例 58
プレイリストを設定する 59
・ プレイリスト名を変更する 60
・ メッセージを追加する 61
・ メッセージを修正する 62
・ メッセージを削除する 64
・ 再生音量レベルを設定する 65
・ プレイリストをコピーする 66
・ プレイリストを消去する 67
【機能】ボタンにプレイリストを設定する 68
外部機器を制御する 72
・ 外部機器の制御例 72
・ 連動出力設定をする 73
・ ブランク / インターバル期間のアンプ電源制御を設定をする 74
外部音声機器からの音声をミキシング出力する 75
・ 優先音源を設定する 75
・ 外部入力レベルを設定する 75
・ ミキシングの設定をする 76
離れた場所から録音の制御をする 78
・【制御入力】端子の制御方式を設定する 78
・【制御入力】端子に消去と録音の機能を設定する 79
・【連動】端子にビジー設定をする 79
・ ファイルを消去する 80
・ ファイルを録音をする 81

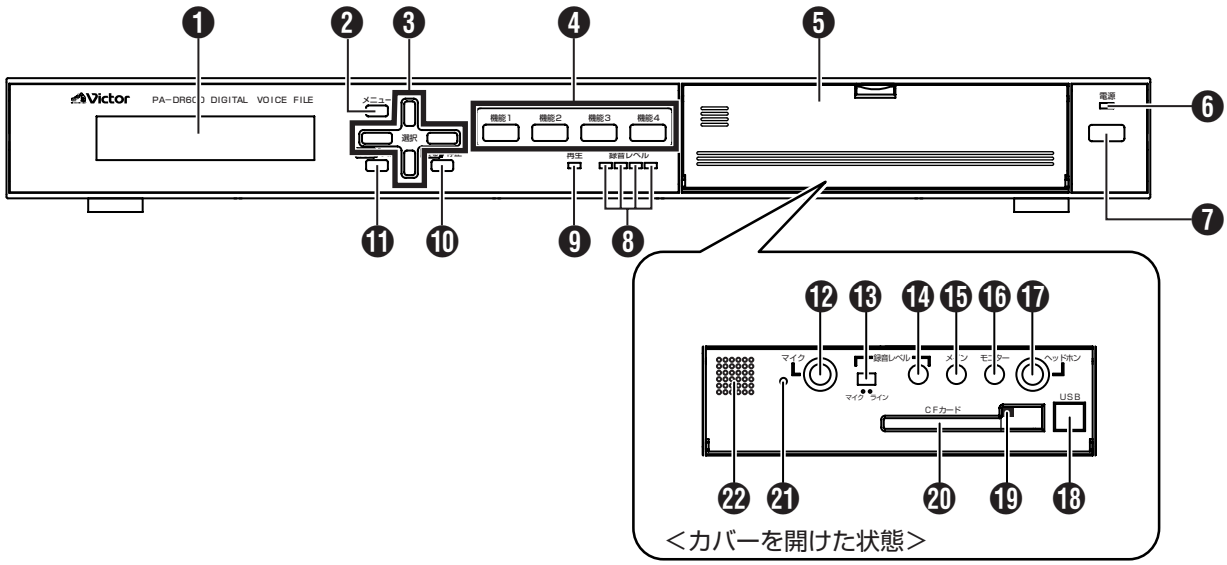
その他

工場出荷時の設定に戻す 82
・ 工場出荷状態に戻す(メモリーカードを初期化する) 82
・ 設定メニュー内の設定を初期化する 82
・ すべてのプログラムを初期化する 83
・ すべてのファイルを消去する 83
ログ管理について 84
・ 動作ログを確認する 84
・ 動作ログを削除する 85
・ 動作ログパターン表 85
・ エラーログを確認する 86
・ エラーログを削除する 87
・ エラーログパターン表 87
バージョン表示 88
こんなときは 89
各種エラー表示 90
・ 動作中のエラー表示 90
・ 録音中のエラー表示 90
・ 設定、編集中のエラー表示 91
保証とアフターサービスについて 92
仕様 93

2 進数（バイナリ）番号 - 起動番号対応表 94
プレイリスト設定シート..... 97

各部の名称とはたらき

前面



❶ LCD 画面
待機画面、実行中画面、設定画面などの各種画面が表示されます。

❷【メニュー】ボタン
設定画面のメインメニューに切り換えるときにこのボタンを押します。

❸【選択】上、下、左、右ボタン
設定をするときに使用します。
上、下ボタン：ＬＣＤ 画面に表示されるメニューを上下にスクロールできます。
左、右ボタン：ＬＣＤ 画面上のカーソルを左右に移動します。

❹【機能 1、2、3、4】ボタン
マニュアル操作で再生したいプレイリストをあらかじめ設定しておきます。本機が実行状態のときにこのボタンを押すと、設定されているプレイリストを再生します。
(☞ 11 ページ「【機能】ボタン、【制御入力】端子の 動作を実行する」参照)

❺ カバー
メモリーカードの出し入れや ＵＳＢ ケーブル、ヘッドホンを接続するとき、ボリュームを調節するときに、カバーを開けて使用します。

❻【電源】表示灯
電源を入れると、緑色に点灯します。

❼ 電源ボタン
電源の入 / 切をするときに押します。

❽【録音レベル】表示灯
録音時に、マイクや外部入力からの録音音量レベルを表示します。

❾【再生】表示灯
プレイリスト再生中、緑色に点灯します。

❿【戻る/ 停止】ボタン
実行中の動作を停止するときや、設定中に上位メニューに戻るときに、このボタンを押します。

⓫【決定/ 実行】ボタン
カーソルのある項目を決定または動作を実行するときに、このボタンを押します。

⓬【マイク】入力端子
録音するときに、マイクまたは外部音声機器などを接続します。

⓭【マイク / ライン】切換えスイッチ
⓬【マイク】入力端子に接続する機器に応じて、録音入力ゲインを切り換えます。

⓮【録音レベル】調節ボリューム
録音レベルを調節します。
右にまわすと、録音レベルが大きく、左にまわすと、録音レベルが小さくなります。

⓯【メイン】ボリューム
㉓【ライン出力】端子から出力する音の音量を調節します。
右にまわすと音が大きく、左にまわすと音が小さくなります。

⓰【モニター】ボリューム
⓱【ヘッドホン】端子および ㉒ モニタースピーカーから出力する音の音量を調節します。
右にまわすと音が大きく、左にまわすと音が小さくなります。

⓱【ヘッドホン】端子
モニター用のヘッドホンを接続します。

⓲【USB】端子
パソコンを使用して本機の設定を行うときに接続します。
(☞ 26 ページ「パソコンから本機の設定をする」参照)

⓳ メモリーカード取出しボタン
メモリーカードを ⓴【メモリーカード】挿入口から取り出すときに、このボタンを押します。
(☞ 14 ページ「メモリーカードを本機から 取り出す」参照)

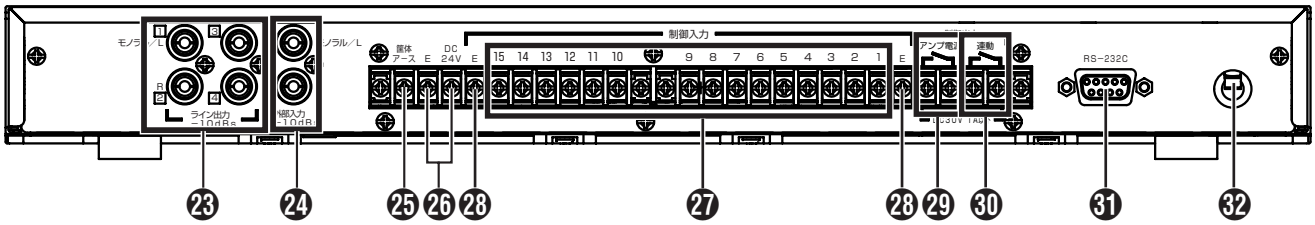
⓴【メモリーカード】挿入口
メモリーカードの出し入れをします。
(☞ 27 ページ「Step3: デジタルメモリーカードを 入れる」参照)

㉑ リセットスイッチ
本機をリセットするときに使用します。
通常は触らないでください。

㉒ モニタースピーカー
モニター用の内蔵スピーカーです。⓰【モニター】ボリュームで音量調節できます。⓱【ヘッドホン】端子にヘッドホンを接続すると、モニタースピーカーからは音が出なくなります。

各部の名称とはたらき（つづき）

背面



㉓【ライン出力】端子（【モノラル/L】端子、【R】端子）

本機の再生音声や㉔【外部入力】端子に接続した外部機器の音声を出力します。
「1 元出力モード」でモノラルアンプを使用する場合は、【モノラル /L】端子に接続します。
「2 元出力モード」のときは1と、2、「1 元 4 出力モード」のときは、1、2、3、4を使用します。

㉔【外部入力】端子

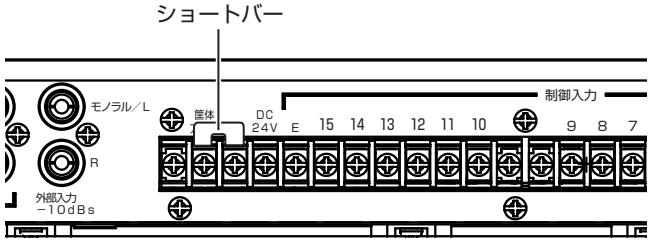
外部音声機器（BGM 機器など）を接続します。
モノラル音声機器の場合は、【モノラル /L】端子に接続すると、ライン出力 L、R の両端子から音声が出力されます。

㉕【筐体アース】端子

本機に接続した外部機器の筐体アース端子またはラックのアース端子に接続してください。
安全アースではありません。

ご注意

- 工場出荷時は、ショートバーにより筐体アースと信号系アース（E 端子）が接続されています。本機をラックに組み込んだとき、信号系アースが 2 点アースとなりノイズが発生する場合や、信号系アースを筐体に接続しないほうが有利な場合は、ショートバーをはずしてください。



㉖【DC24V】端子、【E】端子

㉛電源コードからのAC100 V電源供給をせずに、DC24 V 電源を供給したいときや、停電時でも動作させたいときに接続します。

㉗【制御入力 1 ～ 15】端子

タイマーやセンサーなどの本機を制御する機器を接続します。

㉘【制御入力 E】端子

㉗【制御入力 1 ～ 15】端子に、接続する機器のコモンまたは E 端子を接続します。

㉙【アンプ電源】端子

アンプの電源起動端子と接続し、本機の再生動作に連動してアンプの電源を制御します。

㉚【連動】出力端子

本機の動作に連動して、接続した外部機器を制御します。
設定により、「連動出力」、「2 元用アンプ電源制御」、「緊急出力」、「録音 / 消去ビジー出力」のいずれかを選択できます。

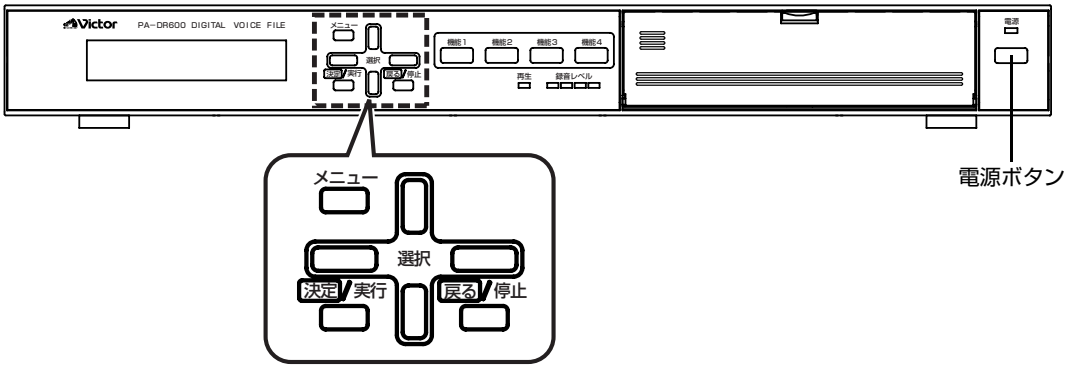
㉛【RS-232C】ポート

拡張モードで本機を動作させるときに接続します。
拡張モードの使い方については、お買い上げのビクターシステム営業所にご相談ください。

㉜ 電源コード

AC100 V の電源を供給します。

電源の入れかた / 切りかた



電源を入れる

・本機に接続している周辺機器がただしく接続されていることを確認してから【電源】ボタンを押します。
・ＬＣＤ　画面に、『キドウチュウ..』と表示後、待機中画面または実行中画面が表示されます。

タイキチュウ

＜待機中画面＞

ｼﾞｯｺｳﾁｭｳ

＜実行中画面＞

ご注意

- エラー表示(『*ＣＦ カクニン』、『ＣＦ イジョウ』など)が表示される場合は、正常に動作しません。
  各種エラー表示を参照し、対応してください。
  (☞ 90 ページ「各種エラー表示」参照)

メモ

- 「1-2.オートスタート」の設定により、電源を入れたときの状態が変わります。
  (☞ 49 ページ「電源投入時の動作を設定する」参照)

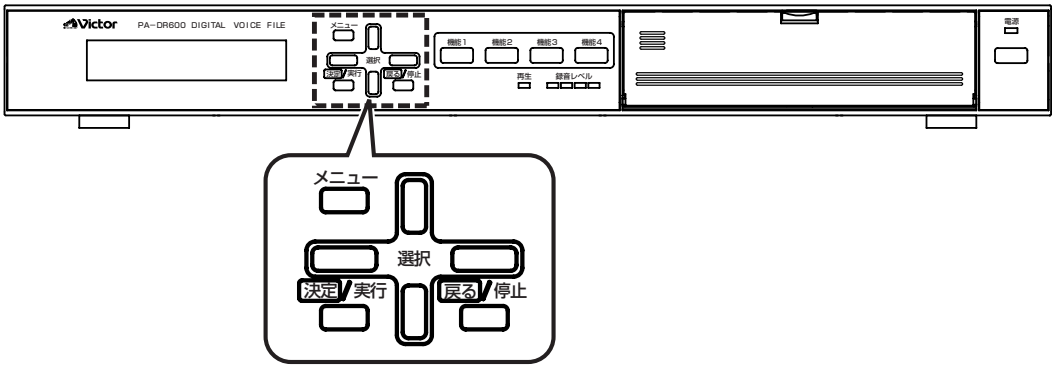
電源を切る

・【電源】ボタンを１秒以上押します。
・電源表示灯と ＬＣＤ 画面の表示が消えて電源が切れます。

メモ

- ＬＣＤ　画面に『L』が表示されているときは、ボタンがロックされています。ボタンのロックを解除してから操作を行なってください。
  (☞ 12 ページ「ボタンのロックを解除する」参照)
- 本機の動作状態(録音中、再生中)にかかわらず、電源を切ることができます。誤動作により電源を切らないようにするために、ボタンをロックすることができます。
  (☞ 12 ページ「ボタンをロックする」参照)

システム動作の実行と停止



メモ

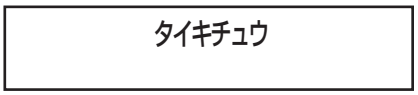
- LCD 画面に『L』が表示されているときは、ボタンがロック（ボタン操作無効）されています。ボタンのロックを解除してから操作を行なってください。（☞ 12 ページ「ボタンのロックを解除する」参照）

システム動作を実行する

・システム動作を実行するには、あらかじめ設定をする必要があります。設定については、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
・あらかじめ【機能】ボタン、【制御入力】端子に設定してある動作を実行したいときに行います。
・【機能】ボタンを押す、または【制御入力】端子から信号が入力されると、動作を実行します。

1. 待機中画面になっていることを確認する

システム動作が停止されていると、LCD 画面に『タイキチュウ』と表示されます。



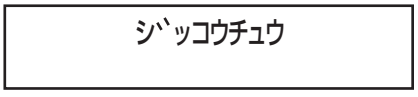
＜待機中画面＞

ご注意

- メモリーカード未挿入またはエラーで認識できない場合は、LCD 画面に『*CF カクニン』と表示されますので、下記の対応を行なってください。
  - ・ メモリーカード未挿入の場合は、本機にメモリーカードを挿入してください。
  - ・ エラーの場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

2. システム動作を実行する

・【決定 / 実行】ボタンを押します。
・システム動作を実行すると、実行中画面が表示されます。



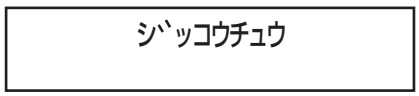
＜実行中画面＞

システム動作を停止する

システム動作を停止すると、【機能】ボタンを押す、または【制御入力】端子から信号が入力されても動作を実行しません。

1. 実行中画面になっていることを確認する

システム動作が実行中の場合、LCD 画面に『ジッコウチュウ』と表示されています。



＜実行中画面＞

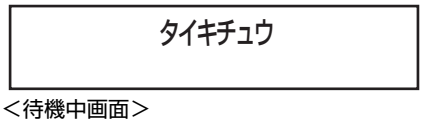
2. 停止確認画面を表示する

【戻る / 停止】ボタンを押します。

＜停止確認画面＞

3. システム動作を停止する

・停止確認画面で『ハイ』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。
・システム動作が停止し、待機中画面が表示されます。
・停止確認画面で『イイエ』を選択または【戻る / 停止】ボタンを押すと、システムを停止せずに実行中画面（手順 *1.*）に戻ります。



＜待機中画面＞

【機能】ボタン、【制御入力】端子に割り当てた動作の実行と停止

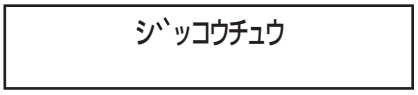
・あらかじめ【機能】ボタン、【制御入力】端子に設定してある動作を実行することができます。
・【機能】ボタン、【制御入力】端子へ割り当てる動作の設定については、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

【機能】ボタン、【制御入力】端子の動作を実行する

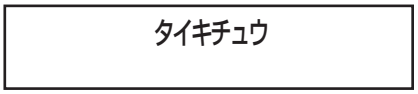
■【機能】ボタンに割り当てた動作を実行する場合

1. システム動作が実行されていることを確認する

・ＬＣＤ 画面に『ジッコウチュウ』と表示されています。
・システム動作が待機中（ＬＣＤ 画面に『タイキチュウ』と表示）の場合は、システム動作を実行してください。
（☞ 10 ページ「システム動作を実行する」参照）



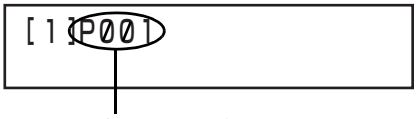
＜実行中画面＞



＜待機中画面＞

2. 実行したい動作を設定してある【機能】ボタンを押す

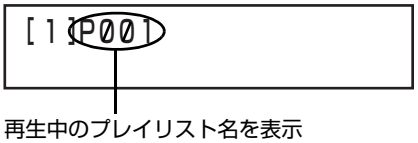
・実行中の動作が表示されます。



再生中のプレイリスト名を表示

■【制御入力】端子に割り当てた動作を実行する場合

【制御入力】端子に接続された制御機器から本機に信号が入力されると、動作を実行します。



再生中のプレイリスト名を表示

【機能】ボタン、【制御入力】端子の動作を停止する

【機能】ボタンを押す、または【制御入力】端子から信号が入力されても再生中の動作を停止します。

1. 再生中画面になっていることを確認する

システム動作が実行中の場合、LCD 画面に再生中のプレイリスト名が表示されています。

＜再生中画面＞

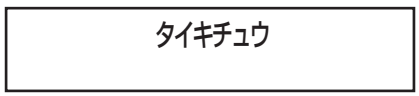
2. 停止確認画面を表示する

【戻る/ 停止】ボタンを押します。

＜停止確認画面＞

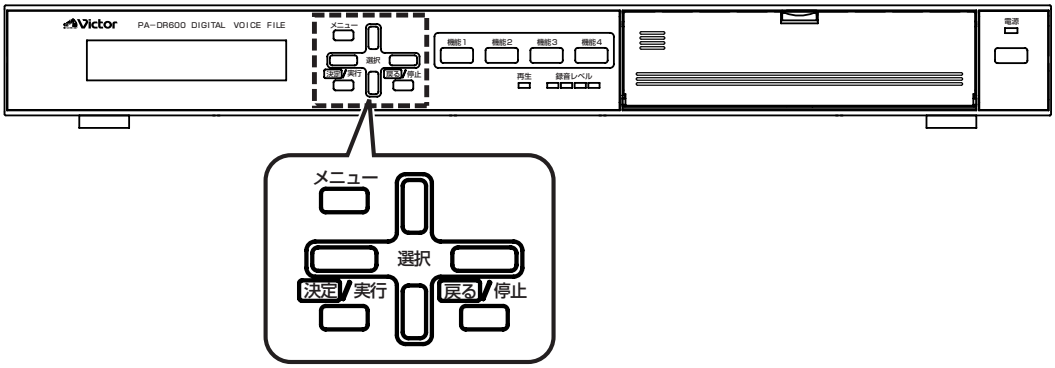
3. システム動作を停止する

・停止確認画面で『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・システム動作が停止し、待機中画面が表示されます。
・停止確認画面で『イイエ』を選択または【戻る/ 停止】ボタンを押すと、システムを停止せずに実行中画面（手順 *1.*）に戻ります。



＜待機中画面＞

ボタンのロックと解除



ボタンをロックする

1. 待機中画面または実行中画面になっていることを確認する。

タイキチュウ

＜待機中画面＞

シﾞｯｺｳチュウ

＜実行中画面＞

ご注意

- メニューの設定中(メニュー画面の表示中)は、ボタンのロック設定はできません。
- ロック中は、すべてのボタンがロックされます。
- 停電などで本機の電源が切れてもロック状態は保持されます。

2. 【選択】左右ボタンを同時に長押し(約3秒)する

ボタンがロックされ、LCD 画面に『L』と表示されます。

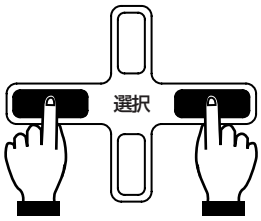
タイキチュウ Ⓛ ― ロック表示

ボタンのロックを解除する

・ボタンがロック中(LCD 画面に『L』と表示されている状態)に、【選択】左、右ボタンを同時に長押し(約 3 秒)します。
・ボタンのロックが解除され、LCD 画面の『L』表示が消えます。

タイキチュウ Ⓛ ― 『L』が表示されている状態

▼



同時に長押し(約 3 秒)

▼

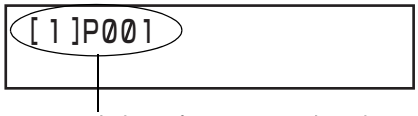
タイキチュウ ○ ― 『L』表示が消える

LCD 画面表示を切り換える

再生動作中の画面表示を切り換えて、詳細を確認することができます。

再生動作中の画面表示

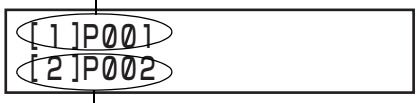
■ 1元出力モード / 1元4出力モード



再生中のプレイリスト名を表示します。

■ 2元出力モード

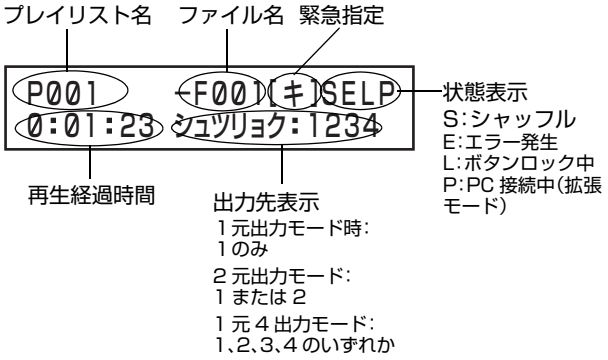
1元側に出力中のプレイリスト名を表示します。



2元側に出力中のプレイリスト名を表示します。

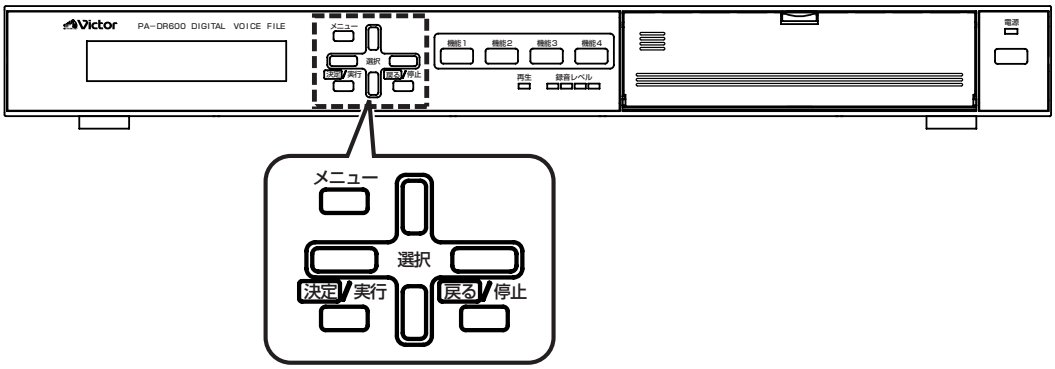
詳細表示画面に切り換える

再生中に、【選択】上、下ボタンを押すと詳細表示に切り換わります。ボタンを押すごとに、プレイリスト名表示→1元詳細表示→2元詳細表示(2元出力モードのみ)と切り換わります。



メモリーカードを本機から取り出す

メモリーカードの動作を停止し、取り出します。



ご注意

- メモリーカードは本機を動作させるために重要なものです。本機を動作させたいときには、必ず動作させたいデータが記録されたメモリーカードを本機に挿入してください。
- メモリーカードを本機から取り出すときは必ず下記の操作を行なってください。下記の操作を行わずに取り出すと、メモリーカードが破損する原因となります。
- メモリーカードを入れる場合は、27 ページの「Step3: デジタルメモリーカードを 入れる」を参照ください。
- メモリーカードは精密な電子部品で作られています。静電気による破壊を防ぐため、メモリーカードを取り出す前に金属部分(ラックまたは本機上面など)に手を触れて、身体に帯電している静電気を放電してください。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム実行中の場合は、必ずシステムを停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

・メインメニューから『6. メンテナンスメニュー』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します

```
6.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
6-1.CFﾃｲｼ
```

<メンテナンスメニュー画面>

3. メモリーカード停止確認画面を表示する

メンテナンスメニューから『6-1.C F テイシ』を選択し、
【決定 / 実行】ボタンを押します。

```
6-1.CFﾃｲｼ
CFｶｰﾄﾞﾘﾖｳﾃｲｼｼﾏｽ ﾊｲ/ｲｲｴ
```

<メモリーカード停止確認画面>

4. メモリーカードの動作を停止する

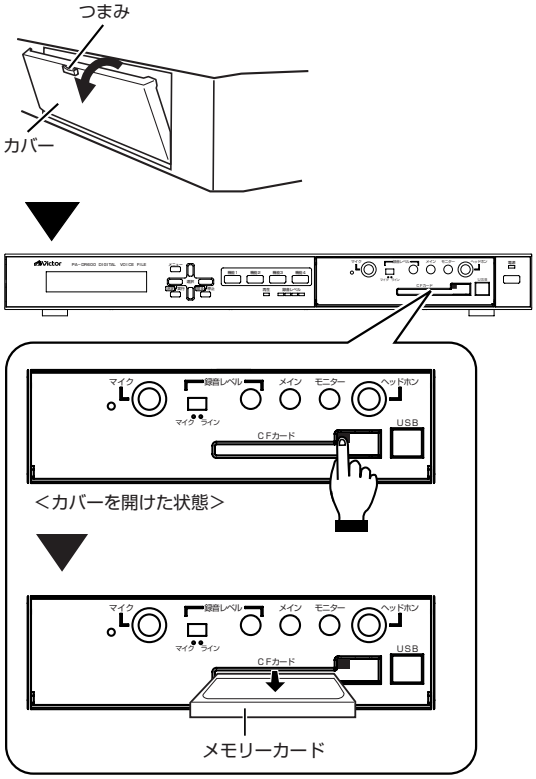
・メモリーカード停止確認画面で『ハイ』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。
・メモリーカードの動作が停止し、メモリーカード停止画面が表示されます。
・メモリーカード停止確認画面で『イイエ』を選択または【戻る / 停止】ボタンを押すと、メモリーカードを停止せずにメンテナンスメニュー画面(手順 **2.**)に戻ります。

```
6-1.CFﾃｲｼ
CFｶｰﾄﾞﾘﾖｳﾃｲｼｼﾏｼﾀ
```

<メモリーカード停止画面>

5. メモリーカードを取り出す

・本機前面のカバーにあるつまみに指をかけ、カバーを手前に開きます。
・取出しボタンを押し、メモリーカードを取り出します。
・メモリーカードを取り出すと、LCD 画面に『CF カードヲソウニュウシテクダサイ』と表示されます。
本機を動作させたいときはメモリーカードを入れてください。(☞ 27 ページ「Step3: デジタルメモリーカードを 入れる」参照)



準備の流れ

右記の手順で準備を行なってください。

お客様へ

- 設置･接続作業には専門技術が必要となります。販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。
- 設置･接続作業を行うときには、設置業者様にこの取扱説明書(本書)をお渡しください。

販売店または設置業者様へ

- 設置･接続作業を行う前に必ずお読みいただき、正しく設置･接続を行なってください。お読みになったあとは、お客様へお渡しください。

設置上の注意

- 設置･接続作業は、電源を切ってから行なってください。
- ラック内に電力増幅ユニットがある場合、電力増幅ユニットとの間に1U以上空けて本機を設置してください。

Step1	**本機を設置する**(☞ 16 ページ) 本機を平らな場所またはラックに取り付けます。
▼	
Step2	**外部機器を接続する**(☞ 17 ページ) 本機にマイク、ヘッドホン、制御機器、アンプなどの外部機器を接続します。
▼	
Step3	**デジタルメモリーカードを入れる**(☞ 27 ページ) メモリーカードが挿入されていないと、本機を動作させることができません。(別売の「デジタルメモリーカード」をご使用ください。)
▼	

準備完了

Step1:
本機を設置する

本機を平らな場所に設置します。

本機をラックに取り付ける場合

本機をラックに取り付けるときには、別売りのラックマウント金具(PA-U11)が必要ですので、あらかじめご用意ください。

■取り付け可能のラックについて

本機を取り付けるラックは、下記のどれかをご使用ください。

スタンダードラック:PA-R631
（収納ユニット数 31U、当社製品）
ロングラック :PA-R641
（収納ユニット数 41U、当社製品）
EIA 規格相当品 :奥行き 450 mm 以上のもの
（他社製品）

■取り付け手順

ご注意

- ラック内に電力増幅ユニットがある場合、電力増幅ユニットとの間に1U以上空けて本機を設置してください。
- ラック内の温度が 40 ℃以上にならないようにしてください。

1. 本機底面のフット(4 個)をはずす。

2. 本機の左右側面の取付ねじ 4 本をはずす。

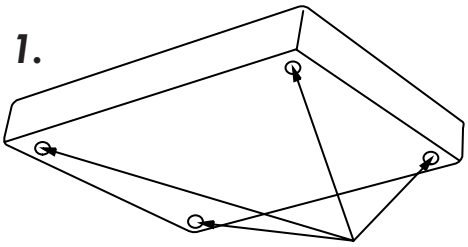
3. PA-U11 に付属の取付ねじ(M4 × 10 mm)4本を使って、本機にラックマウント金具(PA-U11)を取り付ける。

4. ラック取付ねじ(M5 × 12 mm)4本を使って、本機をラックに取り付ける。

ご注意

- 取付ねじやラック取付ねじは、必ず指定のものをご使用ください。指定以外の長いねじや短いねじを使用すると、故障や落下の原因となります。

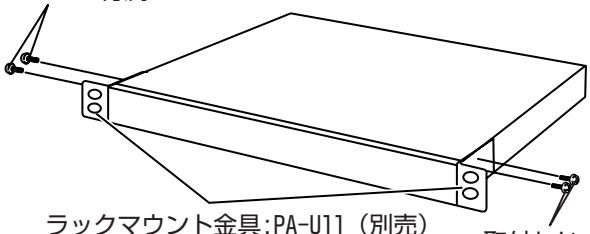
1.



フットをはずす（4箇所）

3.

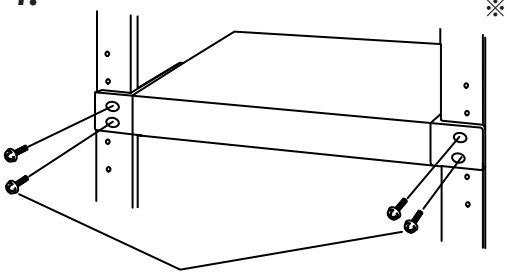
取付ねじ(M4×10 mm)
※PA-U11付属



ラックマウント金具:PA-U11（別売）

取付ねじ
(M4×10 mm)
※PA-U11付属

4.

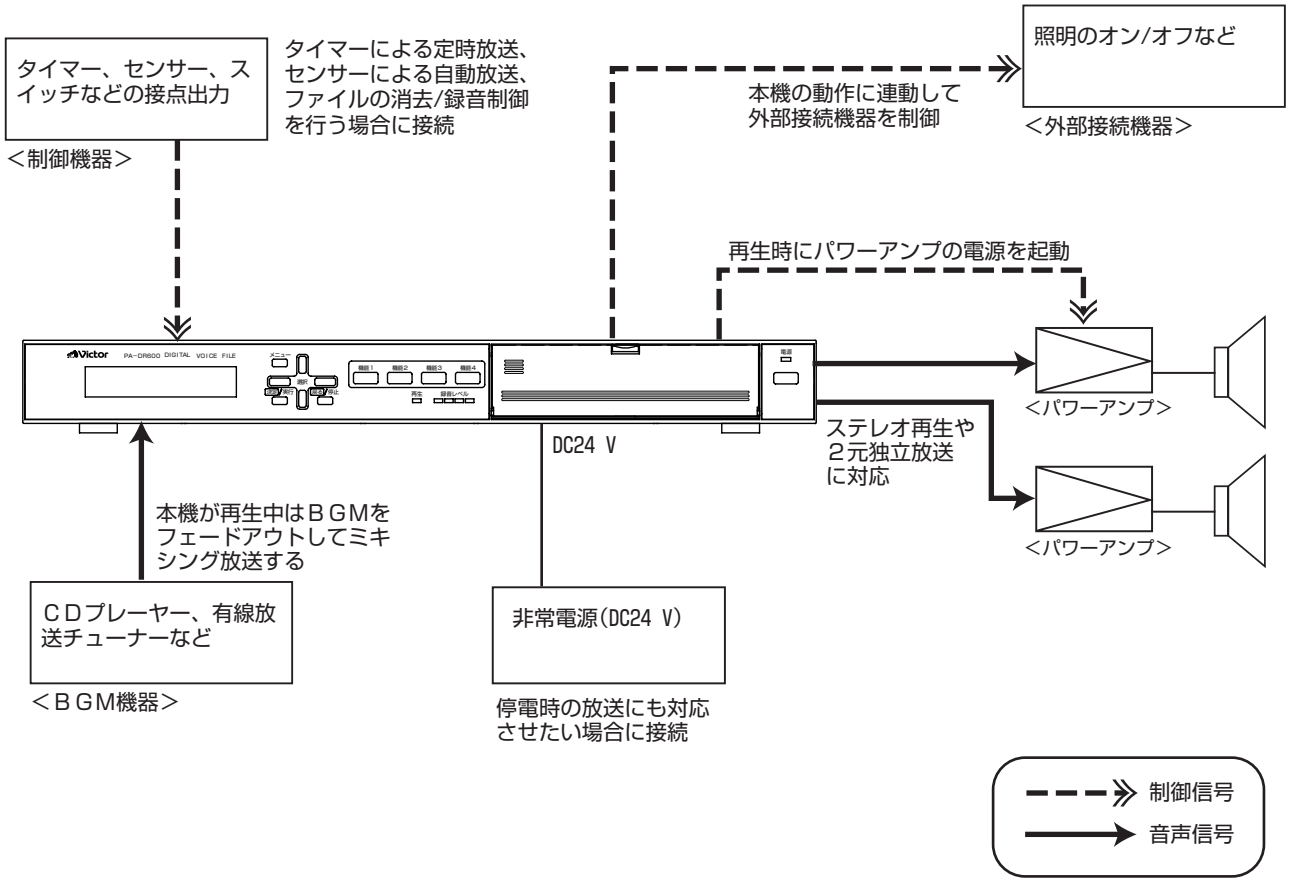


ラック取付ねじ(M5×12 mm)×4本
※PA-U11付属

Step2:
外部機器を接続する

システム構成例

・本機に外部機器を接続するときは、必ず電源を切った状態で行なってください。
・接続する外部機器の詳細については、各外部機器の取扱説明書をご覧ください。



ご注意

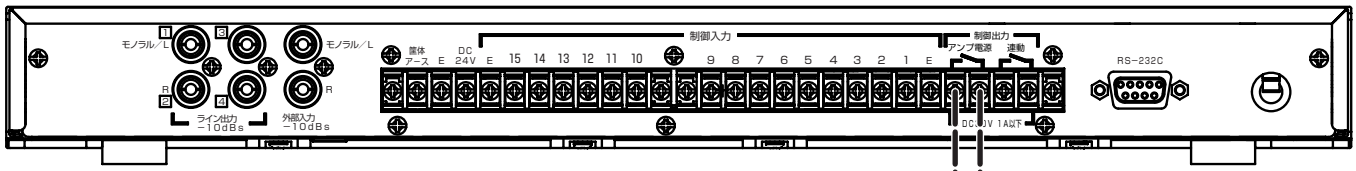
- 【制御入力】端子について
  本機の【制御入力】端子は「無電圧メーク接点」、「オープンコレクター出力」に適合しています。電圧、電流を加えないでください。機器の故障の原因となります。
- 【制御出力】端子について
  本機の【制御出力】端子で使用しているリレー接点容量は DC30 V / 1 A です。これを超える電圧、電流を絶対に加えないでください。機器の故障や火災の原因となります。

Step2:
外部機器を接続する（つづき）

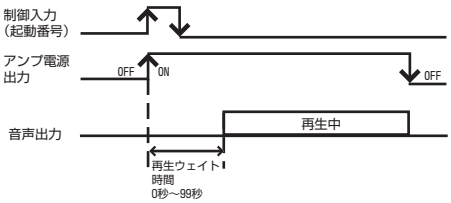
アンプを接続する

■アンプの電源の「入」、「切」を制御する場合

・本機の【アンプ電源】端子とアンプの電源起動端子を接続します。
・電源起動端子のあるアンプで、電源の入 / 切を制御できます。電源起動端子がないアンプでは電源の入 / 切を制御できません。
・「再生ウェイト時間」を設定することで、放送開始前にアンプの電源を入れることができ、音切れを防ぐことができます。
（☞ 42 ページ「再生ウェイト時間を設定する」参照）



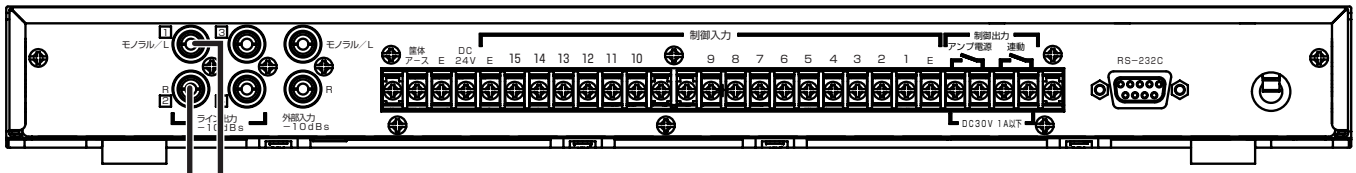
※本機の制御出力に極性はありません。



＜アンプ＞

■音声出力の接続（1 元出力モードの場合）

・「出力モード」設定で 1 元出力に設定した場合の接続です。（☞ 36 ページ「Step3: 出力モードを設定する」参照）
・本機の【ライン出力】端子と音声入力端子を接続します。
・ステレオアンプに接続する場合は、本機の【モノラル / L】端子および【R】端子と、アンプのライン入力端子を接続します。
・モノラルアンプに接続する場合は、本機の【モノラル / L】端子と、アンプのライン入力端子を接続します。
このとき、ステレオ音声のファイルを再生すると、L / R ミックスして出力します。

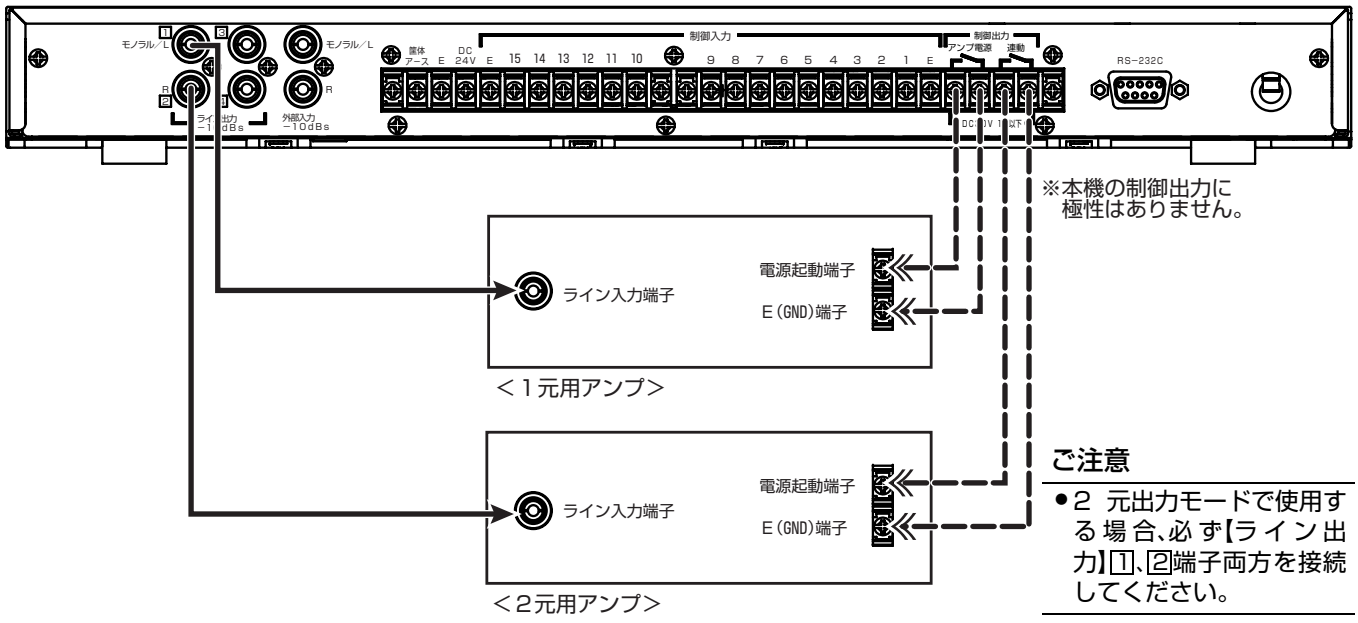


※モノラルアンプに接続する場合は、【モノラル/L】端子を接続します。

＜アンプ＞

■2元出力モードで使用する場合

・「出力モード」設定で2元出力に設定した場合の接続です。(☞ 36 ページ「Step3: 出力モードを設定する」参照)
・2 元出力モードでは、2 つの音声ファイルを独立して【ライン出力 1、2】から出力します。同時に別々の音声ファイルを再生することができます。(☞ 36 ページ「Step3: 出力モードを設定する」参照)
・【連動出力】端子を「アンプ」に設定すると、2元側のファイル再生時にアンプの電源制御ができます。1 元用アンプと2元用アンプの電源入 / 切を独立して制御できます。(☞ 73 ページ「連動出力設定をする」参照)



ご注意

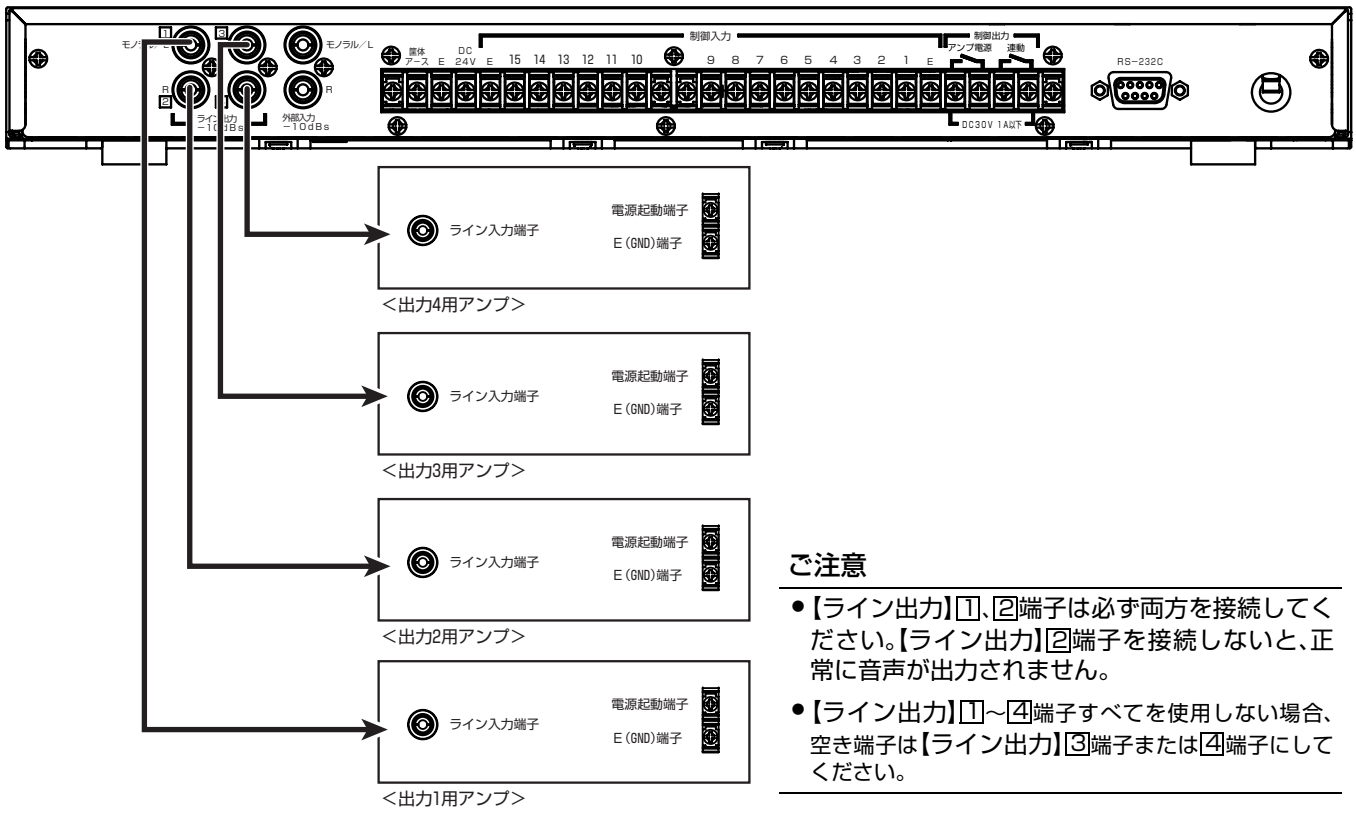
- 2 元出力モードで使用する場合、必ず【ライン出力】1、2端子両方を接続してください。

メモ

- 2 元用アンプの電源を独立して制御しない場合、【連動出力】端子の機能を緊急出力に設定することができます。(☞ 73 ページ「連動出力設定をする」参照)

■1元4出力モードで使用する場合

・「出力モード」設定で1元4出力に設定した場合の接続です。(☞ 36 ページ「Step3: 出力モードを設定する」参照)
・1 元 4 出力モードでは、4 つの出力端子(【ライン出力 1 ～ 4】端子)の任意の出力端子から音声を出力できます。同時に別々のファイルを再生することはできません。



ご注意

- 【ライン出力】1、2端子は必ず両方を接続してください。【ライン出力】2端子を接続しないと、正常に音声が出力されません。
- 【ライン出力】1～4端子すべてを使用しない場合、空き端子は【ライン出力】3端子または4端子にしてください。

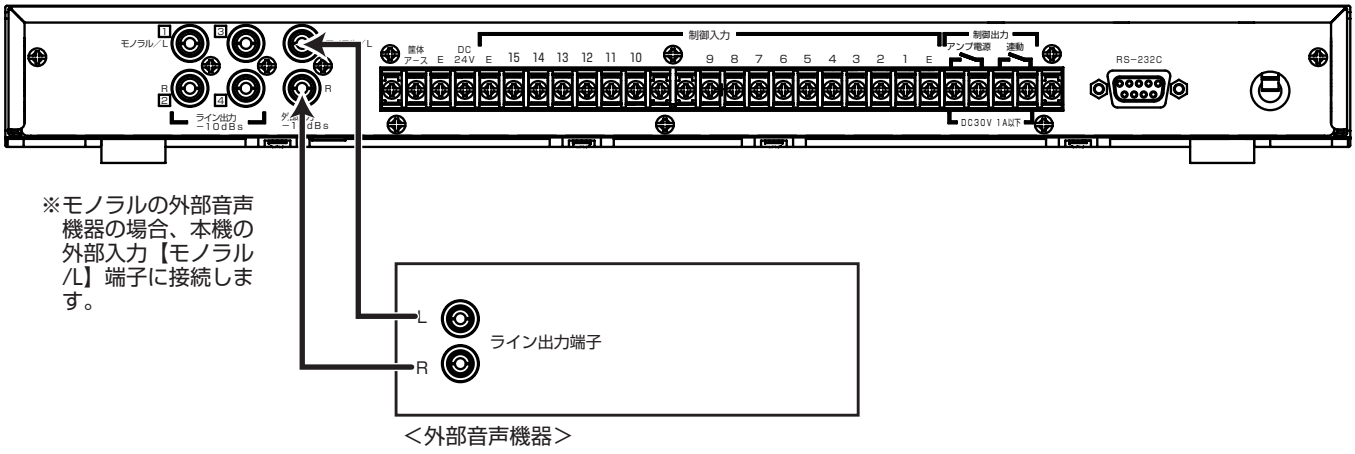
Step2:
外部機器を接続する（つづき）

外部音声機器を接続する

・本機の外部入力【モノラル /L】端子、【R】端子に、外部音声機器（CD プレーヤー、有線放送チューナー、ラジオチューナーなど）を接続します。
・ステレオアンプを接続している場合は、ステレオ音声の入力ができます。
・モノラルの外部音声機器を使用する場合は、本機の外部入力【モノラル /L】端子に接続します。このときライン出力 L、R 端子両方から音声が出力されます。
・本機から出力される音声と外部音声機器から出力される音声の優先順位を設定することで、フェードイン / アウトして放送することができます。（☞ 75 ページ「外部音声機器からの音声を ミキシング出力する」参照）

メモ

- 出力モード設定で「１元出力モード」に設定した場合のみ使用できます。「2元出力モード」、「１元4出力モード」に設定した場合は、外部入力の音声をライン出力から出力できません。
- 外部音声機器を使用する場合、下記のどちらかの対応を行なってください。対応を行なわないと、外部音声機器が再生状態のときにアンプの電源制御が出力されず、音声が放送されません。
  - ・ アンプの電源を常時オンにする。
  - ・ 本機と外部音声機器の両方からアンプの電源を制御するように接続する。
- 本機は優先音源設定が「外部」の場合、音声信号レベルを検知してフェードイン/アウトの制御をします。外部音声機器の音声出力レベルを定格レベル（-10 dBs）に設定し、本機の「1-10. 外部入力レベル」設定で音量調節を行なってください。（☞ 75 ページ「外部入力レベルを設定する」参照）

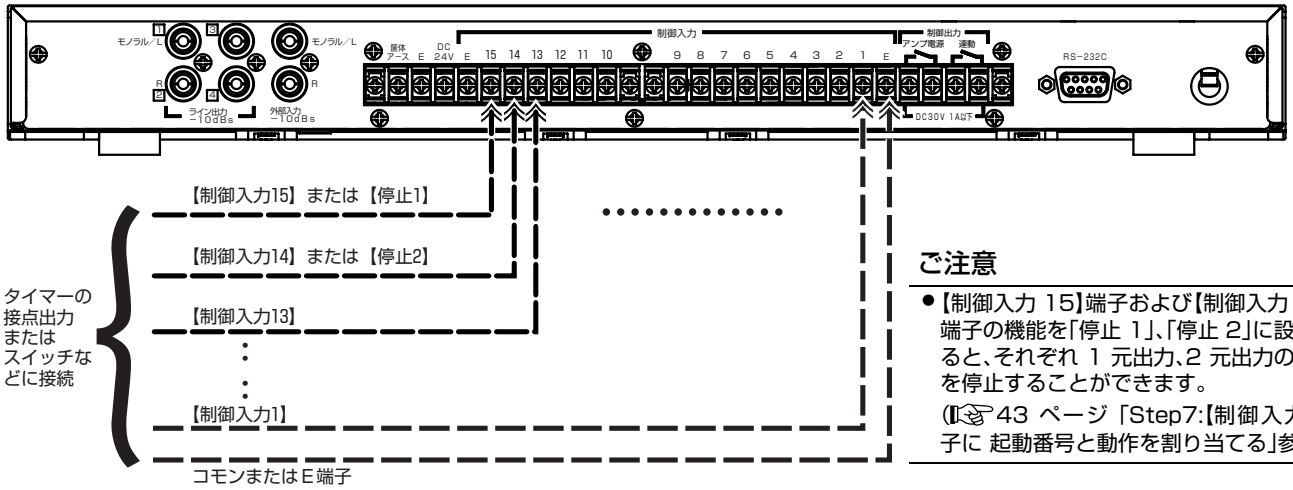


スイッチやタイマーから本機を制御する(制御入力端子へ接続)

・スイッチやタイマーなどの制御機器を接続し、本機の再生 / 録音動作を制御します。
・本機の【制御入力 1 ～ 15】端子と、制御機器の接点出力(無電圧メーク接点またはオープンコレクター出力)を接続します。
・【制御入力】端子への「ダイレクト」モード、「バイナリ」モードの設定は、「1-5. 制御入力」設定で行います。
(☞ 40 ページ「Step5: 制御入力の制御方式を 設定する」参照)

■端子で直接プレイリストを指定して再生する場合(ダイレクトモード)

・本機の【制御入力 1 ～ 15】端子と制御機器の接点出力を接続します。
・【制御入力 1 ～ 15】各端子に動作を割り付けることで、【制御入力】端子に接続した制御機器から動作を制御できます。1 つの端子に 1 つの動作を割り付けることができます。(☞ 40 ページ「Step5: 制御入力の制御方式を 設定する」参照)
・【制御入力】端子に動作を割り当てるには、「2-7. 制御入力」設定を行なってください。
(☞ 43 ページ「Step7:【制御入力】端子に 起動番号と動作を割り当てる」参照)



ご注意

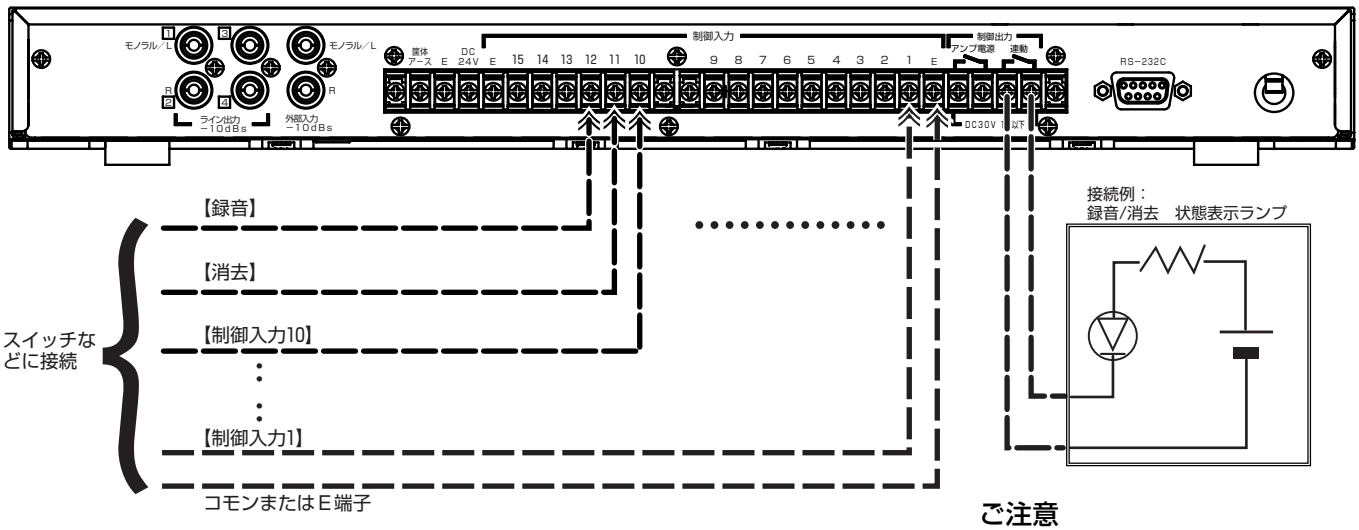
● 【制御入力 15】端子および【制御入力 14】端子の機能を「停止 1」、「停止 2」に設定すると、それぞれ 1 元出力、2 元出力の再生を停止することができます。
(☞43 ページ「Step7:【制御入力】端子に 起動番号と動作を割り当てる」参照)

■制御入力端子からの制御でファイルの録音 / 消去する場合(ダイレクトモード)

・本機の【制御入力 1 ～ 15】端子と制御機器の接点出力を接続します。
・【制御入力 11】と【制御入力 12】の端子機能を「消去」、「録音」に設定すると、音声のファイルの消去と録音ができます。
(☞ 43 ページ「Step7:【制御入力】端子に 起動番号と動作を割り当てる」参照)
・【連動】端子の「1-7. 連動出力」設定を『ビジー』に設定してランプなどを接続すると、録音 / 消去の状態表示ができます。
(☞ 73 ページ「連動出力設定をする」参照)

ご注意

● ファイル消去が完了するまでは録音開始できません。本機の LCD 画面表示を確認できないところでは、必ずビジー出力を使用して本機の状態を確認して操作してください。



ご注意

● 本機のリレー接点容量は、DC 30 V, 1 Aです。この接点容量を超えないでください。

Step2:
外部機器を接続する(つづき)

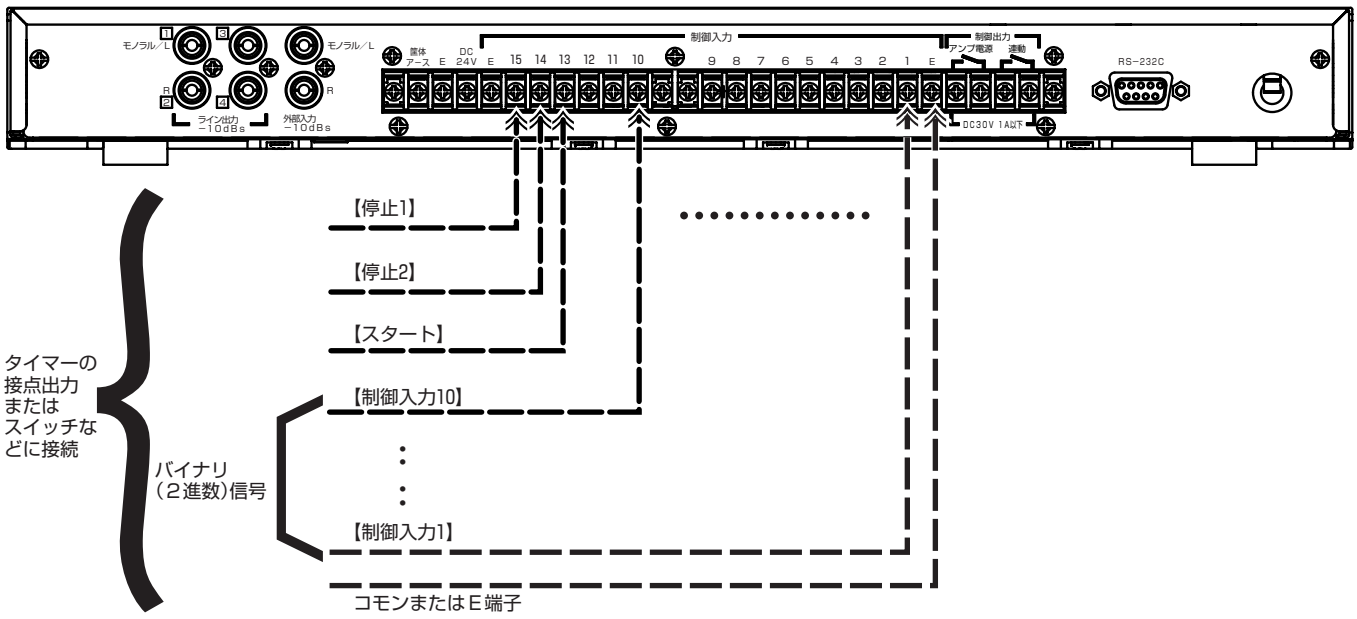
スイッチやタイマーから本機を制御する(制御入力端子へ接続)(つづき)

■バイナリ(2 進数)モードに設定した【制御入力】端子に接続する場合

・本機の【制御入力 1 ～ 10、13 ～ 15】端子と制御機器の接点出力を接続します。

・【制御入力 1 ～ 10】端子にバイナリ(2進数)信号を入力します。これにより、最大 999 個のプレイリストを再生できます。
(☞ 40 ページ「Step5: 制御入力の制御方式を 設定する」参照)

・【制御入力】端子に動作を割り当てるには、「2-7. 制御入力」設定を行なってください。
(☞ 43 ページ「Step7:【制御入力】端子に 起動番号と動作を割り当てる」参照)



メモ

● 【停止 2】は 2 元出力モード設定時に、2 元出力側の再生を停止させる場合に接続します。

本機で外部接続機器を制御する

（連動出力端子へ接続）

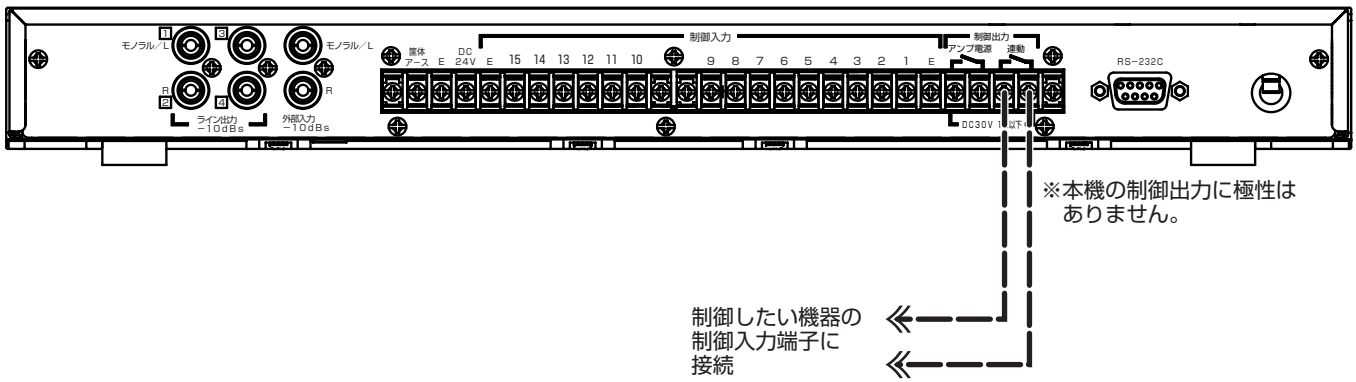
ご注意

- 本機のリレー接点容量は、「DC30 V, 1A」です。絶対に容量を超えないでください。火災や故障の原因となります。

・本機の制御出力【連動】端子を使って、本機で外部機器を制御できます。
・本機の制御出力【連動】端子と外部機器の制御入力端子を接続します。
・【連動】端子の機能を「1-7. 連動出力」設定で選択できます。(☞ 73 ページ「連動出力設定をする」参照)

■ 再生終了後に外部機器を制御する（連動）
・再生終了のタイミングで出力して照明を消すなど、外部機器を制御できます。
・【連動】端子の機能を「1-7. 連動出力」設定で『レンドウ』に設定します。(☞ 73 ページ「連動出力設定をする」参照)

■ 緊急指定したプレイリスト再生時に外部機器を制御する（緊急）
・緊急指定したプレイリスト再生時のみ、外部機器を制御できます。
・【連動】端子の機能を「1-7. 連動出力」設定で『キンキュウ』に設定します。(☞ 73 ページ「連動出力設定をする」参照)



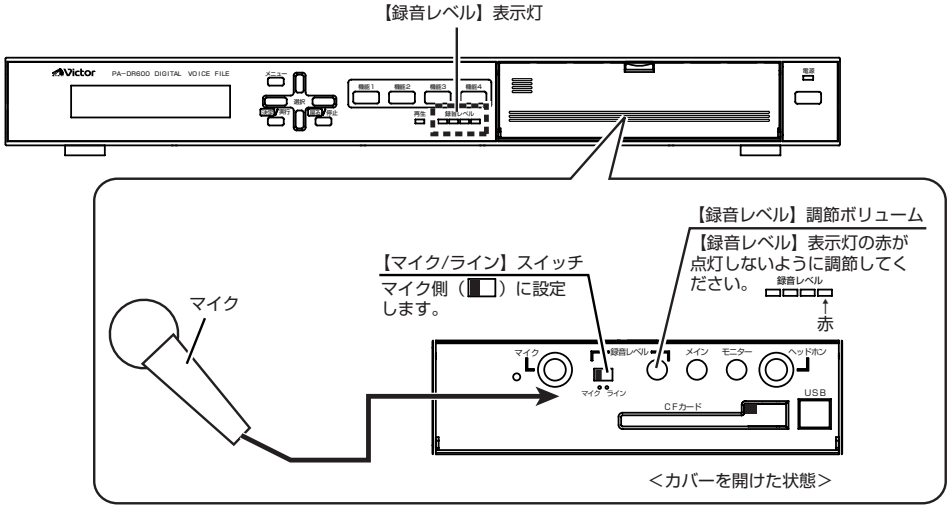
Step2:
外部機器を接続する（つづき）

録音する機器を接続する

本機は、前面カバー内の【マイク】入力端子、本機背面にステレオ録音用の【外部入力】端子があります。接続する機器にあわせて接続します。

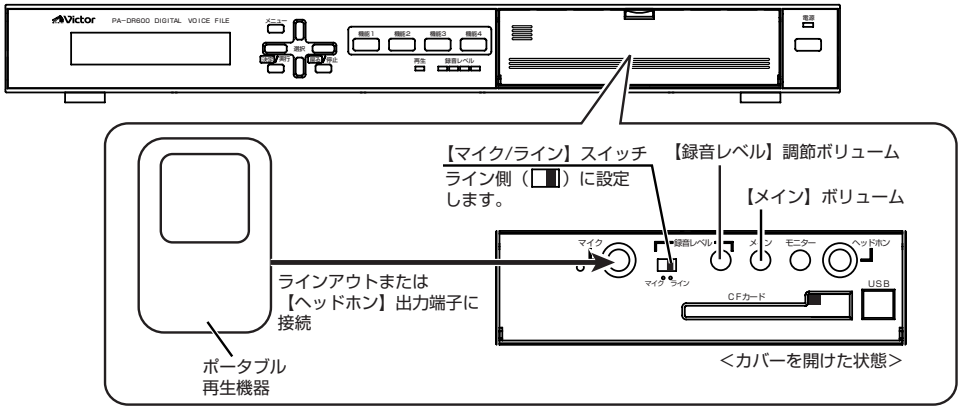
■マイクで録音する場合

・本機前面カバー内の【マイク / ライン】スイッチを「マイク」側に設定します。
・φ3.5　不平衡ミニプラグ対応のマイクを【マイク】入力端子に接続します。平衡出力のマイクを使用する場合は、変換プラグを使って不平衡に変換して接続してください。
・モノラル入力専用です。「3-1. 音質設定」では必ずモノラルのモードを設定してください。ステレオのモードを設定すると、正常に録音できません。（☞ 32 ページ「step1：録音の音質を設定する」参照）



■ポータブル再生機器から録音する場合

・本機前面カバー内の【マイク / ライン】スイッチを「ライン」側に設定します。
・ステレオ対応のポータブル再生機器を複式（ステレオ）プラグを使って接続すると、L と R の音声をミックスできます。
・モノラル入力専用です。「3-1. 音質設定」では必ずモノラルのモードを設定してください。ステレオのモードを設定すると、正常に録音できません。（☞ 32 ページ「step1：録音の音質を設定する」参照）



メモ

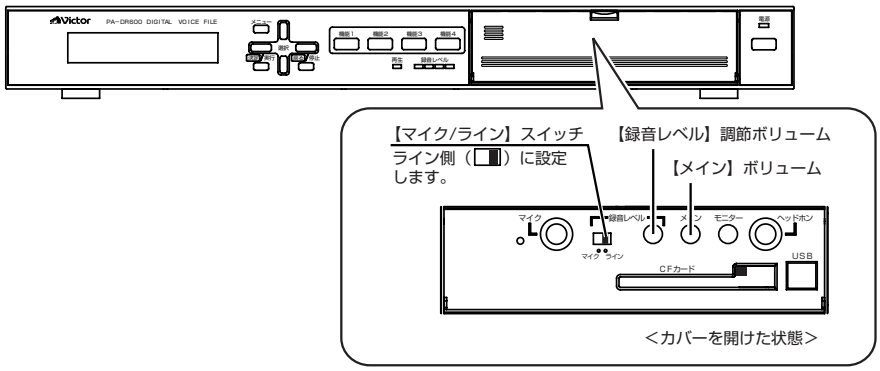
- 録音待機中および録音中は、【ヘッドホン】端子、【ライン出力】端子から音声は出力されません。
  録音停止後に試聴して確認してください。（☞ 30 ページ「Step1：録音をする」参照）
- 録音したファイルの試聴をしているときの音声は、【ヘッドホン】端子および【ライン出力】端子から出力されます。【ライン出力】端子から音声を出力させたくない場合は、【メイン】ボリュームを左側にまわしてください。

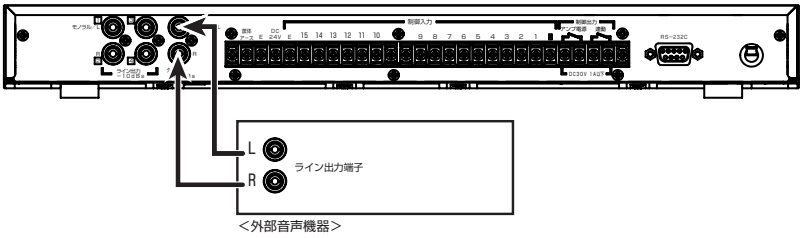
■【外部入力】端子から録音する場合

・本機前面カバー内の【マイク / ライン】スイッチを「ライン」側に設定します。
・ステレオ入力対応です。「3-1. 音質設定」でステレオのモードに設定すると、ステレオ録音になります。
（☞ 32 ページ「step1：録音の音質を設定する」参照）
・モノラルの外部音声機器を接続する場合は、【モノラル/L】端子に接続します。このとき、「3-1.音質設定」はモノラルのモードを設定してください。（☞ 32 ページ「step1：録音の音質を設定する」参照）

メモ

- 【マイク】入力端子と【外部入力】端子の両方を同時に使用できません。【マイク】入力端子に録音機器を接続すると、L 側の音声が【マイク】入力端子側に切り換わり、正常に録音できません。





ご注意

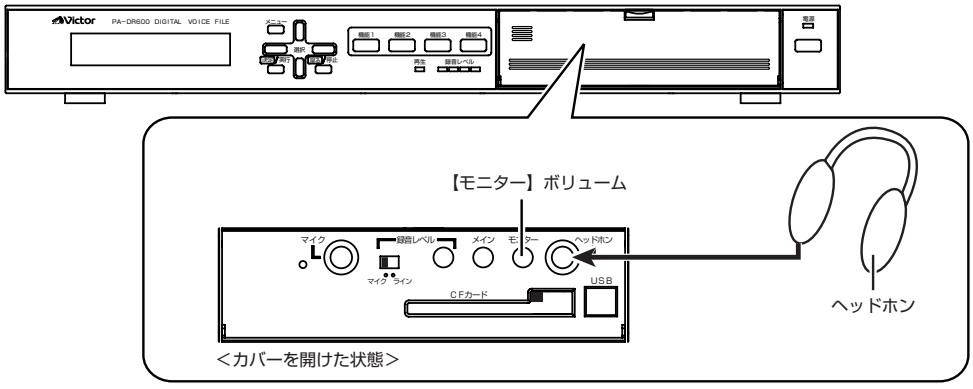
- 録音したファイルを試聴するときの音声は、【ヘッドホン】端子および【ライン出力】端子から出力されます。
また、【外部入力】端子から入力されている音声は、常に【ヘッドホン】端子および【ライン出力】端子から出力されていますので、試聴するときは【外部入力】端子に接続した機器の再生を停止してください。【ライン出力】端子から音声を出力させたくない場合は、【メイン】ボリュームを左側にまわしてください。

ヘッドホンを接続する

・【ライン出力】端子から出力している音声と同じ音声をモニターできます。
・【モニター】ボリュームで音量を調節します。

メモ

- 【ヘッドホン】端子にヘッドホンを接続していると、本機内蔵のスピーカーからは音が出力されません。ライン出力からは音が出力されます。
- 2元出力モードのときは、ヘッドホン左側（L）から1元、ヘッドホン右側（R）から2元の音声がモニターできます。
- 1元4出力モードのときは、ヘッドホン左側（L）から出力1と出力3、ヘッドホン右側（R）から出力2と出力4の音声がモニターできます。

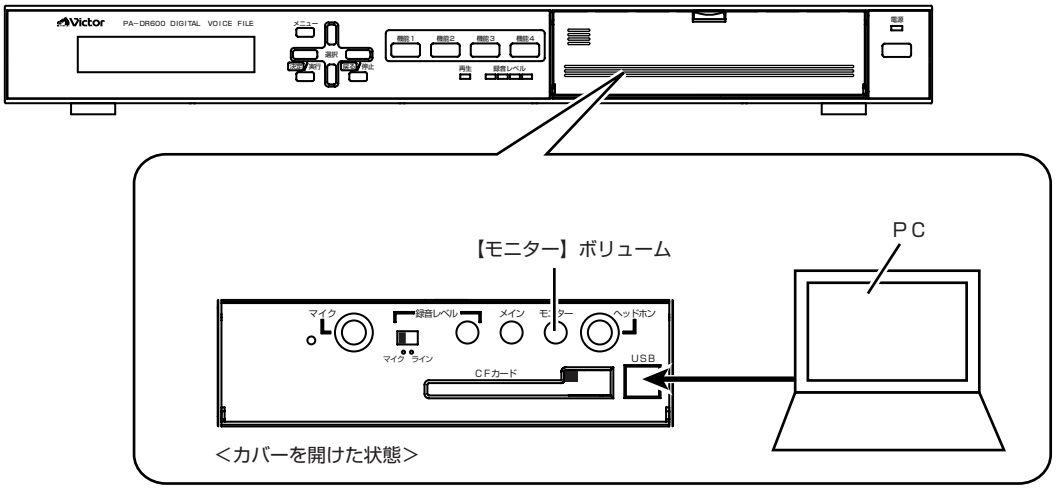


パソコンから本機の設定をする

・デジタルボイスファイル設定ソフト(PA-ZS600R)を使って本機の設定をパソコン(以降、PCと呼びます。)で行うことができます。
・本機前面カバー内の【USB】端子と PC 側の USB 端子を接続します。
・詳しくは、デジタルボイスファイル設定ソフト(PA-ZS600R) に付属の取扱説明書をご覧ください。

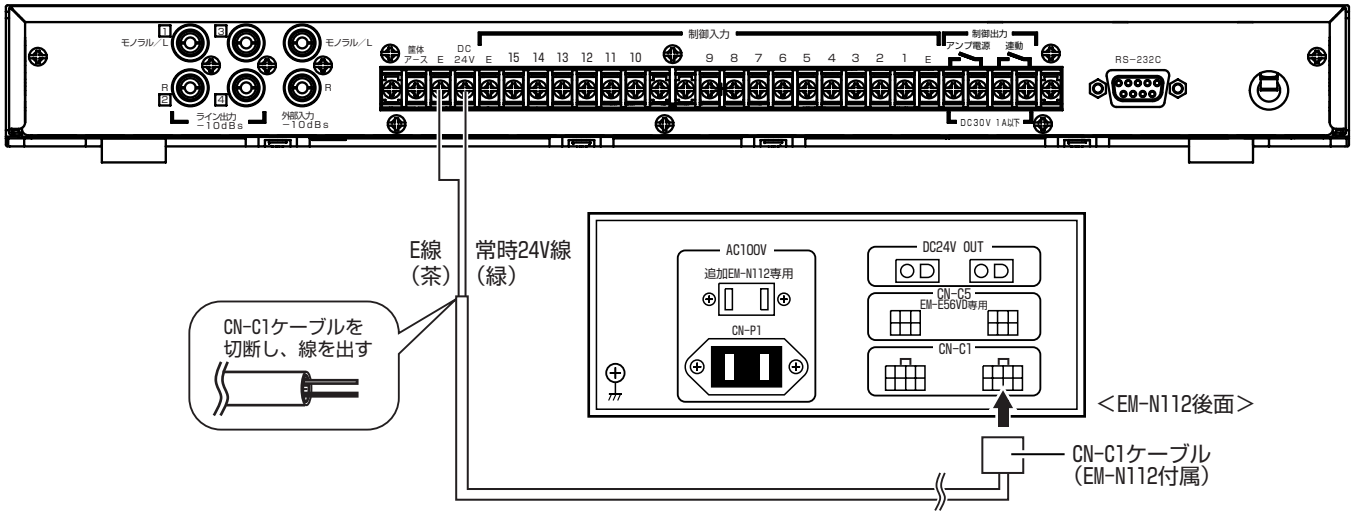
ご注意

- デジタルボイスファイル設定ソフト(PA-ZS600R) は本機に付属されていません。ご使用になりたい場合は、お買い上げのビクターシステム営業所にご相談ください。



非常電源ユニット(EM-N112) を接続する

・停電時でも本機を作動可能にする場合は、非常電源ユニット(EM-N112) を接続してください。
・停電時は、非常電源ユニットから DC 24 V が出力されます。
・非常電源ユニットの詳細については、非常用放送設備の設置説明書をご覧ください。
・本機の【DC24 V】端子に CN-C1 ケーブルの常時 24V 線(緑)を接続し、本機の【E】端子に CN-C1 ケーブルの E 線(茶)を接続します。



ご注意

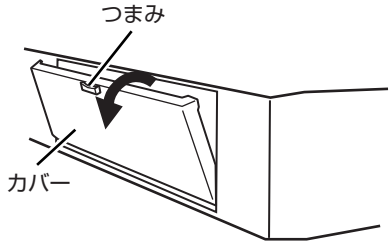
- 非常用放送設備と組み合わせて使用する場合は、本機専用の非常電源ユニット(EM-N112) を用意し、本機に接続してください。非常用放送設備用の非常電源ユニットには接続しないでください。

Step3: デジタルメモリーカードを入れる

■デジタルメモリーカードについて
- 本機では、録音する音声ファイルおよび本機の設定データはすべてデジタルメモリーカード(以降、メモリーカードと呼びます。)に記録します。
- メモリーカードは本機の動作に必要なものです。必ず、メモリーカードを本機に挿入してください。本機にメモリーカードが挿入されていないと、本機を使用できません。
- 本機で使用するメモリーカードは、別売りの「デジタルメモリーカード」をご使用ください。「デジタルメモリーカード」の購入については、お買い上げのビクターシステム営業所にご相談ください。

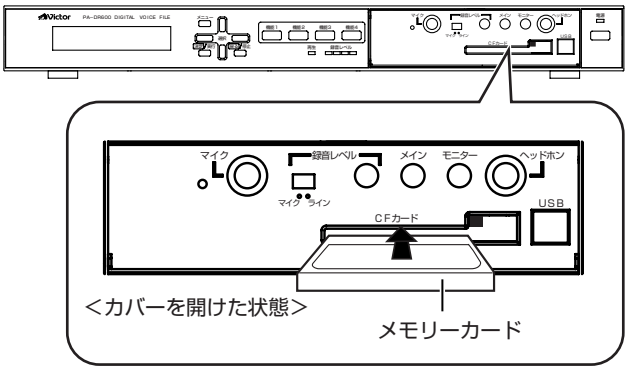
1. 本機前面のカバーを開ける

つまみに指をかけ、手前に開きます。



2. メモリーカードを下図のように本機に入れる

メモリーカードを奥へ押し込んでください。



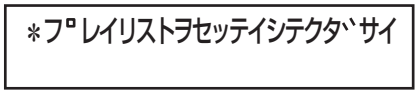
3. 本機前面のカバーを閉める

カバー上端の左右両側を押して閉めます。

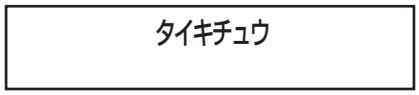
4. LCD 画面の表示を確認する

■ 新品のメモリーカードを挿入した場合

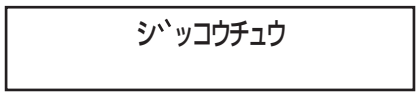
ＬＣＤ 画面に、『* プレイリストヲセッテイシテクダサイ』と表示されます。録音および各種設定を行なってください。



■ 設定済みのメモリーカードを挿入した場合
- ＬＣＤ 画面に、『タイキチュウ』または『ジッコウチュウ』と表示されます。ＬＣＤ 画面に、『キドウチュウ..』と点滅表示後、待機中画面または実行中画面が表示されます。



<待機中画面>



<実行中画面>

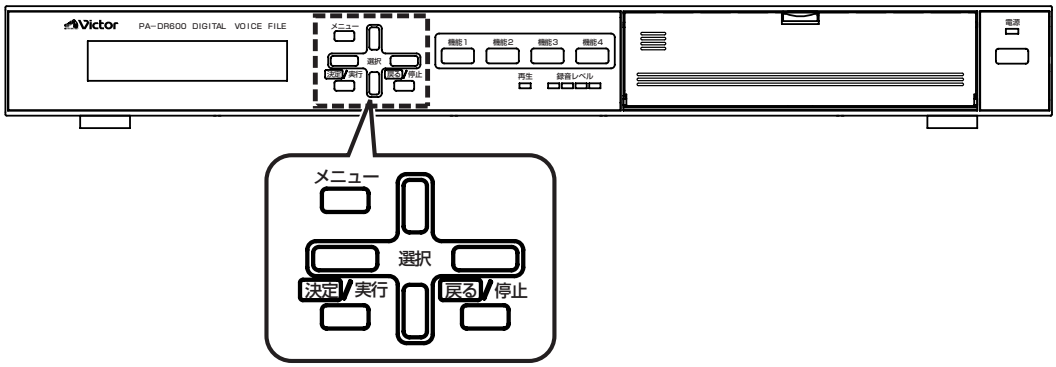
メモ
- 「1-2.オートスタート」の設定により、電源を入れたときの状態が変わります。
  (☞ 49 ページ「電源投入時の動作を設定する」参照)

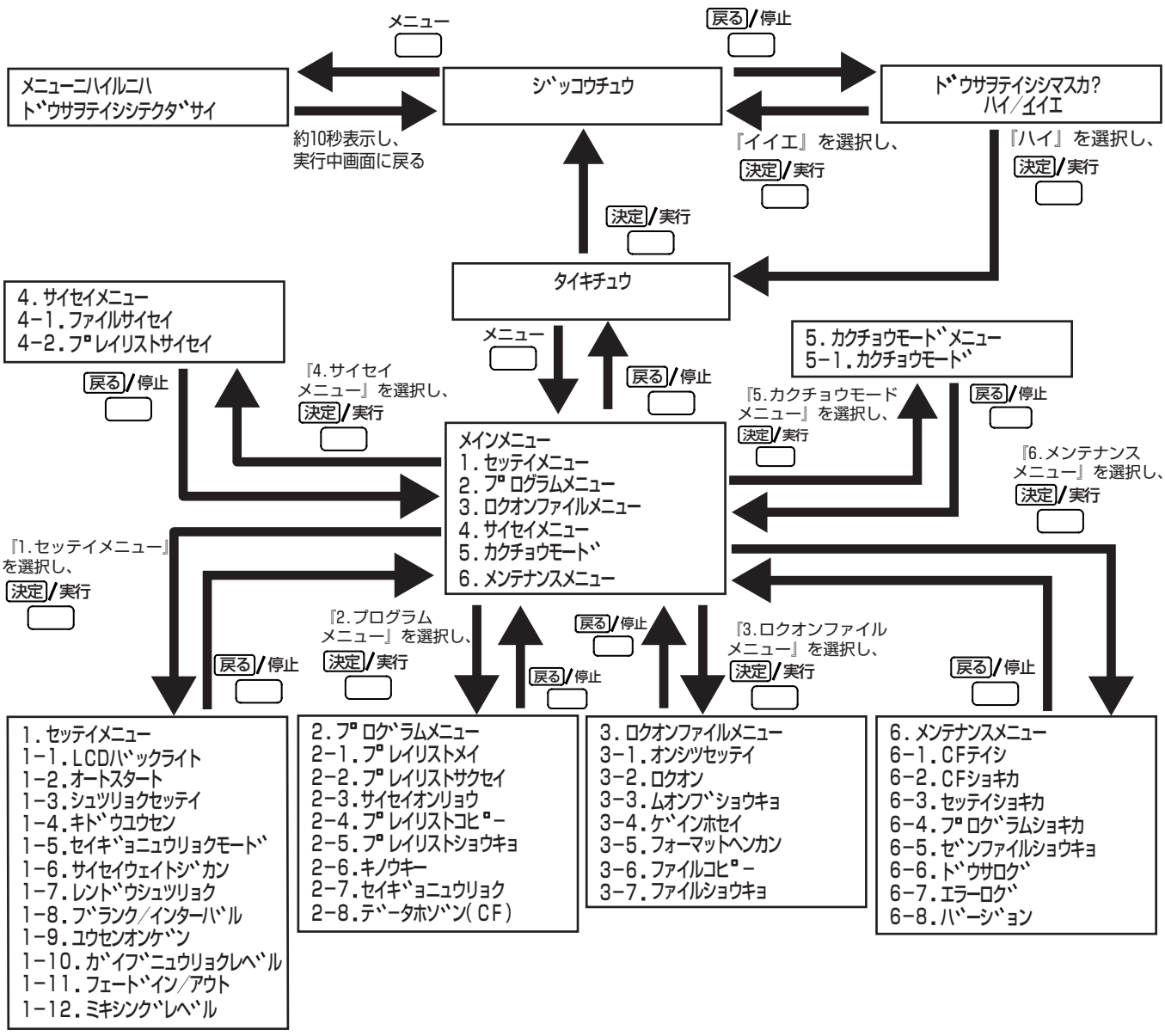
ご注意
- 必ず指定の「デジタルメモリーカード」(別売)をご使用ください。指定のメモリーカード以外での正常な録音 / 再生などの動作を保証しません。
- 指定のメモリーカード以外を使用すると、音飛びや音切れなどが発生する原因となります。
- 本機の動作中にメモリーカードを取り出したいときは、必ず「6-1.ＣＦ 停止」メニューでメモリーカードの動作を停止してから取り出してください。停止せずにメモリーカードを取り出すと、故障の原因となります。(☞ 14 ページ「メモリーカードを本機から 取り出す」参照)
- メモリーカードは精密な電子部品で作られています。静電気による破損を防ぐため、メモリーカードを挿入する前に金属部分(ラックまたは本機上面など)に手を触れて、身体に帯電している静電気を放電してください。

メモ
- 設定を保存してある他のメモリーカードに入れ換えるだけで、すべての設定を変更することができます。
- 別途供給のデジタルボイスファイル設定ソフト(PA-ZS600R)を使って、ＰＣ だけで本機のセットアップを行うことができます。詳しくは、デジタルボイスファイル設定ソフト(PA-ZS600R) の取扱説明書をご覧ください。

メニュー画面の構成

下図は LCD 画面に表示されるメニューとメニュー間の移動構成です。
本機 LCD 画面は 2 行表示になっています。下位の項目を表示したい場合は、【選択】上、下ボタンを押してください。





基本的な使い方の設定手順

ここでは、基本的な使い方の手順を説明します。
本機で録音したファイルを【制御入力】端子に割り付けて、制御機器(スイッチやタイマーなど)から本機を起動し、録音したファイルを再生させるための手順です。

ご注意

- 本機の設定には、専門知識が必要となりますので、販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。

メモ

- 録音時にファイルを保存すると、プレイリストが自動的に作成され本機に登録されます。複数のファイルを１つのプレイリスト登録して再生する必要が無い場合は、プレイリストに関する設定は必要ありません。

用語について

ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

Step1	録音をする(☞ 30 ページ) 再生するメッセージを録音します。
▼	
Step2	再生する(☞ 34 ページ) ファイルおよびプレイリストを再生して確認します。
▼	
Step3	出力モードを設定する(☞ 36 ページ) 再生するファイルの出力先を設定します。
▼	
Step4	制御入力の優先モードを設定する (☞ 37 ページ) 【制御入力】端子の優先モード(起動が重なった場合の優先動作)を設定します。
▼	
Step5	制御入力の制御方式を設定する (☞ 40 ページ) ダイレクトモードまたはバイナリ(2進数)のどちらかに設定します。
▼	
Step6	再生ウェイト時間を設定する (☞ 42 ページ) アンプの電源が入り、動作するまでの時間を考慮して音声を再生する時間を設定します。
▼	
Step7	【制御入力】端子に起動番号と動作を割り当てる(☞ 43 ページ) 【制御入力】端子の機能および起動番号ごとの動作を設定します。
▼	
Step8	設定した内容を保存する(☞ 47 ページ) 設定した内容をメモリーカードに保存します。
▼	

基本的な使い方の設定終了

Step1:録音をする

録音には、専門知識が必要となりますので、販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。

録音手順

step1	**録音の音質を設定する**(☞ 32 ページ) 録音時の音質、フォーマットを設定します。

▼

step2	**録音をする**(☞ 32 ページ) ファイルを作成します。

▼

録音終了

用語について

ファイル	:録音した音声データ。
メッセージ	:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

ご注意

- 録音待機時および録音中は、【ヘッドホン】端子および【ライン出力】端子から音声は出力されません。
  録音停止後に試聴で確認してください。
- 録音したファイルの試聴をしているときの音声は、【ヘッドホン】端子および【ライン出力】端子から出力されます。【ライン出力】端子から音声を出力させたくない場合は、【メイン】ボリュームを左側にまわしてください。

メモ

- 本機前面のカバー内にある【マイク】入力端子または、背面の【外部入力】端子に接続した録音機器から録音ができます。接続方法については、24 ページをご覧ください。
- 本機で録音できる最大ファイル数は、999ファイルです。
- 録音したファイルの番号は、F001からF999まで自動的につけられます。ファイル番号を変更することはできません。ファイル番号を指定して録音することはできません。
- 録音終了後にファイルを保存すると、自動的にプレイリストに登録されます。
- プレイリスト名は、P001からP999まで自動的につけられます。
- プレイリスト名は、任意の名前に変更することができます。
  (☞ 60 ページ「プレイリスト名を変更する」参照)
- ファイル番号とプレイリスト番号は、数字の小さい順に自動的につけられます。ただし、同一番号のファイルとプレイリストが両方欠番の番号を優先して割り当てます。

録音の音質について

・本機では、6 種類の録音方式から選択できます。
・録音方式によって、音質、メモリーカードの必要な容量が異なりますので、用途に応じて設定してください。
・工場出荷時の設定は『スタンダード - モノラル』です。

■ 録音方式

録音方式	ステレオ / モノラル	サンプリング周波数 (再生周波数)	信号処理方式	備考	連続最長録音時間
ハイ－スタンダード－モノラル	モノラル	44.1 kHz (20 Hz ～ 20 kHz)	LPCM(非圧縮)	音楽 CD と同等。高音質な音楽に適します。	３０分
スタンダード－モノラル		22.05 kHz (20 Hz ～ 10 kHz)	LPCM(非圧縮)	アナウンスや BGM 用途の音楽に適します。	６０分
ハイ－ロング－モノラル		44.1 kHz (20 Hz ～ 20 kHz)	μ － law	メモリーカードの容量を節約して長時間録音したい場合に使用します。	６０分
ロング－モノラル		22.05 kHz (20 Hz ～ 10 kHz)	μ － law		１２０分
スタンダード－ステレオ	ステレオ	22.05 kHz (20 Hz ～ 10 kHz)	LPCM(非圧縮)	ステレオ音声が必要な場合に使用します。	３０分
ロング－ステレオ		22.05 kHz (20 Hz ～ 10 kHz)	μ － law	長時間のステレオ録音が必要な場合に使用します。	６０分

※ 信号方式について
LPCM(Linear Pulse Code Modulation)： 音楽 CD と同様に、デジタル化したデータを圧縮していないため高音質です。ただし、メモリーカードの容量を多く使用します。
μ － law(ミューロー) ： LPCM(16 bit)に対して半分の(8 bit)に圧縮します。圧縮特性に対数関数を用いることで、音量が小さいときの解像度を上げています。

■ メモリーカードの容量と録音可能時間の目安

	モノラル				ステレオ	
容量	ハイ－スタンダード	スタンダード	ハイ－ロング	ロング	スタンダード	ロング
128 MB	24 分	48 分	48 分	1 時間 36 分	24 分	48 分
512 MB	1 時間 36 分	3 時間 13 分	3 時間 13 分	6 時間 27 分	1 時間 36 分	3 時間 13 分

※ 上記は「デジタルメモリーカード」(品番：QAM0961-001(128MB), QAM0961-002(512MB))の場合です。

ご注意

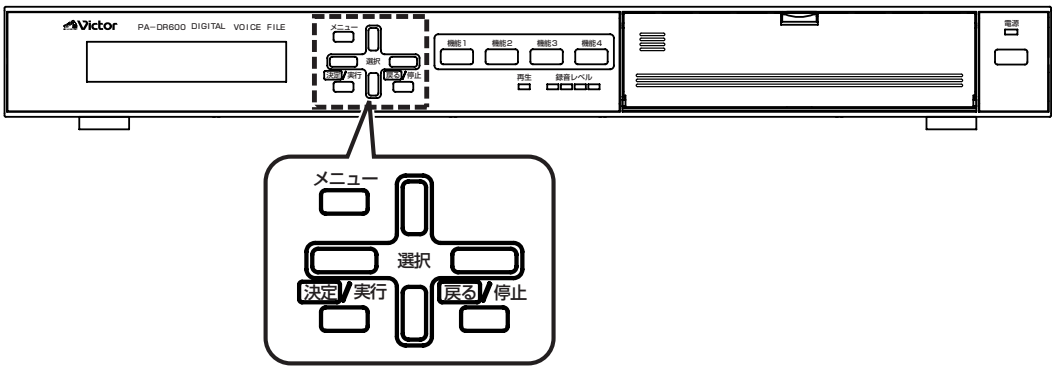
- 録音方式で「ハイ－ロング」および「ロング」に設定した場合、圧縮方式(μ － law 方式)の特性により、音量の小さい部分で雑音(量子化ノイズ)が聞えることがあります。使用する用途に応じて録音方式を選択してください。

■録音方式と出力モード対応表

「1-3. 出力設定」の出力モードの設定により、使用できる録音方式が下表のように決まっています。
設定する出力モードに合わせて、「○」印の録音方式を選択してください。また、いずれの出力モードでも、異なる録音方式のファイルが混在しても再生可能です。

録音方式	1 元出力モード	2 元出力モード	1 元 4 出力モード
ハイ - スタンダード - モノラル	○	×	○
スタンダード - モノラル	○	○	○
ハイ - ロング - モノラル	○	×	○
ロング - モノラル	○	○	○
スタンダード - ステレオ	○	×	×
ロング - ステレオ	○	×	×

Step1：録音をする（つづき）



step1：録音の音質を設定する

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照）
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 録音ファイルメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. ロクオンファイルメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
3.ﾛｸｵﾝﾌｧｲﾙﾒﾆｭｰ
3-1.ｵﾝｼﾂｾｯﾃｲ
```

＜録音ファイルメニュー画面＞

3. 音質設定画面を表示する

録音ファイルメニューから『3-1. オンシツセッテイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
3-1.ｵﾝｼﾂｾｯﾃｲ
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ-ﾓﾉﾗﾙ
```

＜音質設定画面＞

4. 音質を設定する

・【選択】上、下ボタンで音質を選択し、【決定/　実行】ボタンを押します。
『ハイ - スタンダード - モノラル』：44.1 kHz PCM
『スタンダード - モノラル』　　：22.05 kHz PCM
『ハイ - ロング - モノラル』　　：44.1 kHz μlaw
『ロング - モノラル』　　：22.05 kHz μlaw
『スタンダード - ステレオ』　　：22.05 kHz PCM
『ロング - ステレオ』　　：22.05 kHz μlaw
（工場出荷時：『スタンダード - モノラル』）
・音質が確定し、自動的に録音ファイルメニュー画面に戻ります。

step2：録音をする

最大 999 個のファイルを作成できます。

1. 録音待機画面を表示する

録音ファイルメニュー画面から、『3-2. ロクオン』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
3.ﾛｸｵﾝﾌｧｲﾙﾒﾆｭｰ
3-2.ﾛｸｵﾝ
```

＜録音ファイルメニュー画面＞

```
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ-ﾓﾉﾗﾙ
ﾛｸｵﾝﾖｶｲｼｼﾏｽ［ｹｯﾃｲ］
```

Step1 で設定した録音音質が表示されます。

＜録音待機画面＞

2. 録音を開始する

録音待機画面表示時に【決定/ 実行】ボタンを**押します**。

```
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ-ﾓﾉﾗﾙ
ｹｲｶ　0:00:00［ﾃｲｼ］
```

＜録音中画面＞

メモ

- 録音中に【選択】上、下ボタンを押すと、録音残時間画面に切り換わります。

```
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ-ﾓﾉﾗﾙ
ﾉｺﾘ　0:43:29［ﾃｲｼ］
```

＜録音残時間画面＞

- ファイル、プレイリストに空きが無い場合は、『* アキファイルナシ』または『* アキプレイリストナシ』と表示され、『3. ロクオンファイルメニュー』画面に戻ります。
- ファイルを消去しても、プレイリスト番号に空きがないと録音ができません。不要なプレイリストを消去してください。
（☞ 67 ページ「プレイリストを消去する」参照）

3. 録音を停止する

録音中画面表示時に【戻る/ 停止】ボタンを押し、録音を停止します。

メモ

- メモリーカードの空き容量が無くなると、自動的に録音が停止します。

```
*ｱｷﾖｳﾘｮｳｶﾞﾀﾘﾏｾﾝ
ﾛｸｵﾝﾖ  ﾃｲｼｼﾏｼﾀ ［ｹｯﾃｲ］
```

4. 録音したファイルを試聴する

・試聴選択画面で『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・『イイエ』を選択すると、試聴せずに手順 **6.** の保存確認画面が表示されます。

```
ﾛｸｵﾝﾃﾞｷﾏｼﾀ
ｼﾁｮｳｼﾏｽｶ?  ﾊｲ/ｲｲｴ
```

＜試聴選択画面＞

5. 試聴を終了する

・最後まで試聴すると、再試聴確認画面が表示されます。
・再試聴確認画面で『イイエ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押すと、保存確認画面(手順 **6.**)が表示されます。

『ハイ』を選択すると、再度、再生します。

```
ﾓｳｲﾁﾄﾞｳｻｲｾｲ?
ﾊｲ/ｲｲｴ
```

メモ

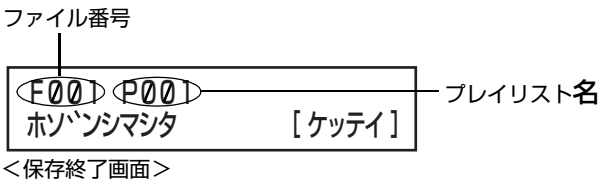
- 試聴時の音声は、本機内蔵モニタースピーカー、【ヘッドホン】端子、【ライン出力】端子から出力されます。
  ただし、本機背面の制御出力の【アンプ電源】端子は制御信号を出力しません。
- 試聴中に【戻る/　停止】ボタンを押すと、保存確認画面(手順 **6.**)が表示されます。

6. 保存をする

・保存確認画面で『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・保存が終了し、保存終了画面が表示されます。
・保存終了画面で【決定/ 実行】ボタンを押すと、録音待機画面に戻ります。
  次のファイルを録音する場合は、【決定/ 実行】ボタンを押すと録音を開始します。

```
ﾎｿﾞﾝｼﾏｽｶ?
ﾊｲ/ﾛｸｵﾝﾔﾘﾅｵｼ
```

＜保存確認画面＞



＜保存終了画面＞

メモ

- 保存確認画面で『ロクオンヤリナオシ』を選択すると、保存をせずに録音待機画面に戻ります。
- プレイリスト名は、任意の名前に変更できます。
  (☞ 60 ページ「プレイリスト名を変更する」参照)

7. 録音を終了する

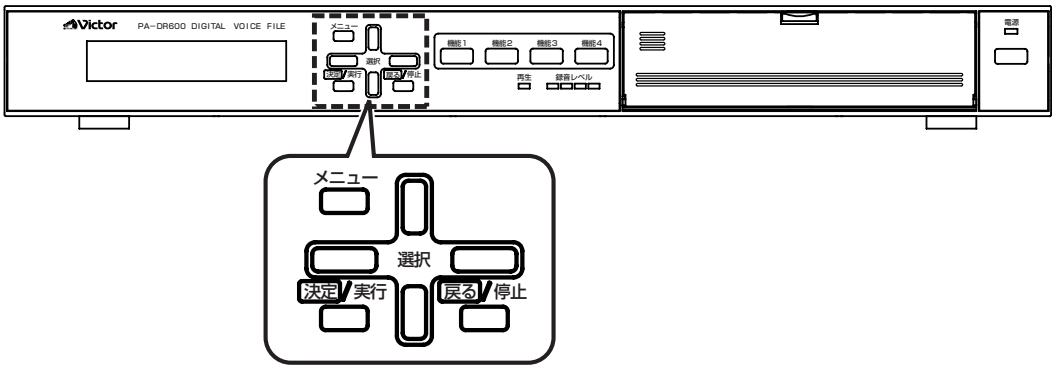
保存終了画面で【戻る/ 停止】ボタンを押すと、録音ファイルメニュー画面に戻ります。

Step2: 再生をする

・録音済みの各ファイルおよび作成したプレイリストを試聴することができます。
・音声は、下記の出力で確認できます。
 ・ 本機内蔵のモニタースピーカー
 ・【ヘッドホン】端子
 ・ライン出力【モノラル /L】端子および【R】端子

用語について

ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。



ファイルを再生する

選択したファイルのみを再生します。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
 (☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 再生メニュー画面を表示する

メインメニューから『4. サイセイメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
4.ｻｲｾｲﾒﾆｭｰ
4-1.ﾌｧｲﾙｻｲｾｲ
```

<再生メニュー画面>

3. ファイル再生選択画面を表示する

再生メニューから『4-1. ファイルサイセイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
4-1.ﾌｧｲﾙｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ:F001 ｵｵｷｻ 07
```

<ファイル再生選択画面>

4.ファイル再生選択画面でファイル番号と音量を設定する

・【選択】左、右ボタンで項目(『センタク』または『オオキサ』)を選択し、【選択】上、下ボタンで設定します。
・設定が終わったら、【決定/ 実行】ボタンを押します。

『センタク』:再生したいファイル番号を選択します。
『オオキサ』:音量を設定します。0(小音量)～ 9(大音量)
(工場出荷時:『07』)

5. ファイルを再生する

・再生選択画面で『サイセイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・『モドル』を選択または【戻る/ 停止】ボタンを押すと、ファイル再生選択画面(手順 **3.**)に戻ります。

```
ﾌｧｲﾙｻｲｾｲ F001
ｵｵｷｻ 07 ｻｲｾｲ/ﾓﾄﾞﾙ
```

<再生選択画面>

メモ

- 録音していないファイル番号を選択した場合、『* ファイルエラー』と表示されます。

6. ファイルの再生を終了する

・最後まで再生すると、自動的にファイル再生選択画面に戻ります。
・ファイルの再生中に【戻る/ 停止】ボタンを押すと、再生を停止し、ファイル再生選択画面に戻ります。

プレイリストを再生する

プレイリストに登録されているファイルをすべて再生します。

ご注意

- 再生モード(連続/単独)、再生回数、シャッフルなどの設定は、プレイリストに対する設定ではありませんので、「4. 再生メニュー」での再生では反映されません。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 再生メニュー画面を表示する

メインメニューから『4. サイセイメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
4.ｻｲｾｲﾒﾆｭｰ
4-1.ﾌｧｲﾙｻｲｾｲ
```

<再生メニュー画面>

3. プレイリスト再生選択画面を表示する

再生メニューから『4-2. プレイリストサイセイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
4-2.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ 001>P001
```

<プレイリスト再生選択画面>

*4.*プレイリスト再生選択画面で再生するプレイリストを選択する

【選択】上、下ボタンでプレイリストを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

メモ

- 選択したプレイリストにメッセージ(ファイル)が登録されていない場合は、『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』と表示され、プレイリスト再生選択画面に戻ります。

5. 再生する音量を設定する

【選択】上、下ボタンで 0(小音量)～ 9(大音量)の値に設定し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
(工場出荷時:『7』)

```
ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ P001
ｵｵｷｻ 7
```

<音量設定画面>

6. 再生をする

・再生選択画面で『サイセイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・『モドル』を選択または【戻る/ 停止】ボタンを押すと、プレイリスト選択画面に戻ります。

```
ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ P001
ｵｵｷｻ 7 ｻｲｾｲ/ﾓﾄﾙ
```

<再生選択画面>

メモ

- 再生中に次のメッセージにスキップしたい場合は、再生中画面で『スキップ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。
- エラーが発生したときは、『* サイセイエラー』と表示されます。

7. 再生を停止する

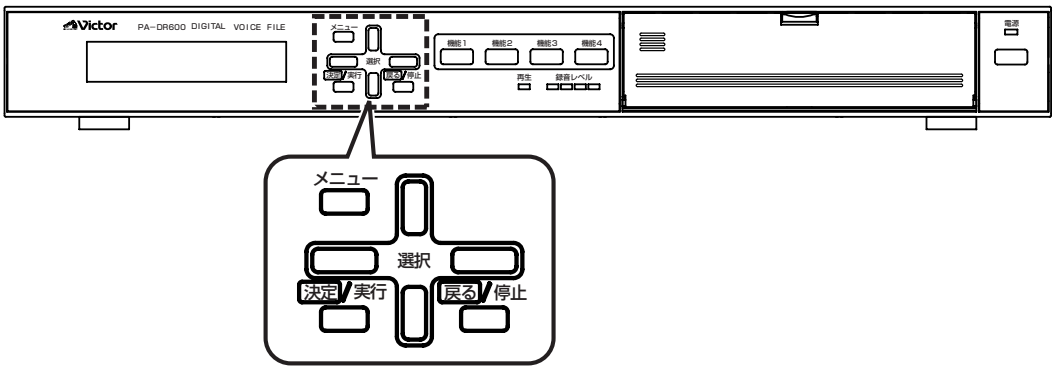
・再生中画面で『テイシ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・再生を終了し、プレイリスト再生選択画面に戻ります。

```
ｻｲｾｲ P001 F001
ｻｲｾｲﾁｭｳ ｽｷｯﾌﾟ/ﾃｲｼ
```

<再生中画面>

Step3:
出力モードを設定する

・再生するファイルの出力先を設定します。
・本機は、「1 元出力モード」、「2 元出力モード」、「1 元 4 出力モード」の 3 つの出力モードに対応しています。
・「1 元出力モード」以外は、再生するファイルの録音方式に制約があります。必ず、下表を参考に、ファイルを用意してください。
・工場出荷時の設定は、「1 元出力モード」です。
・各出力モードの接続方法については、17 ページ「Step2: 外部機器を接続する」をご覧ください。



■ 出力モード

出力モード (LCD 画面表示)	特徴	再生可能なファイルの録音方式
1 元出力モード (『1 ゲンシュツリョク』)	・1 台のアンプで再生します。 ・ステレオ再生対応です。	・ステレオ / モノラルの両方に対応しています。
2 元出力モード (『2 ゲンシュツリョク』)	・2 台のアンプを接続し、プレイリストごとに設定した出力先へ出力します。 ・同時に 2 つのファイルを独立して再生することができます。	・「スタンダード - モノラル」と「ロング - モノラル」に対応しています。
1 元 4 出力モード (『1 ゲン 4 シュツリョク』)	・最大 4 台のアンプを接続し、プレイリストごとに指定した出力先へ出力します。 ・同時に異なるファイルを再生することはできません。 ・同じファイルを同時に複数の出力先に出力することができます。	・モノラルモードのみに対応しています。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、
【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
1-1.LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
```

<設定メニュー画面>

3. 出力モード選択画面を表示する

・設定メニュー画面から、『1-3. シュツリョクセッテイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1-3.ｼｭﾂﾘｮｸｾｯﾃｲ
1ｹﾞﾝｼｭﾂﾘｮｸ
```

<出力モード選択画面>

4. 出力モードを設定する

・【選択】上、下ボタンで出力モードを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・出力モードを確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

```
1-3.ｼｭﾂﾘｮｸｾｯﾃｲ
1ｹﾞﾝｼｭﾂﾘｮｸ
```

<出力モード選択画面(例:『1 ゲンシュツリョク』を選択の場合)>

メモ

- 録音済みのファイルの録音方式の変換、ステレオからモノラルへの変換は、「3-5. フォーマット変換」で行うことができます。(☞ 54 ページ「ファイル形式を変更する(**フォーマット変換**)」参照)

Step4: 制御入力の優先モードを設定する

・本機背面の【制御入力】端子および【機能】ボタンから、本機を制御する場合の制御モード(起動優先モード)の設定をします。
・【制御入力】端子の制御信号の入力方式には「パルス方式」と「レベル方式」の 2 つがあります。
・再生中に別の制御信号が入力された場合の優先順位を「後優先」、「先優先」、「順次記憶」から選択できます。
・本機では、下表の 5 つの起動優先モードから選択します。(工場出荷時:『アトーパルス』)

メモ

- 【機能】ボタンによる操作の場合、「レベル方式」でもボタンを連続で押し続ける必要はありません。一度オンにすると、設定されているプレイリストを最後まで再生します。その他仕様については、制御入力と同じ動作となります。
- 「レベル方式」の場合、単独再生、再生回数、「停止」信号は無効となります。
- 起動優先モードの設定の他に、緊急指定により、指定のプレイリストの優先順位を高くすることができます。
- 「停止」信号または「後優先」により、再生中のプレイリストが停止するときは、約 1 秒でフェードアウトします。

起動優先モード	LCD 画面表示	動作
後優先パルス	『アトーパルス』	・後から入力された制御信号を優先します。 ・再生中に制御信号が入力されると、再生中のプレイリストを停止し、次の再生に移行します。 ・パルス信号で制御します。1 回のパルス信号で 1 回再生します。 ・「停止」信号を入力すると、再生中のプレイリストをすぐに停止します。
先優先パルス	『サキーパルス』	・先に入力された制御信号による動作を優先します。 ・再生中に入力された制御信号は無効となり、再生中のプレイリストを最後まで再生します。 ・パルス信号で制御します。1 回のパルス信号で 1 回再生します。 ・「停止」信号を入力すると、再生中のプレイリストをすぐに停止します。
後優先レベル	『アトーレベル』	・後から入力された制御信号を優先します。 ・再生中に制御信号が入力されると、再生中のプレイリストを停止し、次の再生に移行します。 ・レベル(連続)信号で制御します。信号が連続的に入力されている間は、繰り返し再生します。
先優先レベル	『サキーレベル』	・先に入力された制御信号による動作を優先します。 ・再生中に入力された制御信号は無効となり、再生中のプレイリストを最後まで再生します。 ・レベル(連続)信号で制御します。信号が連続的に入力されている間は、繰り返し再生します。
順次記憶パルス	『ジュンジ キオク』	・再生中に制御信号が入力されると、入力された順番に記憶します。 ・再生中のプレイリストを最後まで再生し、再生が終了すると順次再生します。 ・パルス信号で制御します。1 回のパルス信号で 1 回再生します。 ・「停止」信号を入力すると、再生中のプレイリストをすぐに停止して記憶している次のプレイリストを再生します。 ・1 元出力モードの場合、最大 16 個まで記憶できます。 2 元出力モードの場合、1 元、2 元それぞれ最大１６個(合計３２個)まで記憶できます。 ・「停止」信号を 3 秒以上入力すると、記憶を消去できます。

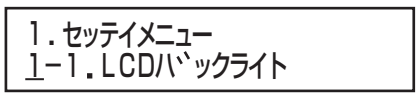
■優先モード設定

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。



<設定メニュー画面>

3. 起動優先モード選択画面を表示する

・設定メニュー画面から、『1-4. キドウユウセン』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

<起動優先モード選択画面>

4. 起動優先設定を選択する

・【選択】上、下ボタンで選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

Step4: 制御入力の優先モードを設定する（つづき）

パルス方式とレベル方式について

下記の内容は、【制御入力 1】端子（起動番号 1）にプレイリスト P001、【制御入力 2】端子（起動番号 2）にプレイリスト P002 を割り付けた場合を例として説明しています。

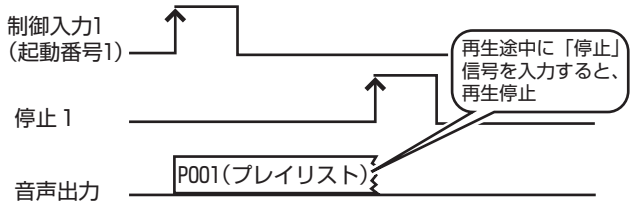
■パルス方式の基本動作

・制御信号の立ち上がりを検出して、プレイリストを再生します。

メモ

- 制御信号は、100 ms 以上のパルスを入力してください。
- 連続して制御信号が入力されても、再生は　1　回だけです。
- 再生回数が設定されている場合は、設定されている回数を繰り返して再生します。

・【制御入力 15】端子に「停止 1」の動作を割り当てると、再生を途中で停止することができます。



メモ

- 停止信号は、100 ms 以上のパルスを入力してください。
  なお、順次記憶モードの場合は、3 秒以上の停止信号を入力すると記憶が消去されます。記憶を消去しない場合は、2 秒以下のパルスを入力してください。
- 「1-3. 出力設定」（☞ 36 ページ）で「2 元モード」に設定している場合は、「停止 1」は 1 元出力、「停止 2」は 2 元出力でそれぞれ再生中のプレイリストを個別に停止することができます。

■レベル方式の基本動作

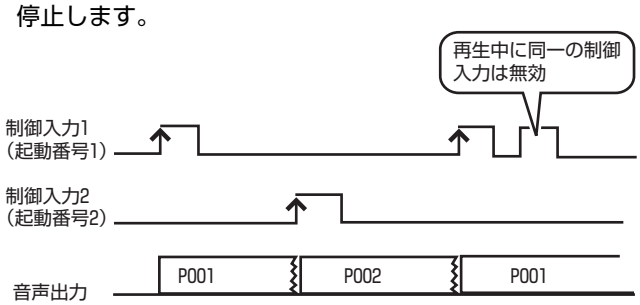
・制御信号の立ち上がりを検出して再生を開始し、制御信号が連続的に入力されている間、繰り返し再生します。

優先順位について

下記の内容は、【制御入力 1】端子（起動番号 1）にプレイリスト P001、【制御入力 2】端子（起動番号 2）にプレイリスト P002 を割り付けた場合を例として説明しています。

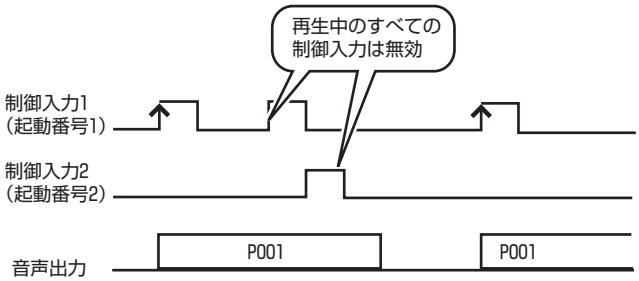
■後優先パルス

・後から入力された制御信号を優先します。
・再生中に制御信号が入力されると、再生中のプレイリストを停止し、次のプレイリストを再生します。
・パルス信号で制御します。1 回のパルス信号で 1 回再生します。
・「停止」信号を入力すると、再生中のプレイリストをすぐに停止します。



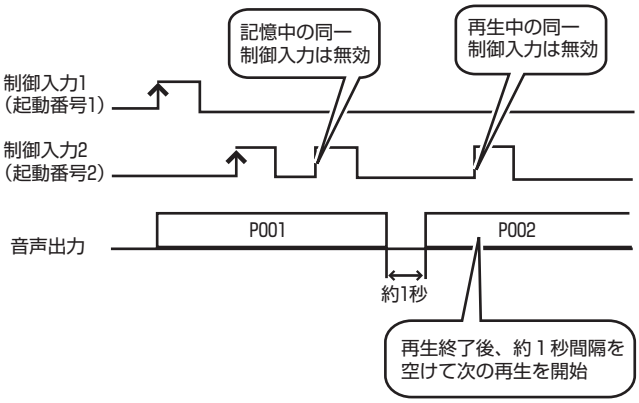
■先優先パルス

・先に入力された制御信号による動作を優先します。
・再生中に入力された制御信号は無効となり、再生中のプレイリストを最後まで再生します。
・パルス信号で制御します。1 回のパルス信号で 1 回再生します。
・「停止」信号を入力すると、再生中のプレイリストをすぐに停止します。



■順次記憶パルス

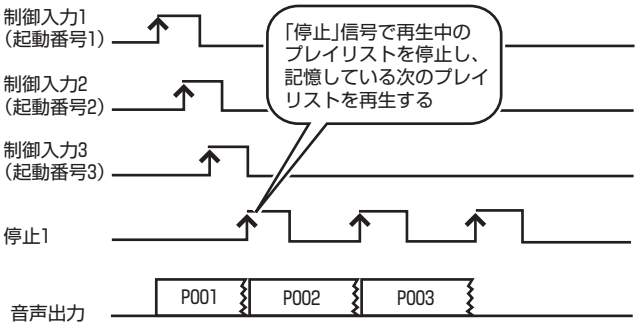
・再生中に制御信号が入力されると、入力された順番に記憶します。
・1 元出力モードの場合、最大 16 個まで記憶できます。
2 元出力モードの場合、1 元、2 元それぞれ最大 16 個(合計 32 個)まで記憶できます。
・再生中のプレイリストを最後まで再生し、再生が終了すると順次再生します。
・パルス信号で制御します。1 回のパルス信号で 1 回再生します。



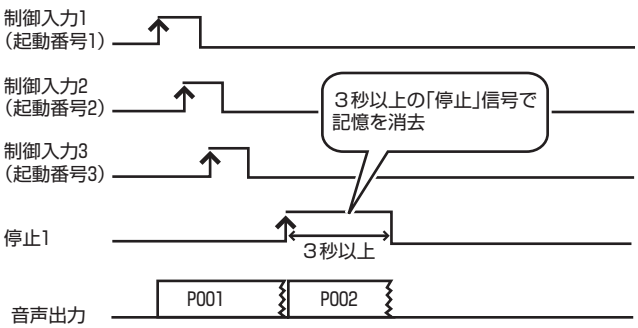
メモ

- 記憶中および再生中の同一制御入力は無効です。
再生終了前に繰り返し同一の制御信号を入力しても再生するのは 1 回のみです。

・「停止」信号を入力すると、再生中のプレイリストをすぐに停止して記憶している次のプレイリストを再生します。

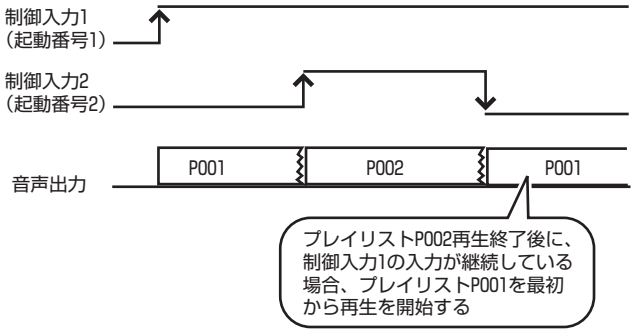


・「停止」信号を 3 秒以上入力すると、記憶を消去できます。



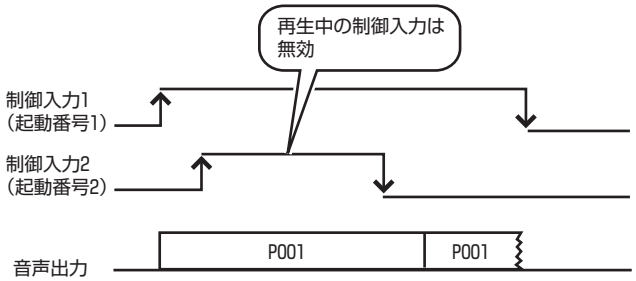
■後優先レベル

・後から入力された制御信号を優先します。
・再生中に制御信号が入力されると、再生中のプレイリストを停止し、次の再生に移行します。
・レベル(連続)信号で制御します。信号が連続的に入力されている間は、繰り返し再生します。



■先優先レベル

・先に入力された制御信号による動作を優先します。
・再生中に入力された制御信号は無効となり、再生中のプレイリストを最後まで再生します。
・レベル(連続)信号で制御します。信号が連続的に入力されている間は、繰り返し再生します。



Step5: 制御入力の制御方式を設定する

・本機背面の【制御入力】端子を使って制御機器から本機を制御する場合、「ダイレクトモード」、「バイナリモード」の2つから選択できます。(工場出荷時:「ダイレクトモード」)
・各制御入力モードの接続方法については 21 ページ、22 ページをご覧ください。

制御入力モード	特徴
ダイレクトモード	・【制御入力 1 ～ 15】端子にプレイリストを割り付け、直接再生します。 ・最大 15 個のプレイリストが再生できます。 ・制御入力からの制御で録音 / 消去ができます。
バイナリモード	・【制御入力 1 ～ 10】端子とスタート端子(【制御入力 13】端子)で、プレイリストを選択して再生します。 ・最大 999 個のプレイリストが再生できます。

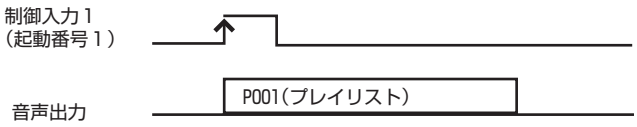
メモ

- プレイリストは、起動番号 E001 ～ E999 に割り付けます。
  (☞ 43 ページ「Step7:【制御入力】端子に 起動番号と動作を割り当てる」参照)
- 「バイナリモード」に設定すると、【制御入力】端子に「スタート」、「停止」などの機能が自動的に設定されます。
- 「バイナリモード」では、【制御入力1～10】端子バイナリ(2進数)信号を入力することで、起動番号E001～E999を選択します。
- 「ダイレクトモード」での【制御入力 1 ～ 15】端子は、起動番号 E001 ～ E015 に対応しています。
- バイナリ(2 進数)信号 - 起動番号対応表は 94 ページをご覧ください。

■ダイレクトモードの制御方法について

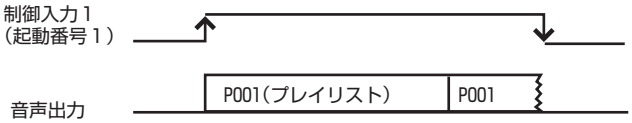
パルス方式:

制御入力 1 ～ 15 で起動番号を直接指定して再生開始します。



レベル方式:

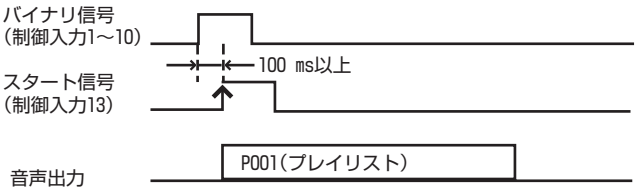
制御入力 1 ～ 15 で起動番号を直接指定し、制御入力が連続的に入力されている間、繰り返し再生します。



■バイナリモードの制御方法について

パルス方式:

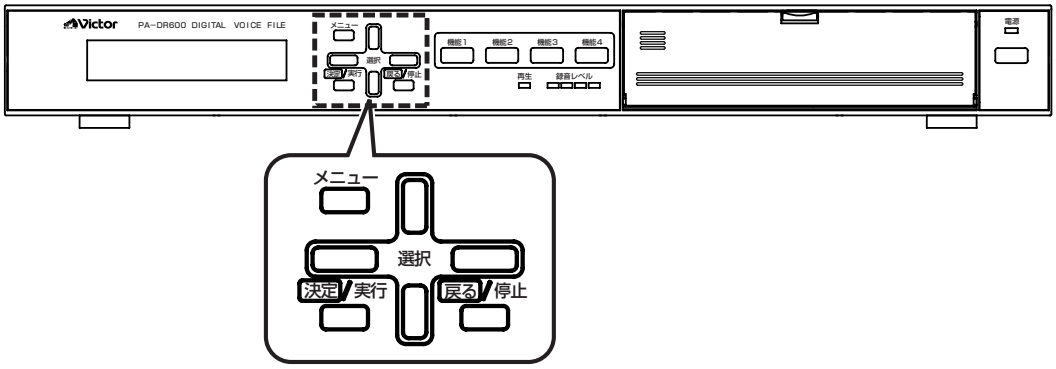
バイナリ信号(【制御入力 1 ～ 10】端子)で起動番号を指定し、スタート信号が立ち上がると再生を開始します。



メモ

- バイナリモードではパルス方式のみ対応しています。
  レベル方式には対応していません。
- バイナリ信号入力からスタート信号入力までの時間は 100 ms 以上空けてください。

■制御方式設定



1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、
【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
1-1.LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
```

<設定メニュー画面>

3. 制御入力モード選択画面を表示する

・設定メニュー画面から、『1-5. セイギョニュウリョクモード』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1-5.ｾｲｷﾞｮﾆｭｳﾘｮｸﾓｰﾄﾞ
ﾀﾞｲﾚｸﾄ/ﾊﾞｲﾅﾘ
```

<制御入力モード選択画面>

4. 制御入力モードを選択する

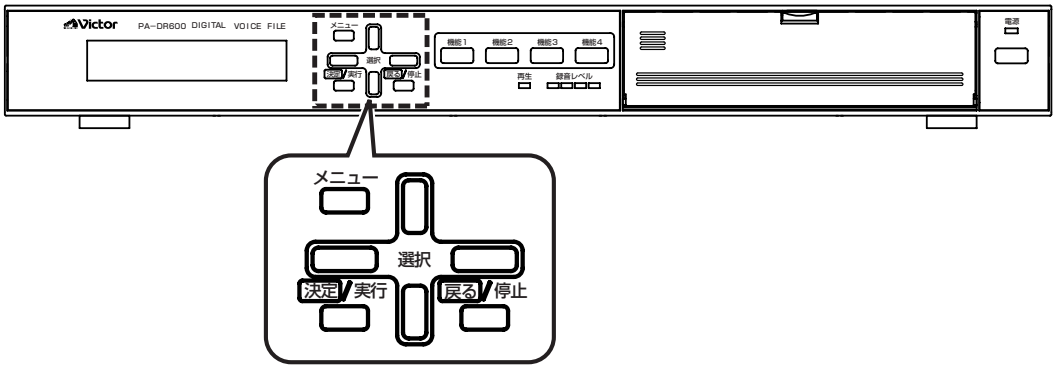
・【選択】左、右ボタンで、『ダイレクト』または『バイナリ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

『ダイレクト』:【制御入力 1 ～ 15】の各端子に 1 つの動作を割り当てます。

『バイナリ』 :2 進数で動作を割り当てます。【制御入力 1 ～ 10】の各端子に入力された2進数の組み合わせで動作を割り当てます。
(☞ 94 ページ「2 進数(バイナリ)番号 - 起動番号対応表 「0」=オフ「1」=オン」参照)

Step6:
再生ウェイト時間を設定する

・制御信号が入力されてからプレイリストの再生を開始するまでのウェイト(遅延)時間を0秒～９９秒の間で設定できます。
・本機でアンプ電源の入 / 切を制御する場合、アンプの電源が入るまでの時間による音切れのない放送をする場合などに使用します。
・機器の接続については、18 ページをご覧ください。



1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
1-1.LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
```

<設定メニュー画面>

3. 再生ウェイト時間設定画面を表示する

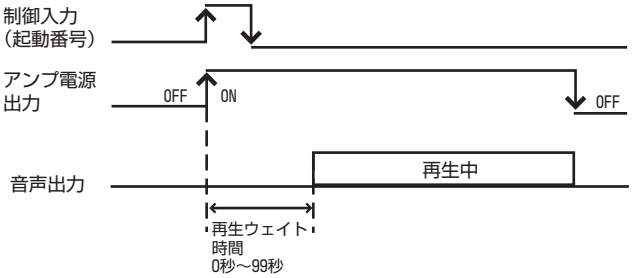
設定メニューから『1-6. サイセイウェイトジカン』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1-6.ｻｲｾｲｳｪｲﾄｼﾞｶﾝ
ﾋﾞｮｳ:00
```

<再生ウェイト時間設定画面>

4. 再生ウェイト時間を設定する

・【選択】上、下ボタンで、『00』秒～『99』秒の間を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
(工場出荷時:0 秒)



・設定が確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

Step7:【制御入力】端子に起動番号と動作を割り当てる

・本機背面の【制御入力】端子に機能を設定します。
・制御入力方式を「ダイレクトモード」か「バイナリモード」に設定(☞ 40 ページ)しているかで、【制御入力】端子に設定できる機能が違います。
・「プレイリスト」を設定した場合、再生するプレイリスト、再生動作(再生モード、再生回数など)の設定をします。

【制御入力】端子の機能設定について

■ダイレクトモードの場合

・【制御入力 1 ～ 15】端子は、起動番号 E001 ～ E015 に対応しています。
・起動番号E001～E015に対応して、「プレイリスト」、「録音」、「消去」、「停止」または「なし」のいずれかの機能を設定します。
・「プレイリスト」を選択した場合、再生するプレイリスト、再生動作(再生モード、再生回数など)の設定をします。

【制御入力】端子	起動番号	設定内容
1	E001	「プレイリスト」または「なし」
2	E002	
3	E003	
4	E004	
5	E005	
6	E006	
7	E007	
8	E008	
9	E009	
10	E010	
11	E011	「プレイリスト」または「消去」または「なし」
12	E012	「プレイリスト」または「録音」または「なし」
13	E013	「プレイリスト」または「なし」
14	E014	「プレイリスト」または「停止 2」または「なし」
15	E015	「プレイリスト」または「停止 1」または「なし」

■バイナリモードの場合

・【制御入力】端子の機能は、自動的に設定されます。
・起動番号 E001 ～ E999 に対して、再生するプレイリスト、再生動作(再生モード、再生回数など)の設定をします。

【制御入力】端子	設定内容	備考
1	バイナリ信号入力 1	バイナリ信号入力により、起動番号「E001」～「E999」を選択
2	バイナリ信号入力 2	
3	バイナリ信号入力 3	
4	バイナリ信号入力 4	
5	バイナリ信号入力 5	
6	バイナリ信号入力 6	
7	バイナリ信号入力 7	
8	バイナリ信号入力 8	
9	バイナリ信号入力 9	
10	バイナリ信号入力 10	
11	不使用	
12	不使用	
13	「スタート」	選択された起動番号の「スタート」(再生開始)信号入力
14	「停止 2」	2 元出力モード時の 2 元側出力用「停止」信号入力
15	「停止 1」	「停止」信号入力(2 元出力モード時は 1 元側出力停止用)

【制御入力】端子に起動番号と動作を割り当てる

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『2. プログラムメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

<プログラムメニュー画面>

3. 起動番号選択画面を表示する

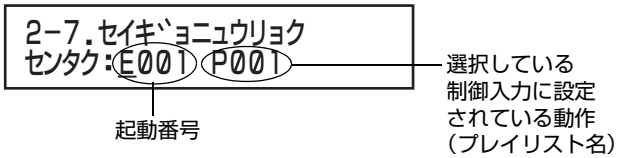
・プログラムメニュー画面から、『2-7. セイギョニュウリョク』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

<起動番号選択画面>

4. 設定する起動番号を選択する

・【選択】上、下ボタンで選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・Step3 で設定した制御方式によって、設定できる起動番号数が違います。

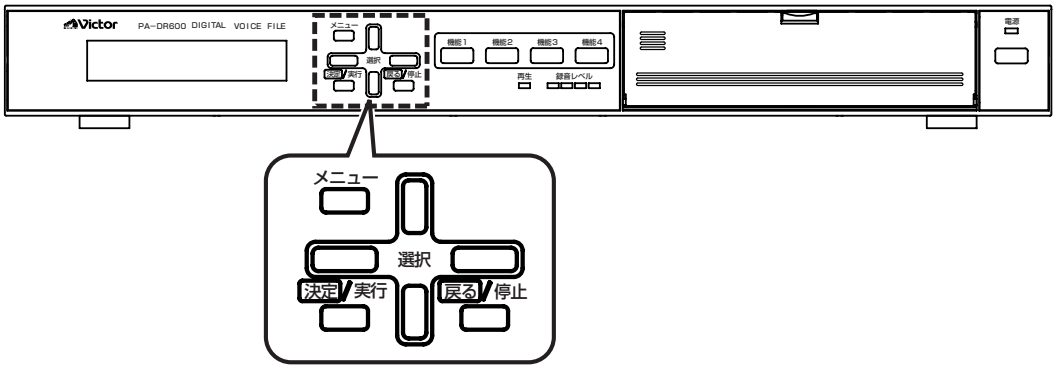
『ダイレクト』:『E001』～『E015』から選択可能。
『バイナリ』 :『E001』～『E999』から選択可能。
(☞94 ページ「2 進数(バイナリ)番号 - 起動番号対応表 「0」=オフ「1」=オン」参照)



<起動番号選択画面>

Step7:【制御入力】端子に起動番号と動作を割り当てる（つづき）

【制御入力】端子に起動番号と動作を割り当てる（つづき）



用語について

ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

5. 動作を割り当てる

・【選択】左、右ボタンで選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・動作選択画面で『プレイリスト』を選択した場合のみ、手順 **6.** に進みます。
・動作選択画面で『ナシ』、『テイシ 1』、『テイシ2』、『ショウキョ』、『ロクオン』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押すと、起動番号選択画面に戻ります。

```
ｷﾄﾞｳﾊﾞﾝｺﾞｳ   E001
ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ/ﾅｼ
```

＜動作選択画面＞

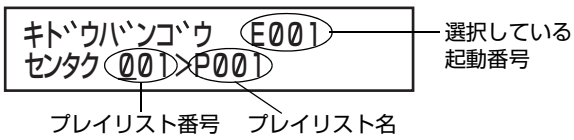
『プレイリスト』:信号が入力されると、プレイリストを再生します。
『E001』～『E999』で選択可能。
『ナシ』　:信号が入力されても動作しません。
『E001』～『E999』で選択可能。
『ロクオン』　:信号が入力されると、録音を開始します。
『E012』でのみ選択可能。
『テイシ』または『テイシ 1』　:信号が入力されると、動作を停止します。
2 元出力モード設定時は、1 元側出力の動作を停止します。
『E015』でのみ選択可能。
『テイシ2』　:2 元出力モード設定時、信号が入力されると 2 元側出力の動作を停止します。
Step1 出力モード設定で、『2 ゲンシュツリョク』に設定した場合、『E014』でのみ選択可能。
『ショウキョ』　:信号が入力されると、ファイルを消去します。『E011』でのみ選択可能。

メモ

- 制御入力モードを「バイナリモード」に設定している場合は、すべての起動番号に設定できるのは『プレイリスト』または『ナシ』のどちらかになります。

6.選択した起動番号で再生するプレイリストを選択する

・【選択】上、下ボタンでプレイリストを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・メッセージが入力されているプレイリストが表示されます。



＜プレイリスト選択画面＞

メモ

- 設定されていないプレイリストを選択すると、『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』とエラー表示されます。

7. 起動番号の詳細設定をする

・プレイリスト再生に関する各設定を行います。
・起動番号の詳細設定は、再生モード設定から行います。

設定項目	選択項目(工場出荷時設定)	参照ページ
再生モード	連続 / 単独(連続)	45
再生回数	1回～99回、エンドレス(1回)	45
再生インターバル	分:0分～99分まで1分毎 秒:0秒～50秒まで10秒毎(0分0秒)	45
シャッフル	オン / オフ(オフ)	46
通常・緊急優先設定	通常 / 緊急(通常)	46
出力先設定	2元出力モード　:1元/2元(1元) 1元4出力モード: 出力1/出力2/出力3/出力4(出力1)	47

■再生モード設定

・【選択】左、右ボタンで、『レンゾク』または『タンドク』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。
・【決定/　実行】ボタンを押し、設定を確定すると、次の設定画面に進みます。

```
E001:P001
ｻｲｾｲﾓｰﾄﾞ:ﾚﾝｿﾞｸ/ﾀﾝﾄﾞｸ
```

<再生モード選択画面>

『レンゾク』:1回の起動信号入力でプレイリスト内のメッセージをすべて再生します。
(☞ 45 ページ「再生回数設定」へ進む)

『タンドク』:起動信号が入力されるごとに、プレイリスト内のメッセージを1つずつ順番に再生します。
(☞ 46 ページ「シャッフル設定」へ進む)

(工場出荷時:『レンゾク』)

連続再生の動作イメージ

プレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容
001	本日は定時退社日です。
002	午後の業務を見直し、定時で帰れるよう…
003	やむをえず残業する人は、申請用紙を…

← 起動入力
↓ すべてのメッセージを続けて再生

単独再生の動作イメージ

プレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容	
001	始業時間です。朝礼の…	← 起動入力
002	10時になりました。10分間の休憩…	← 起動入力
003	12時です。お昼休み…	← 起動入力
004	3時です。おやつの時間です…	← 起動入力
005	本日の業務ご苦労様でした。	← 起動入力

※

※ 起動が入るごとにメッセージを1つずつ再生

メモ

- 単独再生は、起動優先モードが「パルス方式」モードに設定されているときのみ対応します。

■再生回数設定

【選択】上、下ボタンで、再生回数(1回～99回)または『エンドレス』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。

```
E001:P001
ｻｲｾｲｶｲｽｳ:  01
```

<再生回数選択画面>

再生回数　:プレイリスト内のメッセージすべてを繰り返して再生する回数を設定します。
1回～99回まで設定できます。
(☞ 2回以上に設定した場合、45 ページ「再生インターバル時間設定」へ進む)
※再生回数を1回に設定した場合のみ、「シャッフル設定」へ進みます。(☞ 46 ページ)

『エンドレス』:停止信号が入力されるまで再生を繰り返します。
(☞ 45 ページ「再生インターバル時間設定」へ進む)

(工場出荷時:1回)

メモ

- 再生回数の設定は、再生モードが「連続再生」のときに対応します。「単独再生」のときは設定できません。
- 起動優先モードを「レベル方式」モードに設定している場合に、「再生インターバル時間」を設定するときは『エンドレス』を選択してください。

■再生インターバル時間設定

・プレイリストを繰り返し再生する場合の再生間隔を設定します。
・【選択】左、右ボタンで、分と秒を切り換えます。
・【選択】上、下ボタンで、分または秒の値を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、「シャッフル設定」へ進みます。
(☞ 46 ページ)

```
E001:P001
ｻｲｾｲｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ  00:00
```

<再生インターバル時間設定画面>

分　:0分～99分まで1分毎に設定できます。

秒　:0秒～50秒まで10秒毎に設定できます。

(工場出荷時:0秒)

「再生回数」と「再生インターバル」設定時の動作イメージ

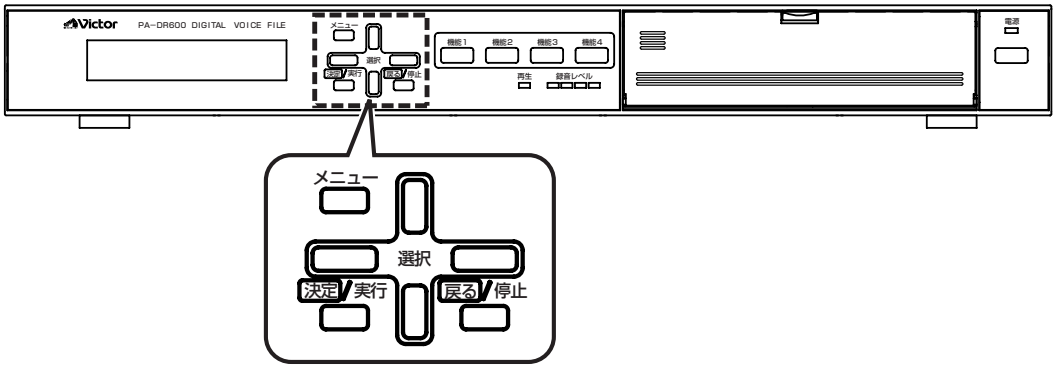
プレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容
001	本日は定時退社日です。
002	午後の業務を見直し、定時で帰れるよう…
003	やむをえず残業する人は、申請用紙を…

← 起動入力
再生インターバル 0秒～99分
起動が入ると、「再生回数」で設定した回数を繰り返す。

Step7:【制御入力】端子に起動番号と動作を割り当てる（つづき）

【制御入力】端子に起動番号と動作を割り当てる（つづき）



用語について

ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト（一覧）のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

7. 起動番号の詳細設定をする（つづき）

■シャッフル設定

・【選択】左、右ボタンで選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、「出力先設定」へ進みます。
（☞ 47 ページ）

```
E001:P001
ｼｬｯﾌﾙ:ｵﾝ/ｵﾌ
```

＜シャッフル設定画面＞

『オン』　:プレイリストに登録されているメッセージを、メッセージ番号の順番に関係なく、ランダムに再生します。

『オフ』　:プレイリスト内のメッセージをメッセージ番号順に再生します。

（工場出荷時:『オフ』）

■通常・緊急優先設定

・【選択】左、右ボタンで『ツウジョウ』または『キンキュウ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・『キンキュウ』に設定すると、起動優先モードの設定に関係なく、最優先で再生します。
例えば、
　・「後優先」設定のとき、「緊急」設定した起動番号のプレイリストを再生中に、後から別の起動が入っても無視されます。
　・「先優先」設定のとき、「通常」設定した起動番号のプレイリストを再生中に、「緊急」設定された起動番号が起動されると、再生中のプレイリストを中断し、緊急設定のプレイリストを再生します。
　・「順次記憶」設定で起動番号記憶中のとき、「緊急」設定された起動番号が起動されると、再生中のプレイリストを中断し、すぐに緊急設定のプレイリストを再生します。

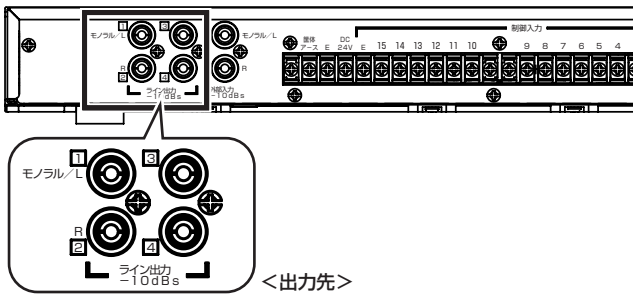
```
E001:P001
ﾂｳｼﾞｮｳ/ｷﾝｷｭｳ
```

＜通常・緊急優先先設定画面＞
（工場出荷時:『ツウジョウ』）

メモ

- 【連動】出力端子を「緊急」に設定しておくと、「緊急」設定された起動番号のプレイリストを再生中に外部機器を制御することができます。
（☞ 73 ページ「連動出力設定をする」参照）

■出力先設定



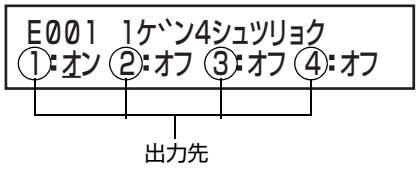
<出力先>

・出力モード設定(☞ 36 ページ)で、『1 ゲン4シュツリョク』または『2 ゲンシュツリョク』に設定した場合に、出力先を設定します。

2元出力モード	「1 元」または「2 元」いずれかを選択。
1 元 4 出力モード	「出力 1」、「出力 2」、「出力 3」、「出力 4」から任意の出力先を選択できます。

● 1 元 4 出力モードの場合

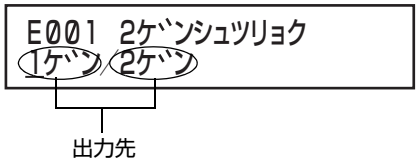
・【選択】左、右ボタンで出力先を選択し、【選択】上、下ボタンで『オン』または『オフ』を切り換えます。【決定/ 実行】ボタンを押すと、設定を確定します。
・『オン』に設定した出力先に音声を出力します。
・設定を確定すると、起動番号選択画面に戻ります。



＜ 1 元 4 出力モード　出力先設定画面＞
(工場出荷時: 1『オン』、2 ～ 4『オフ』)

● 2 元出力モードの場合

・【選択】左、右ボタンで出力先を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、起動番号選択画面に戻ります。



＜ 2 元出力モード　出力先設定画面＞
(工場出荷時:『1 ゲン』)

メモ

- 『オン』に 1 つも設定されていない場合、『* シュツリョク ガセッテイサレテイマセン』とエラー表示されます。出力先を設定してください。
- 出力モード設定が「1 元出力モード」のときは、出力先設定はありません。ライン出力1、3端子は Ｌｃｈ、ライン出力2、4端子は Ｒｃｈ の音声が出力されます。

Step8: 設定した内容を保存する

・設定内容をメモリーカードに保存します。
・設定が終わったら必ずメモリーカードに保存してください。保存しないと、設定した内容を実行することができません。
・保存せずに本機の電源を切断すると、設定した内容は消えてしまいます。

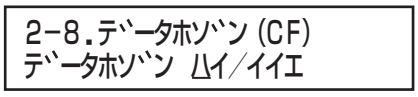
1. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『2. プログラムメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

＜プログラムメニュー画面＞

2. 保存確認画面を表示する

プログラムメニュー画面から、『2-8. データホゾン(CF)』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。



＜保存確認画面＞

3. 保存をする

・【選択】左、右ボタンで『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または【戻る/ 停止】ボタンを押すと、保存をしないでプログラムメニュー画面に戻ります。

ご注意

- 保存中にメモリーカードを抜かないでください。故障の原因となります。
  保存中は、LCD 画面に『CF ヲヌカナイデクダサイ』と表示されます。

4. 保存を終了する

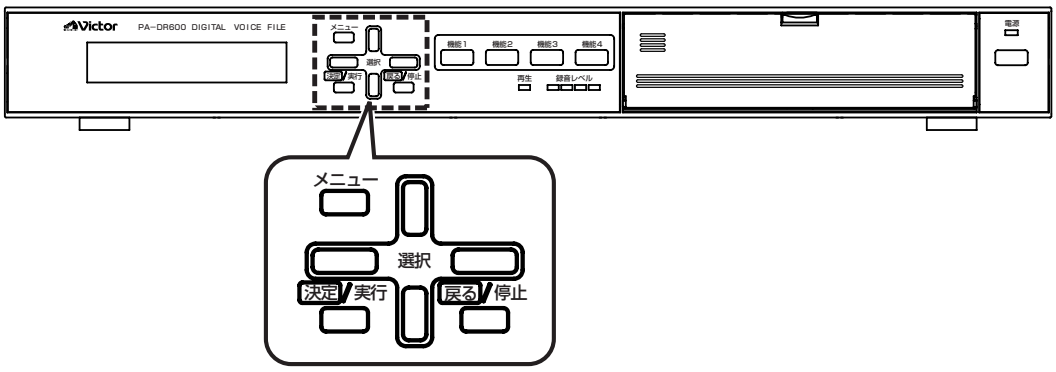
・保存が終了し、LCD 画面に『シュウリョウシマシタ』と表示されたら、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・保存が終了し、【決定/ 実行】ボタンを押すと、プログラムメニュー画面に戻ります。

その他の設定

設定が終わったら、メモリーカードに保存をしてください。(☞ 47 ページ)

メモ

- 設定中に【戻る/ 停止】ボタンを押すと、設定中の内容を確定しないで設定メニュー画面に戻ります。もう一度、【戻る/ 停止】ボタンを押すと、メインメニュー画面に戻ります。



LCD バックライト設定

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、
【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
1-1.LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
```

<設定メニュー画面>

3.LCD バックライト設定画面を表示する

設定メニューから『1-1.LCD バックライト』を選択し、
【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1-1.LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
ﾃﾝﾄｳ/ｼｮｳﾄｳ/ｷｰﾚﾝﾄﾞｳ
```

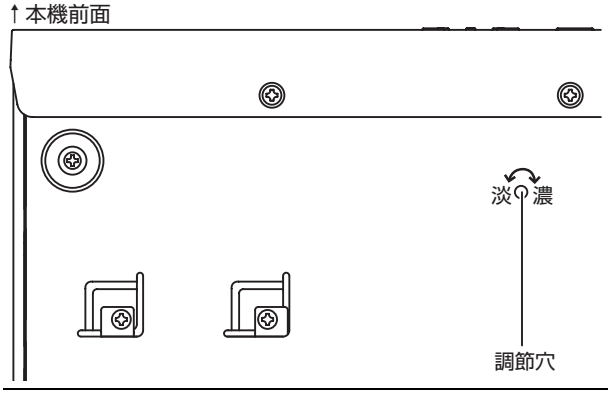
< LCD バックライト設定画面>

4.LCD バックライトの設定をする

・【選択】左、右ボタンで、『テントウ』、『ショウトウ』、『キーレンドウ』のどれかを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
『テントウ』　:常に、LCD バックライトを点灯します。
『ショウトウ』　:常に、LCD バックライトを消灯します。
『キーレンドウ』:ボタンを押してから 30 秒点灯します。
(工場出荷時:『テントウ』)
・設定が確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

メモ

- 『ショウトウ』に設定していても下記の状態になると、バックライトが点灯します。
  - スケジュール実行中に【戻る/ 停止】ボタンを押したとき
  - メインメニュー画面に入ったとき
  - PC との通信を開始したとき
- **LCD 画面のコントラスト調節について**
  LCD画面の表示が見えにくい場合には、本機底面の調節穴からコントラストを調節することができます。
  調節穴に精密ドライバー(マイナス)を差し込み、調節穴の中のネジを左右にゆっくりとまわして調節してください。このとき、力を入れてまわすと、ネジを破損する原因となることがありますのでご注意ください。
  コントラストの調節をする場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。



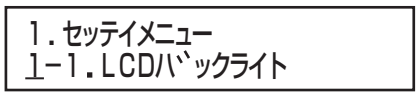
電源投入時の動作を設定する

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。(☞　)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。



＜設定メニュー画面＞

3. オートスタート設定画面を表示する

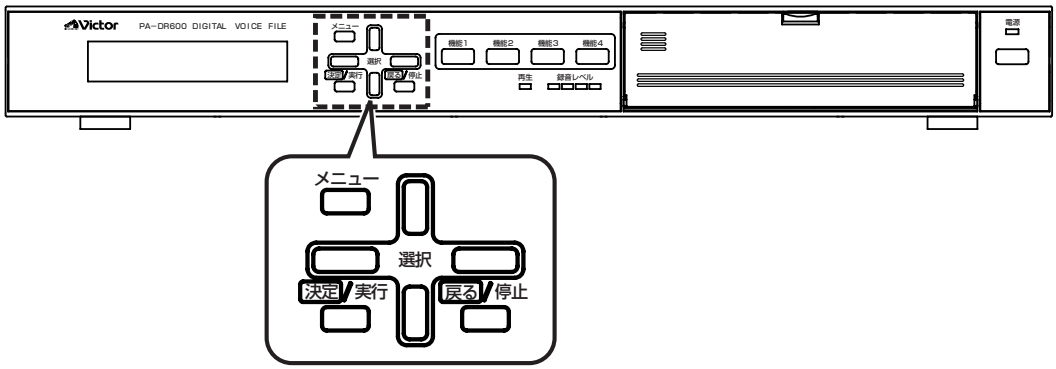
設定メニューから『1-2. オートスタート』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

＜オートスタート設定画面＞

4. オートスタート設定をする

・【選択】左、右ボタンで、『ケイゾク』、『ジッコウ』、『タイキ』のどれかを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
『ケイゾク』:電源を入れると、自動的に電源 OFF 前の状態になります。
『ジッコウ』:電源を入れると、システム動作の実行状態になります。
『タイキ』　:電源を入れると、待機状態になります。
(工場出荷時:『ケイゾク』)
・設定が確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

ファイルを編集する



用語について

ファイル　　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

無音部を消去する

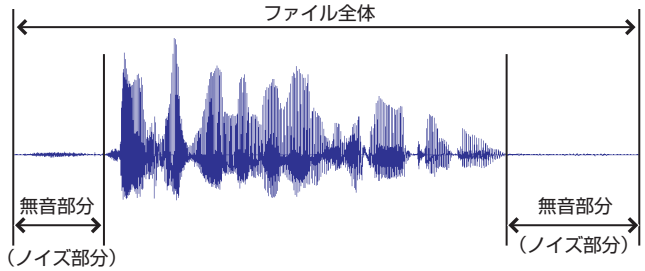
ご注意

- 編集中にメモリーカードを抜かないでください。本機の故障、ファイルが壊れる原因となります。

・録音したファイルの不要な無音部(アナウンスが始まるまでの部分、およびアナウンス終了後部分)を削除します。
・無音レベルのしきい値を設定して、アナウンス前後の無音部を自動で削除します。
無音と判断するしきい値はノイズなどの大きさに応じてレベルを設定してください。
レベル 10:判断するしきい値が最も大きい。
レベル 1　:判断するしきい値が最も小さい。

メモ

- 削除される部分は、ファイルの先頭部分と末尾部分だけです。アナウンスの途中に無音部分があっても削除はしません。



ファイルの先頭部分と末尾部分の無音部を削除し、アナウンス部分だけにします。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 録音ファイルメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. ロクオンファイルメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
3.ロクオンファイルメニュー
3-1.オンシツセッテイ
```

<録音ファイルメニュー画面>

3. 編集ファイル選択画面を表示する

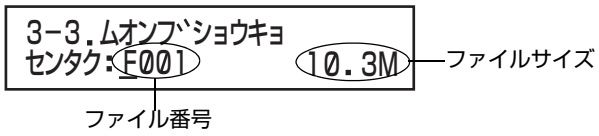
録音ファイルメニュー画面から、『3-3. ムオンブショウキョ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
3-3.ムオンﾌﾞショウキョ
センタク:F001          10.3M
```

<編集ファイル選択画面>

4. 編集するファイルを選択する

【選択】上、下ボタンで編集したいファイルを選択し、【決定/実行】ボタンを押します。



ファイル　　:録音されている音声データ。
ファイルサイズ:選択したファイルのファイルサイズを表示します。単位は、「B(バイト)」です。

メモ

- ファイルが無い場合は、『* ロクオンファイルナシ』と表示され、編集ファイル選択画面(手順 ***3.***)に戻ります。

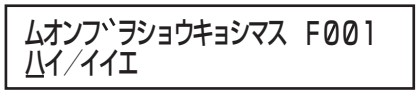
5. 無音部消去レベルを選択する

【選択】上、下ボタンで 1(小)～ 10(大)のどれかに設定し、【決定/実行】ボタンを押します。
(工場出荷時:『05』)

＜無音部消去レベル選択画面＞

6. 無音部を削除する

- 実行選択画面で『ハイ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。
- 『イイエ』を選択または【戻る/停止】ボタンを押すと、消去レベル選択画面(手順 ***5.***)に戻ります。
- 無音部削除処理中に【戻る/停止】ボタンを押すと、処理を中止します。
- 処理を中止し、【決定/実行】ボタンを押すと、無音部消去メニュー画面に戻ります。



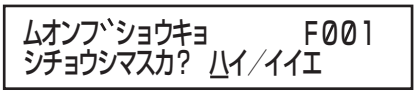
＜実行選択画面＞

メモ

- 無音部削除データを作成中にメモリーカードの容量不足で作成できなかった場合は、『* アキヨウリョウガタリマセン』と表示されます。
- 編集するファイルの録音方式によっては、ファイル時間と同程度の時間がかかります。
- 無音部分のノイズ(暗騒音)が大きいと削除されない場合があります。静かな環境で再度録音を行なってください。

7. 試聴をする

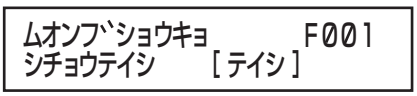
- 試聴選択画面で『ハイ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。再生が開始されます。
- 試聴選択画面で『イイエ』を選択すると、試聴をせずに保存確認画面(手順 ***9.***)が表示されます。



＜試聴選択画面＞

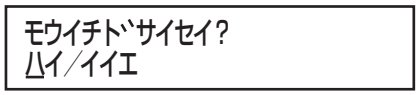
8. 試聴を停止する

再生中に【戻る/停止】ボタンを押すと、再生を停止します。
再生を停止すると、保存確認画面が表示されます。



メモ

- 試聴中のファイルを最後まで再生すると、再試聴確認画面が表示されます。

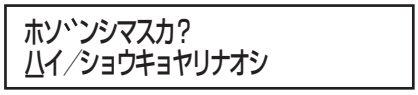


＜再試聴確認画面＞

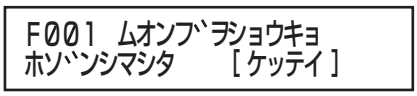
『ハイ』を選択　:もう一試聴します。
『イイエ』を選択:試聴を終了し、保存確認画面を表示します。

9. 保存をする

- 保存確認画面で『ハイ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押と、保存されます。
- 保存確認画面で『ショウキョヤリナオシ』を選択すると、無音部消去レベル選択画面(手順 ***5.***)に戻ります。
- 保存終了画面で【決定/実行】ボタンを押すと、録音ファイルメニュー画面に戻ります。

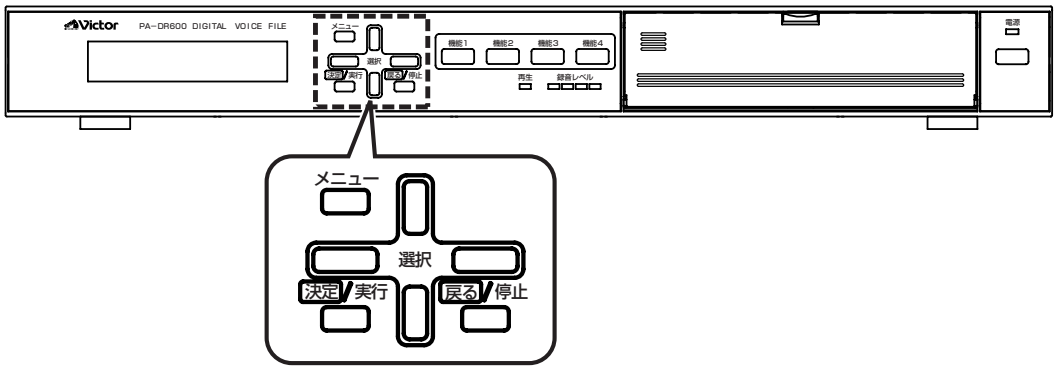


＜保存確認画面＞



＜保存終了画面＞

ファイルを編集する(つづき)

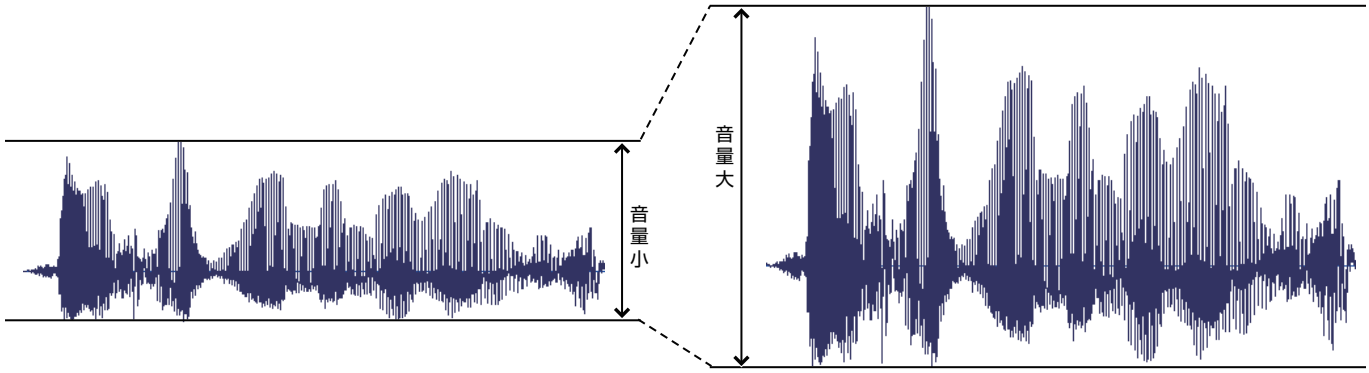


用語について

ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

音量のバラツキを補正する(ゲイン補正)

録音したファイルの音量が大きい、または小さい場合に音量を調整します。
補正レベルは、− 10 dB ～ +10 dB です。



<音量が小さいファイルを補正して、音量を大きくする場合>

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 録音ファイルメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. ロクオンファイルメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
3.ロクオンファイルメニュー
3−1.オンシツセッテイ
```

<録音ファイルメニュー画面>

3. 補正ファイル選択画面を表示する

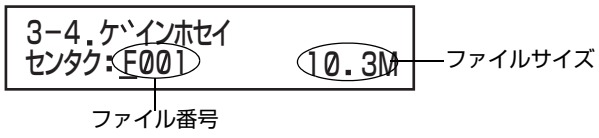
録音ファイルメニュー画面から、『3-4. ゲインホセイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
3−4.ｹﾞｲﾝﾎｾｲ
ｾﾝﾀｸ:F001          10.3M
```

<補正ファイル選択画面>

4. 補正するファイルを選択する

【選択】上、下ボタンで補正するファイルを選択し、【決定/実行】ボタンを押します。



＜補正ファイル選択画面＞

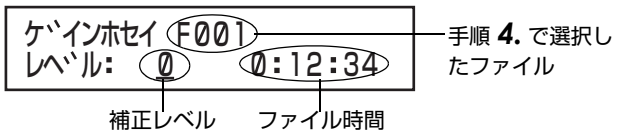
ファイル　　:補正するファイルを表示。
ファイルサイズ:選択したファイルのファイルサイズを表示します。単位は、「B（バイト）」です。

メモ

- ファイルが無い場合は、『* ロクオンファイルナシ』と表示され、補正ファイル選択画面（手順 ***3.***）に戻ります。

5. 補正レベルを選択する

【選択】上、下ボタンで補正レベル（－ 10 ～ 10）を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。
（工場出荷時:『0』）

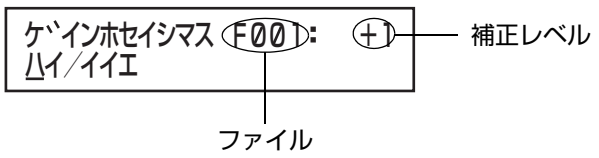


ご注意

- 補正レベルを大きくしすぎると、音が歪むことがあります。試聴（手順 ***7.***）で確認して、歪まないレベルに設定してください。

6. 補正をする

- 【選択】上、下ボタンで『ハイ』を選択し、【決定/　実行】ボタンを押します。
- 『イイエ』を選択または【戻る/　停止】ボタンを押すと、補正レベル選択に戻ります。
- 補正中に【戻る/停止】ボタンを押すと、補正を中止します。
- 補正を中止し、【決定/　実行】ボタンを押すと、録音ファイルメニュー画面に戻ります。



＜補正実行選択画面＞

メモ

- 補正データを作成中にメモリーカードの容量不足で作成できなかった場合は、『* アキヨウリョウガタリマセン』と表示されます。
- 補正するファイルの録音方式によっては、ファイル時間の約 2 倍の時間がかかります。

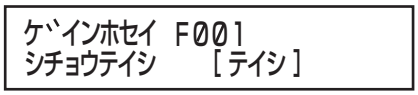
7. 試聴をする

- 試聴選択画面で『ハイ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。
- 試聴選択画面で『イイエ』を選択すると、試聴をせずに保存確認画面が表示されます。

＜試聴選択画面＞

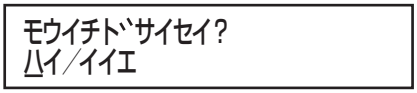
8. 試聴を停止する

- 試聴中に【戻る/停止】ボタンを押し、再生を停止します。
- 試聴をを停止すると、保存確認画面（手順 ***9.***）が表示されます。



メモ

- 試聴中のファイルを最後まで再生すると、再試聴確認画面が表示されます。



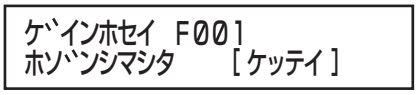
＜再試聴確認画面＞

『ハイ』を選択　:もう一度、試聴します。
『イイエ』を選択:試聴を終了し、保存確認画面を表示します。

9. 保存をする

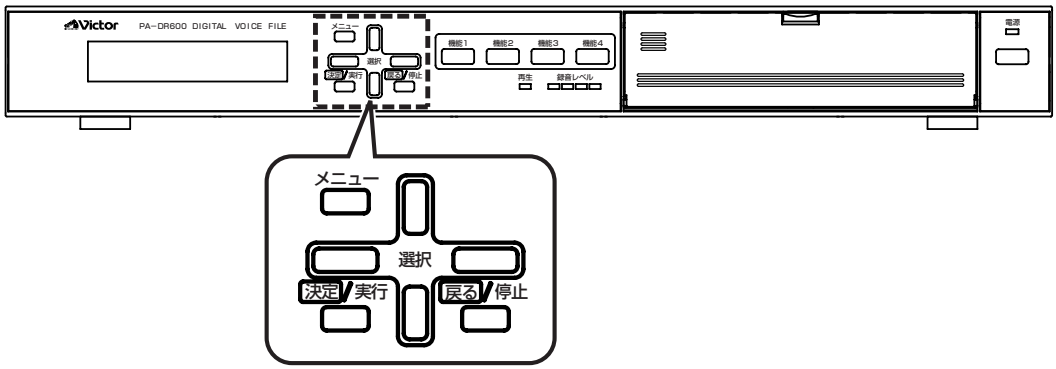
- 保存確認画面で『ハイ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。
- 保存確認画面で『ホセイヤリナオシ』を選択すると、補正レベル選択画面（手順 ***5.***）に戻ります。
- 保存終了画面で【決定/実行】ボタンを押と、録音ファイルメニュー画面に戻ります。

＜保存確認画面＞



＜保存終了画面＞

ファイルを編集する(つづき)



用語について

ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

ファイル形式を変更する(フォーマット変換)

・録音時に選択した音質のフォーマットから別の音質のフォーマットに変換します。
・出力モードを「2元出力」または「1元4出力」に設定して使用する場合に、ステレオで録音したファイルをモノラル変換したり、音質を統一するときにフォーマット変換を行います。

フォーマット変換表

変換元＼変換先		ハイースタンダード	ハイーロング	スタンダード		ロング	
		モノラル	モノラル	モノラル	ステレオ	モノラル	ステレオ
ハイースタンダード	モノラル	ー	○	○	×	○	×
ハイーロング	モノラル	×	ー	○	×	○	×
スタンダード	モノラル	×	×	ー	×	○	×
	ステレオ	×	×	○	ー	○	○
ロング	モノラル	×	×	×	×	ー	×
	ステレオ	×	×	×	×	○	ー

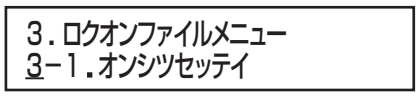
○印:変換可能

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 録音ファイルメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. ロクオンファイルメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。



<録音ファイルメニュー画面>

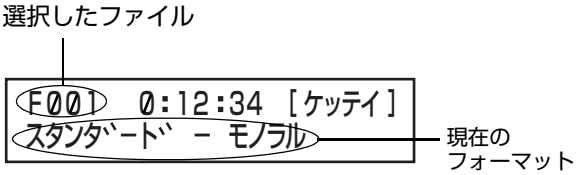
3. 変換ファイル選択画面を表示する

録音ファイルメニュー画面から、『3-5. フォーマットヘンカン』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

<変換ファイル選択画面>

4. 変換するファイルを選択する

【選択】上、下ボタンで変換するファイルを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。



<変換ファイル詳細画面>

5. 変換先のフォーマットを選択する

・【選択】上、下ボタンで変換先のフォーマットを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・選択できる変換先のフォーマットは前ページのフォーマット変換表をご覧ください。

```
F001 フォーマットヘンカン
スタンダｰドﾞ － モノラル
```

＜フォーマット選択画面＞

6. 変換をする

・音質変換確認画面で『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・音質変換確認画面で『イイエ』を選択または【戻る/ 停止】ボタンを押すと、フォーマット選択画面(手順 **5.**)に戻ります。
・変換実行中に【戻る/ 停止】ボタンを押すと、変換を中断します。
・変換を中断して【決定/ 実行】ボタンを押すと、変換せずに録音ファイルメニュー画面に戻ります。

```
F001 フォーマットヘンカン
ヘンカンシマス ハイ/イイエ
```

＜音質変換確認画面＞

```
ヘンカンチュウ        [チュウダﾝ]
CFヲヌカナイデﾞクダﾞサイ
```

＜音質変換実行中画面＞

メモ

- 変換データ作成中に、メモリーカードの容量不足で変換できなかった場合は、『* アキヨウリョウガタリマセン』とエラー表示されます。
- 変換するファイルの録音方式によっては、ファイル時間の約 4 倍の時間がかかる場合があります。

7. 試聴をする

・試聴選択画面で『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・試聴選択画面で『イイエ』を選択すると、試聴をせずに保存確認画面が表示されます。

```
F001 フォーマットヘンカン
シチョウシマスカ? ハイ/イイエ
```

＜試聴選択画面＞

8. 試聴を停止する

試聴中に【戻る/ 停止】ボタンを押します。
試聴を停止すると、保存確認画面(手順 **9.**)が表示されます。

メモ

- 試聴中のファイルを最後まで再生すると、再試聴確認画面が表示されます。

```
モウイチドﾞサイセイ?
ハイ/イイエ
```

＜再試聴確認画面＞

『ハイ』を選択　:もう一度、試聴します。
『イイエ』を選択:試聴を終了し、保存確認画面を表示します。

9. 保存をする

・保存確認画面で『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・保存確認画面で『ヘンカンヤリナオシ』を選択すると、項目選択画面(手順 **5.**)に戻ります。
・保存終了画面で【決定/ 実行】ボタンを押すと、録音ファイルメニュー画面に戻ります。

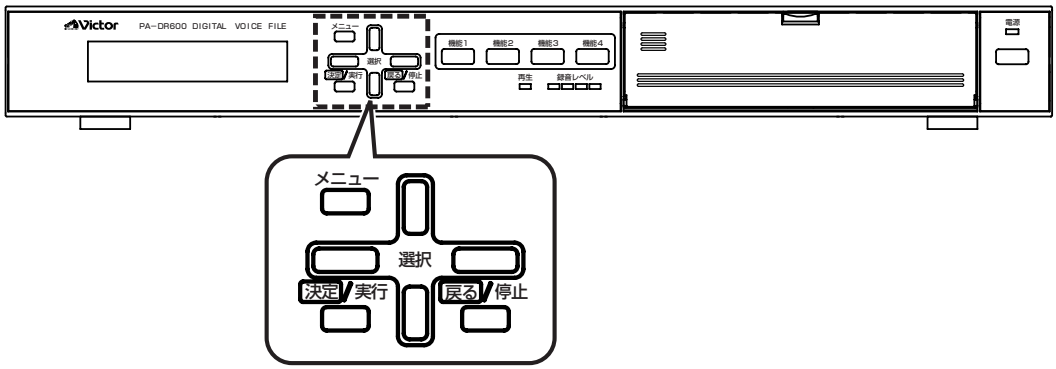
```
ホゾﾝシマスカ?
ハイ/ヘンカンヤリナオシ
```

＜保存確認画面＞

```
F001 フォーマットヘンカン
ホゾﾝシマシタ      [ケッテイ]
```

＜保存終了画面＞

ファイルを編集する(つづき)



用語について

ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

ファイルをコピーする

・録音したファイルをコピーします。
・ファイル形式を変換する前に、オリジナルのファイルをバックアップしておきたい場合などに行います。
・作成できるファイルは最大 999 個です。

メモ

- 下記の場合は、ファイルをコピーすることができません。
  ・ すでにファイルが 999 個作成されている。
  ・ ファイルがひとつも作成されていない。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 録音ファイルメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. ロクオンファイルメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
3.ﾛｸｵﾝﾌｧｲﾙﾒﾆｭｰ
3-1.ｵﾝｼﾂｾｯﾃｲ
```

<録音ファイルメニュー画面>

3. コピー元ファイル選択画面を表示する

録音ファイルメニュー画面から、『3-6. ファイルコピー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
3-6.ﾌｧｲﾙｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰﾓﾄ:F001      10.3M
```

<コピー元ファイル選択画面>

4. コピー元のファイルを選択する

【選択】上、下ボタンでコピーするファイルを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

5. コピー先のファイルを選択し、コピーをする

・コピー先選択画面でコピー先の空きファイルを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・コピーが終了すると、『コピーシマシタ』と、約１０秒表示してから録音ファイルメニュー画面に戻ります。

```
3-6.ﾌｧｲﾙｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰｻｷ:F002
```

<コピー先選択画面>

メモ

- 選択したコピー先のファイル番号が録音済みの場合、『* ファイルシヨウズミ』とエラー表示されます。先にファイルを消去してからコピーを実行してください。
- メモリーカードの容量不足でコピーを作成できなかった場合は、『* アキヨウリョウガタリマセン』とエラー表示されます。

ファイルを消去する

不要になったファイルを削除します。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照）
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 録音ファイルメニュー画面を表示する

メインメニューから『3. ロクオンファイルメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
3.ロクオンファイルメニュー
3-1.オンシツセッテイ
```

＜録音ファイルメニュー画面＞

3. 消去ファイル選択画面を表示する

録音ファイルメニュー画面から、『3-7. ファイルショウキョ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
3-7.ファイルショウキョ
センタク:F001        10.3M
```

＜消去ファイル選択画面＞

4. 消去するファイルを選択する

【選択】上、下ボタンで消去するファイルを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
3-7.ファイルショウキョ
センタク:F001        10.3M
```

消去するファイル

5. ファイルを消去する

・消去確認画面で『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・消去確認画面で『イイエ』を選択または【戻る/ 停止】ボタンを押すと、消去ファイル選択画面（手順 ***3.***）に戻ります。
・ファイルが消去されると、『ショウキョシマシタ』と、約１０秒表示してから消去ファイル選択画面（手順**2.**）に戻ります。

```
3-7.ファイルショウキョ F001
ショウキョシマスカ? ハイ/イイエ
```

＜消去確認画面＞

メモ

- ファイルを消去する場合、不要なプレイリストも消去してください。プレイリストが 999 個作成されていると、ファイル番号に空きがあっても録音ができません。
（☞ 67 ページ「プレイリストを消去する」参照）

プレイリストによるさまざまな再生方法例

・録音したファイルをプレイリストにメッセージとして登録することで、複数のファイルを組み合わせて放送することができます。
・プレイリスト作成および制御入力(起動番号)の各種設定によりさまざまな放送ができます。

用語について

ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

■複数のメッセージを組み合わせて、ひとつのメッセージとして再生する

1回の起動で、複数のメッセージで構成したプレイリストを続けて再生します。

設定例

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	連続再生	「2-7. 制御入力」	45
ブランク時間	メッセージ01:0秒 メッセージ02:3秒	「2-2. プレイリスト作成」	61

プレイリスト再生例

メッセージ番号	メッセージ内容	
001	本日は定時退社日です。	← 起動入力
	ブランク時間：0秒	
002	午後の業務を見直し、定時で帰れるよう…	
	ブランク時間：3秒	
003	やむをえず残業する人は、申請用紙を…	すべてのメッセージを続けて再生

■複数のメッセージを、時間の間隔を空けて繰り返して再生する

1回の起動で、複数のメッセージを任意の時間を空けて、繰り返して再生します。

設定例

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	連続再生	「2-7. 制御入力」	45
再生回数	2回		
再生インターバル	15分		
ブランク時間	メッセージ01:5分 メッセージ02:10分	「2-2. プレイリスト作成」	61

プレイリスト再生例

メッセージ番号	メッセージ内容	
001	本日は8階特設会場にて・・・	← 起動入力
	ブランク時間：5分	
002	地下1階食品売り場では・・・	
	ブランク時間：10分	
003	本日のタイムサービスは・・・	
	再生インターバル：15分	
	2回繰り返す	

■再生する順番が決まっているメッセージを、起動が入るごとに放送する

起動が入るごとに、プレイリスト内のメッセージを 1 つづつ順番に再生します。

設定例

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	単独再生	「2-7. 制御入力」	45

プレイリスト再生例

メッセージ番号	メッセージ内容	
001	始業時間です。朝礼の…	← 起動入力
002	10時になりました。10分間の休憩…	← 起動入力
003	12時です。お昼休み…	← 起動入力 ※
004	3時です。おやつの時間です…	← 起動入力
005	本日の業務ご苦労様でした。	← 起動入力

※ 起動が入るごとにメッセージを1つずつ再生

プレイリストを設定する

・プレイリストに対して、各設定を行います。
・プレイリストは最大 999 個作成できます。

設定項目	選択肢	工場出荷時設定	設定メニュー
プレイリスト名	カタカナ、アルファベットなど	P001 ～ P999	『2-1. プレイリストメイ』
ファイル番号	F001 ～ F999	−	『2-2. プレイリストサクセイ』
ファイル音量	0 ～ 10	8	
ブランク時間	0秒～99分　0.5 秒毎に設定	00:00.0	
再生音量	0 ～ 9	9	『2-3. サイセイオンリョウ』

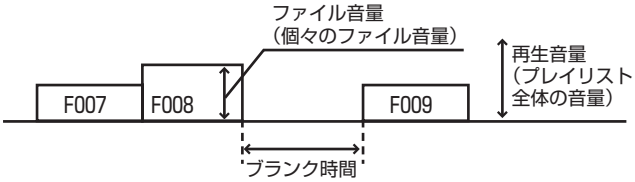
プレイリスト名 :本機に録音したときに自動的に作成されると、「P001 ～ P999」のように連番で名前がつけられています。
下記の文字から最大 8 文字で名前を変更できます。
・カタカナ
・アルファベット　小文字、大文字
・数字
・記号(^、#、$、%、&、(、)、¯、_、{ 、 }、 !)
・空欄

ファイル番号 :再生したいファイル番号を順番に登録します。
ひとつのプレイリストに最大 100 ファイル登録できます。
チャイム音など、共通で使用するファイルは複数のプレイリストに登録することができます。

ブランク時間 :ファイル再生時、次のファイル再生開始までのブランク時間(間隔)を設定します。
メッセージを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてメッセージを順次再生することができます。
※プレイリストを繰り返し再生するときの再生間隔を設定するときは、起動番号設定の「再生インターバル」で設定します。
(☞ 45 ページ)

ファイル音量 :各ファイルの音量ばらつきを調整する場合や、意図的に一部のファイル音量を変えたいときなどに設定します。

再生音量 :プレイリスト全体の音量を設定します。



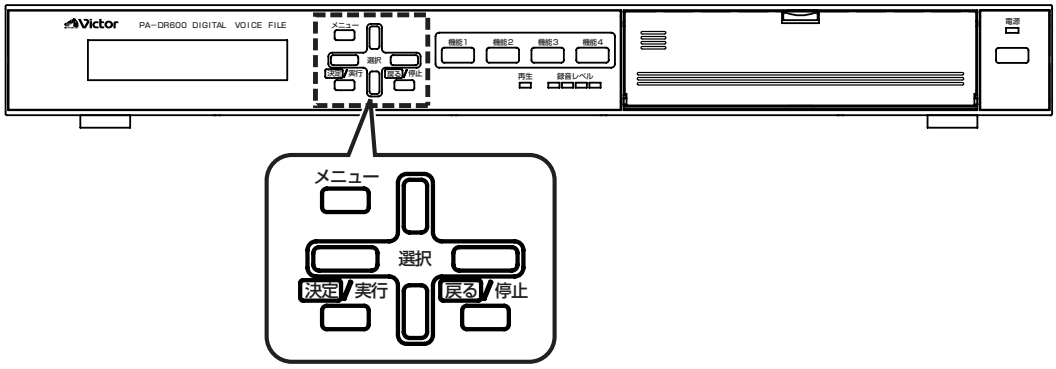
・プレイリストの設定を行う前に、下記の記入例を参考にプレイリスト設定シートを作成してください。
プレイリスト設定シートはコピーしてお使いください。(☞ 97 ページ)

プレイリスト設定シート記入例

プレイリスト番号	001			
プレイリスト名	ラッキーサービスデー			
メッセージ番号	ファイル番号	音量	ブランク時間	メッセージ内容
001	F007	7	00:00. 0	いらっしゃいませ。
002	F008	6	00:00. 5	ご来店いただきまして・・・
003	F009	7	(※)	本日はラッキーサービスデーで・・・・・

※ プレイリストの最終メッセージに設定した「ブランク時間」は無効となります。

プレイリストを設定する（つづき）



用語について

ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

プレイリスト名を変更する

・プレイリスト名は最大８文字まで入力可能です。
・工場出荷時のプレイリスト名は”P+ 3桁の数字”(例:『P001』)で設定されています。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『2. プログラムメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
2-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
```

<プログラムメニュー画面>

3. プレイリスト選択画面を表示する

プログラムメニュー画面から、『2-1. プレイリストメイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
ｾﾝﾀｸ001>P001
```

<プレイリスト選択画面>

4. 名前をつけたいプレイリストを選択する

【選択】上、下ボタンで、名前をつけたいプレイリスト番号を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
ｾﾝﾀｸ001>P001
```

プレイリスト名
プレイリスト番号
<プレイリスト選択画面>

5. 選択したプレイリストの名前を変更する

・文字選択部から任意の文字を選択して入力します。
・【選択】上、下ボタンでカーソルを「文字選択部」⇔「OK」⇔「ケス」⇔「プレイリスト名表示部」の順に移動できます。

プレイリスト名表示部

```
[P001      ] OK / ｹｽ
←[ｱｲｳｴｵｶ<ｷ>ｸｹｺｻｼｽ]→
```

文字選択部

プレイリスト名表示部 :文字選択部から選択した任意の文字をカーソル(_)のある位置に表示します。【選択】左、右ボタンでカーソルの位置を移動します。

『OK』 :入力が終了したら、『OK』を選択して【決定/ 実行】ボタンを押すと、プレイリスト名表示部の内容を確定します。

『ケス』 :『ケス』を選択して【決定/ 実行】ボタンを押すと、プレイリスト名表示部のカーソルのある位置の文字が削除されます。

文字選択部 :文字を選択するときは、【選択】上、下ボタンでカーソルを文字選択部に移動し、【選択】左、右ボタンで文字を選択します。画面中央の<>カーソル内にある文字が現在選択されている文字です。
【決定/ 実行】ボタンを押すと、プレイリスト名表示部のカーソルのある位置に入力されます。

6. プレイリスト名を確定する

・入力が終了したら、『ＯＫ』を選択して【決定/ 実行】ボタンを押します。
・【決定/ 実行】ボタンを押さずに、【戻る/ 停止】ボタンを押すと、プレイリスト名を確定せずにプレイリスト選択画面に戻ります。
・入力したプレイリスト名が確定すると、自動的にプレイリスト選択画面に戻ります。

メッセージを追加する

・メッセージを追加し、プレイリストの設定を行います。
・1つのプレイリストには最大 100 個のメッセージが登録できます。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『2. プログラムメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

<プログラムメニュー画面>

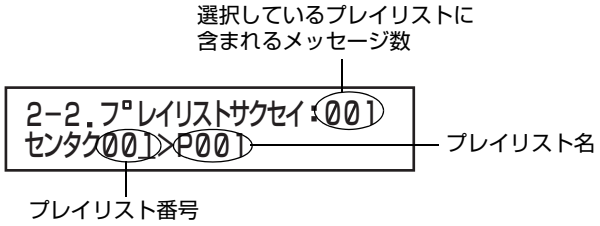
3. プレイリスト選択画面を表示する

プログラムメニュー画面から、『2-2. プレイリストサクセイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

<プレイリスト選択画面>

4. 設定するプレイリストを選択する

【選択】上、下ボタンで作成するプレイリスト番号を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。



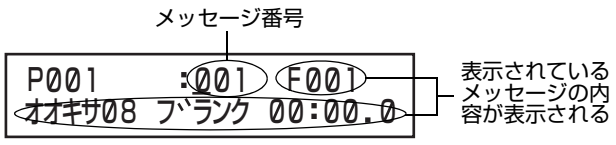
<プレイリスト選択画面>

メモ

- 選択したプレイリストに1つもメッセージが登録されていない場合は、約10秒『シンキツイカシマス』と表示され、自動的にメッセージ設定画面(手順 ***7.***)が表示されます。

5. 追加したいメッセージの前または後ろのメッセージ番号を選択する

メッセージ番号を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。



<メッセージ選択画面>

6. メッセージ項目を選択する

『ツイカ』または『ソウニュウ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

<メッセージ項目選択画面>

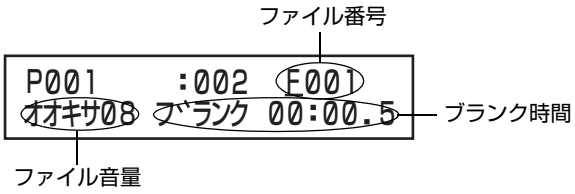
『ツイカ』　:手順 ***5.*** で選択したメッセージの後ろに新規メッセージが登録されます。
『ソウニュウ』:手順 ***5.*** で選択したメッセージの前に新規メッセージが登録されます。

メモ

- メッセージがすでに 100 個あるときは、メッセージを新規登録できません。『* メッセージスウガサイダイデス』と、約10秒表示され、メッセージ項目選択画面(手順 ***6.***)に戻ります。

7. メッセージを設定する

・【選択】左、右ボタンで設定項目を選択し、【選択】上、下ボタンで値を設定します。
・設定の終了後、【決定/ 実行】ボタンを押し、設定内容を確定します。



<メッセージ設定画面(例:手順 ***6.*** で『ツイカ』を選択した場合)>

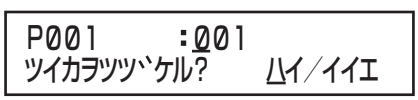
ファイル番号　:再生するファイルを選択します。
※チャイム音など、共通で使用するファイルを複数のプレイリストに登録することができます。

ファイル音量　:プレイリストに登録した各ファイルの音量のばらつきを調整する場合や、意図的に一部のファイル音量を変更したいときなどに設定します。
※プレイリスト全体の音量を調整するときは、「2-3. 再生音量」で設定します。
(工場出荷時:『8』)

ブランク時間
(分 / 秒 / コンマ5秒)　:ファイル再生時、次のファイル再生開始までのブランク(間隔)時間を設定します。0秒から 99 分まで 0.5 秒毎に設定できます。メッセージを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてメッセージを順次再生することができます。
(工場出荷時:『00:00. 0』)

メモ

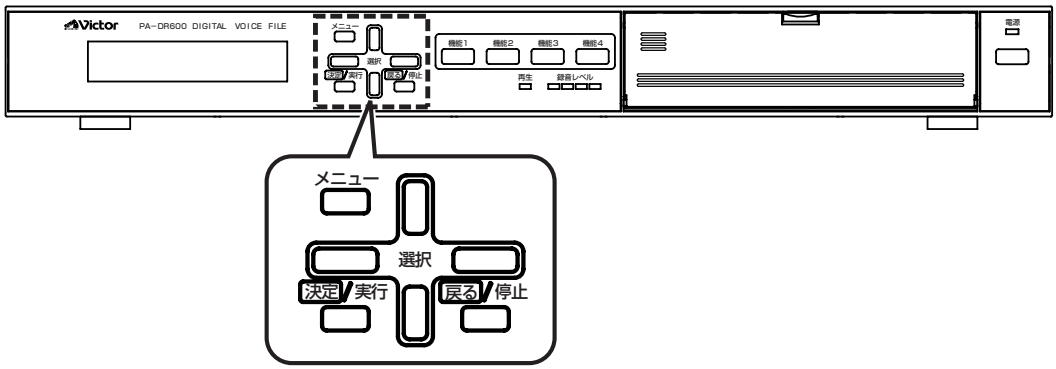
- 設定内容を確定すると、継続登録確認画面が表示されます。『ハイ』または『イイエ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押してください。



<継続登録選択画面(例:手順 ***6.*** で『ツイカ』を選択した場合)>

『ハイ』　:メッセージを続けて登録します。メッセージ設定画面(手順 ***7.***)に戻ります。
『イイエ』:メッセージ登録を終了します。メッセージ選択画面(手順 ***5.***)に戻ります。

プレイリストを設定する（つづき）



用語について

ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

メッセージを修正する

選択したメッセージの設定内容を修正します。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『2. プログラムメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
2-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
```

<プログラムメニュー画面>

3. プレイリスト選択画面を表示する

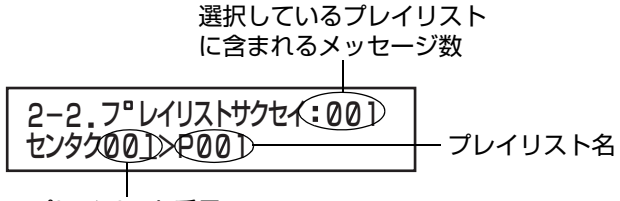
プログラムメニュー画面から、『2-2. プレイリストサクセイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2-2.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ:001
ｾﾝﾀｸ001>P001
```

<プレイリスト選択画面>

4. 修正したいメッセージが登録されているプレイリストを選択する

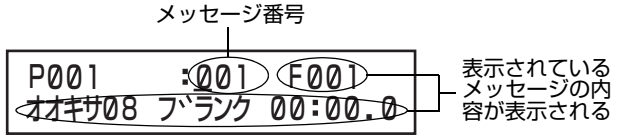
【選択】上、下ボタンで修正するプレイリスト番号を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。



<プレイリスト選択画面>

5. 修正するメッセージ番号を選択する

メッセージ番号を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。



<メッセージ選択画面>

6. メッセージ項目を選択する

・『テイセイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

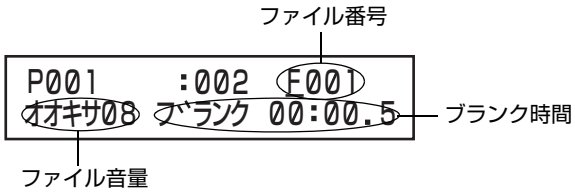
```
P001　:001
ﾂｲｶ/ｿｳﾆｭｳ/ﾃｲｾｲ/ｻｸｼﾞｮ
```

<メッセージ項目選択画面>

7. メッセージを修正する

・【選択】左、右ボタンで修正する項目を選択し、【選択】上、下ボタンで値を設定します。

・修正終了後、【決定/　実行】ボタンを押し、修正内容を確定します。



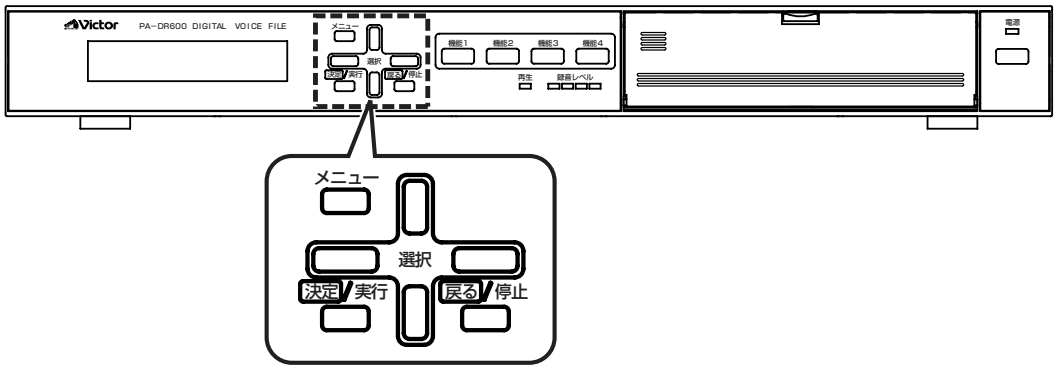
＜メッセージ設定画面（例：手順 **6.** で『テイセイ』を選択した場合）＞

ファイル番号　：再生するファイルを選択します。
※チャイム音など、共通で使用するファイルを複数のプレイリストに登録することができます。

ファイル音量　：プレイリストに登録した各ファイルの音量のばらつきを調整する場合や、意図的に一部のファイル音量を変更したいときなどに設定します。
※プレイリスト全体の音量を調整するときは、「2-3. 再生音量」で設定します。
（工場出荷時：『8』）

ブランク時間（分 / 秒 / コンマ 5 秒）　：ファイル再生時、次のファイル再生開始までのブランク（間隔）時間を設定します。0 秒から 99 分まで 0.5 秒毎に設定できます。メッセージを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてメッセージを順次再生することができます。
（工場出荷時：『00：00. 0』）

プレイリストを設定する（つづき）



用語について

ファイル　　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

メッセージを削除する

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『2. プログラムメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
2-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
```

<プログラムメニュー画面>

3. プレイリスト選択画面を表示する

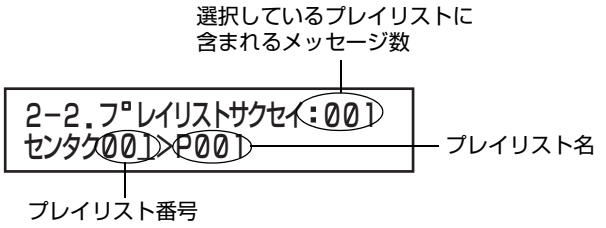
プログラムメニュー画面から、『2-2. プレイリストサクセイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2-2.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ:001
ｾﾝﾀｸ001>P001
```

<プレイリスト選択画面>

4. 削除したいメッセージが登録されているプレイリストを選択する

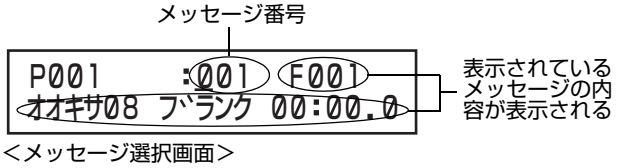
【選択】上、下ボタンで修正するプレイリスト番号を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。



<プレイリスト選択画面>

5. 削除するメッセージ番号を選択する

メッセージ番号を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。



<メッセージ選択画面>

6. メッセージ項目を選択する

・『サクジョ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
P001　:001
ﾂｲｶ/ｿｳﾆｭｳ/ﾃｲｾｲ/ｻｸｼﾞｮ
```

<メッセージ項目選択画面>

7. メッセージを削除する

・『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・メッセージが削除されると、メッセージ選択画面(手順 ***5.***)に戻ります。
・削除を中止する場合は、『イイエ』を選択または【戻る/　停止】ボタンを押します。削除を中止すると、メッセージ項目選択画面(手順 **6.**)に戻ります。

```
P001      :001 <ｻｸｼﾞｮ>
ﾊｲ/ｲｲｴ
```

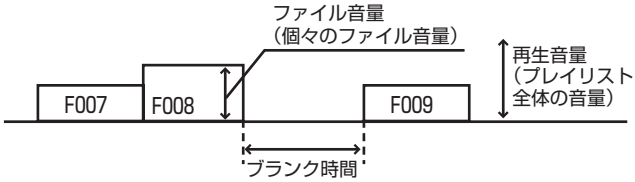
<メッセージ削除確認画面>

メモ

- 選択したメッセージを削除し、プレイリスト選択画面に戻ると、削除したメッセージの次のメッセージの番号が繰り上がって表示されます。

再生音量レベルを設定する

プレイリスト全体の音量を設定します。



1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『2. プログラムメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
2-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
```

<プログラムメニュー画面>

3. プレイリスト選択画面を表示する

・プログラムメニュー画面から、『2-3. サイセイオンリョウ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・メッセージが登録されていないプレイリストは表示されません。

```
2-3.ｻｲｾｲｵﾝﾘｮｳ
ｾﾝﾀｸ001>P001      :9
```

現在の出力レベル

<プレイリスト選択画面>

4. 出力レベルを設定する

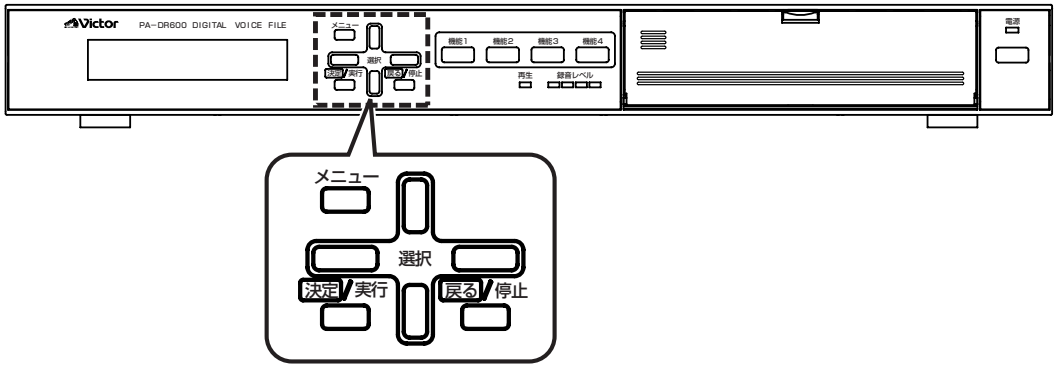
・【選択】上、下ボタンで0～9の範囲で選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・【決定/ 実行】ボタンを押し、出力レベルを確定すると、プレイリスト選択画面(手順 ***3.***)に戻ります。
・【戻る/ 停止】ボタンを押すと、出力レベルを変更せずにプレイリスト選択画面(手順 ***3.***)に戻ります。

```
ｻｲｾｲｵﾝﾘｮｳ P001
ｵｵｷｻ:07
```

<出力レベル設定画面>

『オオキサ』:プレイリストの再生音量を設定します。
0(最小音量)～9(最大音量)の範囲で設定します。
(工場出荷時:『9』)

プレイリストを設定する（つづき）



用語について

ファイル　　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

プレイリストをコピーする

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照）
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『2. プログラムメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
2-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
```

<プログラムメニュー画面>

3. コピー元プレイリスト選択画面を表示する

・プログラムメニュー画面から、『2-4. プレイリストコピー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2-4.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰﾓﾄ 001>P001
```

プレイリスト名

プレイリスト番号

<コピー元プレイリスト選択画面>

メモ

- 下記の状態の場合は、コピーすることができません。
  - ・すでに 999 個のプレイリストが作成されている場合。ＬＣＤ 画面に約 10 秒間『* アキプレイリストナシ』と表示し、プログラムメニュー画面に戻ります。
  - ・プレイリスト名が表示されないプレイリストは未設定のためコピーできません。ＬＣＤ 画面に約 10 秒間『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』と表示し、コピー元プレイリスト選択画面に戻ります。

4. コピー元のプレイリストを選択してコピーする

・【選択】上、下ボタンでコピーするプレイリストを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押すと、コピー実行します。
・【戻る/ 停止】ボタンを押すと、プログラムメニュー画面に戻ります。
・一番小さい空きプレイリスト番号に自動的にコピーされます。
・コピーが終了すると、LCD　画面に約１０秒間『コピーシマシタ』と表示し、プログラムメニュー画面に戻ります。

```
ｺﾋﾟｰｼﾏｼﾀ
ｺﾋﾟｰｻｷ 002>P001
```

プレイリストを消去する

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照）
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『2. プログラムメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
2-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
```

＜プログラムメニュー画面＞

3. プレイリスト選択画面を表示する

・プログラムメニュー画面から、『2-5. プレイリストショウキョ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2-5.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｼｮｳｷｮ
ｾﾝﾀｸ 001>P001
```

＜プレイリスト選択画面＞

4. 消去するプレイリストを選択する

【選択】上、下ボタンで消去するプレイリストを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

5. 消去をする

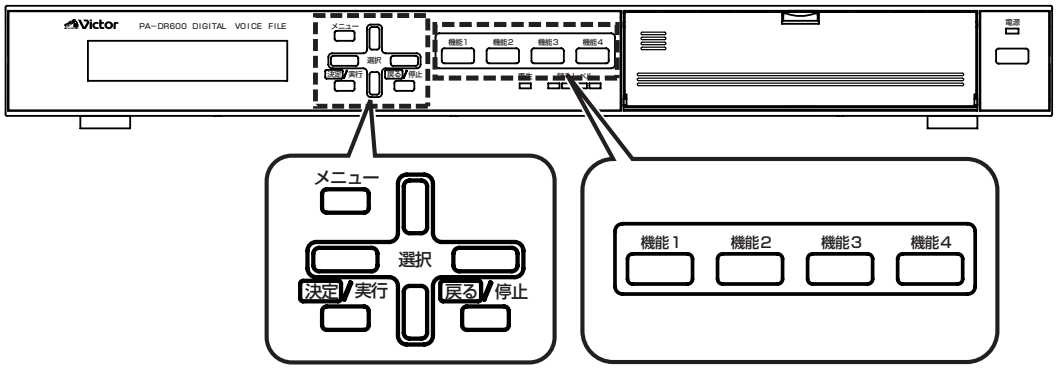
・『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または【戻る/ 停止】ボタンを押すと、消去せずにプレイリスト選択画面（手順 **2.**）に戻ります。
・プレイリストを消去すると、LCD 画面に約 10 秒『ショウキョシマシタ』と表示し、プレイリスト選択画面に戻ります。

```
2-5.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｼｮｳｷｮ
ｼｮｳｷｮｼﾏｽｶ? ﾊｲ/ｲｲｴ
```

＜消去確認画面＞

【機能】ボタンにプレイリストを設定する

【機能】ボタンに、再生するプレイリストを設定します。



用語について

ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『2. プログラムメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
2-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
```

<プログラムメニュー画面>

3. 制御入力選択画面を表示する

・プログラムメニュー画面から、『2-6. キノウキー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2-6.ｷﾉｳｷｰ
ｾﾝﾀｸ:F1 ﾅｼ
```

<【機能】ボタン選択画面>

4. 設定する【機能】ボタンを選択する

・【選択】上、下ボタンで設定する【機能】ボタンを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2-6.ｷﾉｳｷｰ
ｾﾝﾀｸ(F1) ﾅｼ
```

【機能】ボタン

<【機能】ボタン選択画面>

5. 動作を割り当てる

・【選択】左、右ボタンで選択し、【決定/　実行】ボタンを押します。
・『プレイリスト』を選択した場合のみ、手順 **6.** に進みます。
・『ナシ』を選択し、【決定/　実行】ボタンを押すと、【機能】ボタン選択画面に戻ります。

```
2-6.ｷﾉｳｷｰF1
ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ/ﾅｼ
```

<動作選択画面>

『プレイリスト』:【機能】ボタンを押すと、プレイリストを再生します。
『ナシ』　:【機能】ボタンを押しても動作しません。

*6.*選択した【機能】ボタンで再生するプレイリストを選択する

・【選択】上、下ボタンでプレイリストを選択し、【決定/　実行】ボタンを押します。
・メッセージが入力されているプレイリストが表示されます。

選択している【機能】ボタン

```
2-6.ｷﾉｳｷｰF1:ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
ｾﾝﾀｸ 001>P001
```

プレイリスト名

プレイリスト番号

<プレイリスト選択画面>

メモ

- 設定されていないプレイリストを選択した場合、『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』とエラー表示されます。

7.【機能】ボタンの詳細設定をする

・プレイリスト再生に関する各設定を行います。
・【機能】ボタンの詳細設定は、再生モード設定から行います。

設定項目	選択項目（工場出荷時設定）	参照ページ
再生モード	連続 / 単独（連続）	69
再生回数	1回～99回、エンドレス（1回）	69
再生インターバル	分：0分～99分まで1分毎 秒：0秒～50秒まで10秒毎（0分0秒）	69
シャッフル	オン / オフ（オフ）	70
通常・緊急優先設定	通常 / 緊急（通常）	70
出力先設定	2元出力モード　:1元/2元（1元） 1元4出力モード: 出力1/ 出力2/ 出力3/ 出力4（出力1）	71

■再生モード設定

・【選択】左、右ボタンで、『レンゾク』または『タンドク』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・【決定/　実行】ボタンを押し、設定を確定すると、次の設定画面に進みます。

＜再生モード選択画面＞

『レンゾク』：【機能】ボタンを1回押すと、プレイリスト内のメッセージをすべて再生します。
（☞ 69 ページ「再生回数設定」へ進む）

『タンドク』：【機能】ボタンを1回押すごとに、プレイリスト内のメッセージを 1 つずつ順番に再生します。
（☞ 70 ページ「シャッフル設定」へ進む）

（工場出荷時：『レンゾク』）

連続再生の動作イメージ

プレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容
001	本日は定時退社日です。
002	午後の業務を見直し、定時で帰れるよう…
003	やむをえず残業する人は、申請用紙を…

【機能】ボタンを押す
すべてのメッセージを続けて再生

単独再生の動作イメージ

プレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容
001	始業時間です。朝礼の…
002	10時になりました。10分間の休憩…
003	12時です。お昼休み…
004	3時です。おやつの時間です…
005	本日の業務ご苦労様でした。

機能ボタンを押す（※）

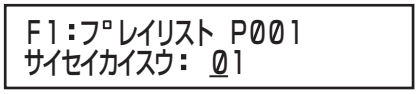
※【機能】ボタンを押すごとにメッセージを1つずつ再生

メモ

- 単独再生は、起動優先モードが「パルス方式」モードに設定されているときのみ対応します。

■再生回数設定

【選択】上、下ボタンで、再生回数（1回～ 99 回）または『エンドレス』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。



＜再生回数選択画面＞

再生回数　：プレイリスト内のメッセージすべてを繰り返して再生する回数を設定します。
1回～ 99 回まで設定できます。
（☞ 2回以上に設定した場合、69 ページ「再生インターバル時間設定」へ進む）
※再生回数を1回に設定した場合のみ、「シャッフル設定」へ進みます。（☞ 70 ページ）

『エンドレス』：プレイリスト内のメッセージすべてを限りなく再生します。
（☞ 69 ページ「再生インターバル時間設定」へ進む）

（工場出荷時：1回）

メモ

- 再生回数の設定は、再生モードが「連続再生」のときに対応します。「単独再生」のときは設定できません。
- 起動優先モードを「レベル方式」モードに設定している場合に、「再生インターバル時間」を設定するときは『エンドレス』を選択してください。

■再生インターバル時間設定

・プレイリストを繰り返し再生する場合の再生間隔を設定します。
・【選択】左、右ボタンで、分と秒を切り換えます。
・【選択】上、下ボタンで、分または秒の値を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、「シャッフル設定」へ進みます。
（☞ 70 ページ）

＜再生インターバル時間設定画面＞

分　：0分～ 99 分まで1分毎に設定できます。
秒　：0秒～ 50 秒まで 10 秒毎に設定できます。
（工場出荷時：0秒）

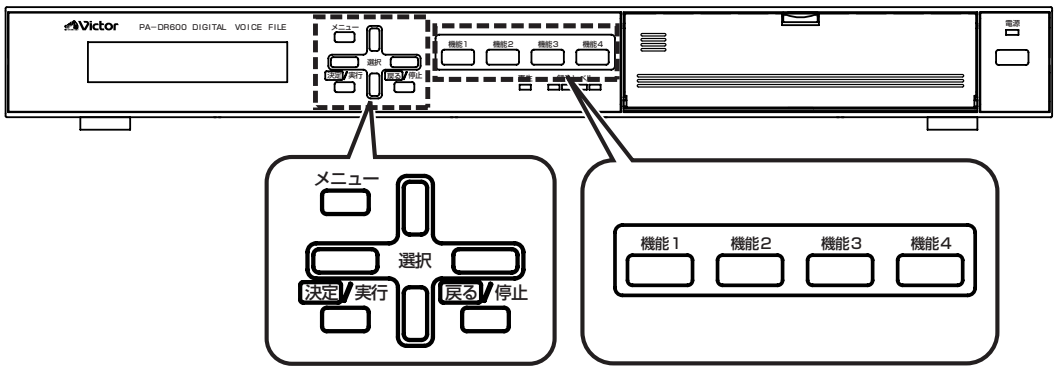
「再生回数」と「再生インターバル」設定時の動作イメージ

プレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容
001	本日は定時退社日です。
002	午後の業務を見直し、定時で帰れるよう…
003	やむをえず残業する人は、申請用紙を…

機能ボタンを押す
再生インターバル 0秒～99分
【機能】ボタンを押すと、「再生回数」で設定した回数を繰り返す。

【機能】ボタンにプレイリストを設定する(つづき)



用語について

ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

7.【機能】ボタンの詳細設定をする(つづき)

■シャッフル設定

・【選択】左、右ボタンで選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、「出力先設定」へ進みます。
(☞ 71 ページ)

```
F1:ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ P001
ｼｬｯﾌﾙ:ｵﾝ/ｵﾌ
```

<シャッフル設定画面>

『オン』　:プレイリストに登録されているメッセージを、メッセージ番号の順番に関係なく、ランダムに再生します。

『オフ』　:プレイリスト内のメッセージをメッセージ番号順に再生します。

(工場出荷時:『オフ』)

■通常・緊急優先設定

・【選択】左、右ボタンで『ツウジョウ』または『キンキュウ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・『キンキュウ』に設定すると、起動優先モードの設定に関係なく、最優先で再生します。
例えば、
・「後優先」設定のとき、「緊急」設定した【機能】ボタンのプレイリストを再生中に、後から別の起動が入っても無視されます。
・「先優先」設定のとき、「通常」設定した起動番号のプレイリストを再生中に、「緊急」設定された【機能】ボタンを押すと、再生中のプレイリストを中断し、緊急設定のプレイリストを再生します。
・「順次記憶」設定で起動番号記憶中のとき、「緊急」設定された【機能】ボタンを押すと、再生中のプレイリストを中断し、すぐに緊急設定のプレイリストを再生します。

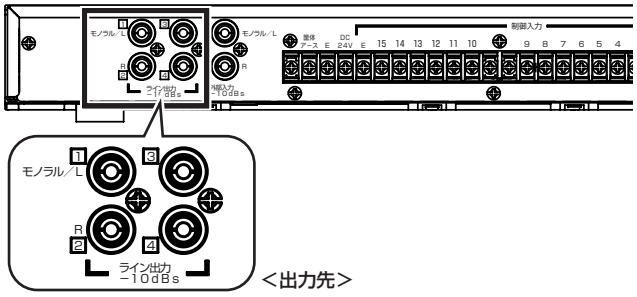
```
F1:ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ P001
ﾂｳｼﾞｮｳ/ｷﾝｷｭｳ
```

<通常・緊急優先先設定画面>
(工場出荷時:『ツウジョウ』)

メモ

- 【連動】出力端子を「緊急」に設定しておくと、「緊急」設定された起動番号のプレイリストを再生中に外部機器を制御することができます。
(☞ 73 ページ「連動出力設定をする」参照)

■出力先設定



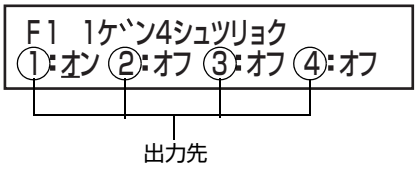
<出力先>

・出力モード設定(☞ 36 ページ)で、『1 ゲン4シュツリョク』または『2 ゲンシュツリョク』に設定した場合に、出力先を設定します。

2元出力モード	「1 元」または「2 元」いずれかを選択。
1 元 4 出力モード	「出力 1」、「出力 2」、「出力 3」、「出力 4」から任意の出力先を選択できます。

● 1 元 4 出力モードの場合

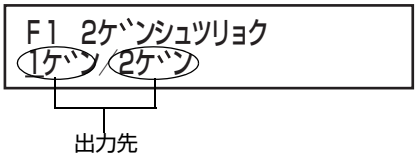
・【選択】左、右ボタンで出力先を選択し、【選択】上、下ボタンで『オン』または『オフ』を切り換えます。【決定/ 実行】ボタンを押すと、設定を確定します。
・『オン』に設定した出力先に音声を出力します。
・設定を確定すると、【機能】ボタン選択画面に戻ります。



< 1 元 4 出力モード 出力先設定画面>
(工場出荷時: 1『オン』、2 ～ 4『オフ』)

● 2 元出力モードの場合

・【選択】左、右ボタンで出力先を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、【機能】ボタン選択画面に戻ります。



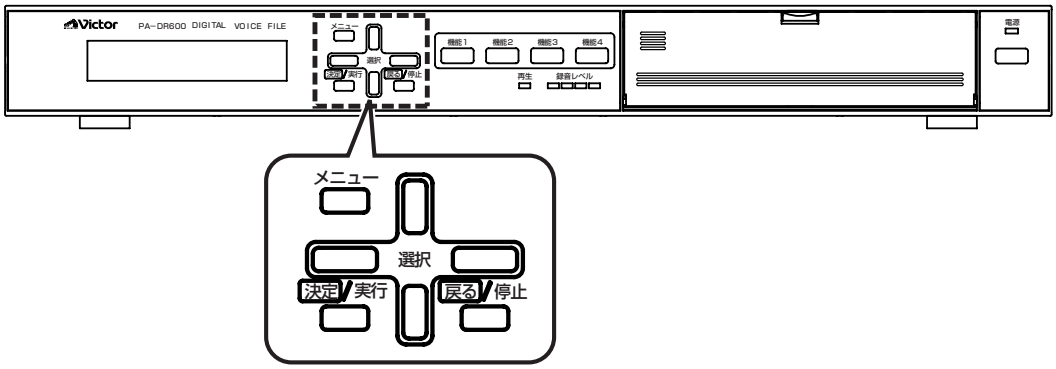
< 2 元出力モード 出力先設定画面>
(工場出荷時:『1 ゲン』)

メモ

- 『オン』に 1 つも設定されていない場合、『* シュツリョク ガセッテイサレテイマセン』とエラー表示されます。出力先を設定してください。
- 出力モード設定が「1 元出力モード」のときは、出力先設定はありません。ライン出力1、3端子は Ｌｃｈ、ライン出力2、4端子は Ｒｃｈ の音声が出力されます。

外部機器を制御する

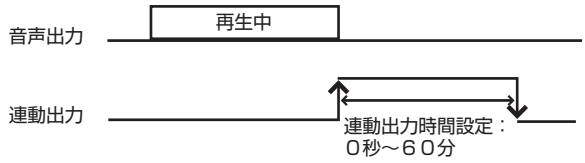
・本機背面の【連動】出力端子に接続した外部機器を制御することができます。
・接続する外部機器に合わせて設定を行なってください。



外部機器の制御例

■再生終了後に外部機器を制御する（「1-7 連動出力」設定で『レンドウ』に設定）

・プレイリスト再生終了のタイミングで外部機器へ出力（メーク接点）します。
・連動出力時間を０秒～６０分まで設定できます。接続する外部機器に応じて設定してください。

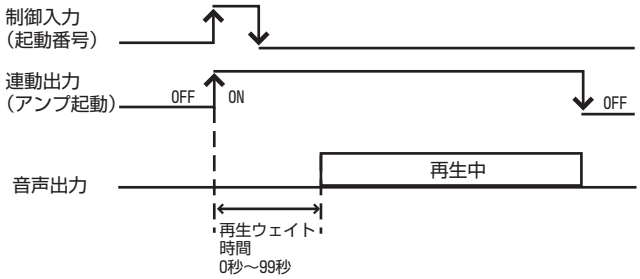


ご注意

- 出力モードを「2 元出力モード」に設定している場合は、【連動】出力端子から信号が出力されません。

■2 元出力用アンプの電源を制御する（「1-7 連動出力」設定で『アンプ』に設定）

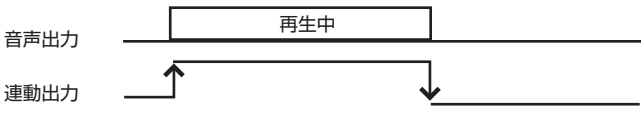
2元出力モードに設定したとき、2 元側の再生出力に連動して 2 元出力用のアンプの電源を制御します。



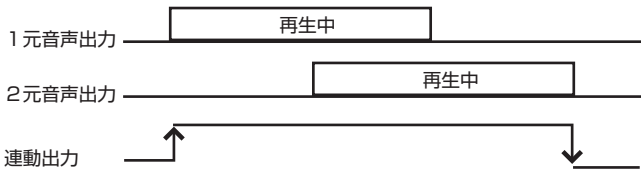
■緊急指定したプレイリストの再生時に外部機器を制御する（「1-7 連動出力」設定で『キンキュウ』に設定）

・「通常・緊急優先」設定を「緊急」に設定した起動番号が起動されると、外部機器を制御します。
・プレイリスト再生中は連続して出力（メーク接点）されます。

「１元出力」モードおよび「１元4出力」モードの場合



「２元出力」モードの場合



■録音 / 消去時のビジー出力として使用する（「1-7 連動出力」設定で『ビジー』に設定）

・録音、ファイルの消去時に、録音 / 消去の状態表示をすることができます。
・詳しくは、「離れた場所から録音の制御をする」(☞78ページ)をご覧ください。

連動出力設定をする

信号が入力されると、【連動】端子に接続した外部機器を起動します。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照）
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、
【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
1-1.LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
```

＜設定メニュー画面＞

3. 連動出力設定画面を表示する

設定メニューから『1-7. レンドウシュツリョク』を選択し、
【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1-7.ﾚﾝﾄﾞｳｼｭﾂﾘｮｸ
ﾚﾝﾄﾞｳ 00:00
```

＜連動出力設定画面＞

4. 連動出力設定をする

・【選択】上、下ボタンで選択し、【決定/　実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

『レンドウ』　:ファイル再生終了後に、【連動】端子に接続した外部機器を制御します。
連動時間を設定してください。

```
1-7.ﾚﾝﾄﾞｳｼｭﾂﾘｮｸ
ﾚﾝﾄﾞｳ 00:00
      分  秒
```

【選択】左、右ボタンで項目、分、秒を切り換えます。
【選択】上、下ボタンで値を切り換えます。
分;0 分から 60 分まで 1 分毎に設定可能。
秒;0 秒から 59 秒まで 1 秒毎に設定可能。
（工場出荷時:0 分 0 秒）

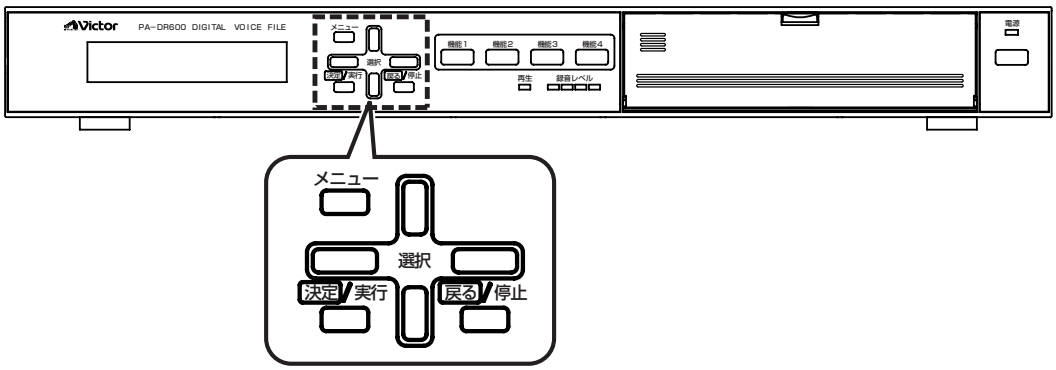
『アンプ』　:出力モード設定(☞　)で、『2 ゲンシュツリョク』に設定し、2ゲン側に接続したアンプ電源制御として使用します。

『キンキュウ』:緊急指定したプレイリスト再生時に、【連動】端子に接続した外部機器を制御します。

『ビジー』　:録音、ファイルの消去時に、録音 / 消去の状態表示をします。

（工場出荷時:『レンドウ』）

外部機器を制御する(つづき)



ブランク / インターバル期間のアンプ電源制御を設定をする

・制御入力の起動番号設定での「再生インターバル時間」設定(☞45 ページ)および、プレイリスト作成時の「ブランク時間」設定(☞61 ページ)で設定した、ファイルを再生していない間について、「アンプ電源制御」を出力する / しないを設定します。
・本機背面の制御出力の【アンプ電源】端子および【連動】端子が『アンプ』に設定されている場合に有効です。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。

```
1.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
1-1.LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
```

<設定メニュー画面>

3. ブランク / インターバル設定画面を表示する

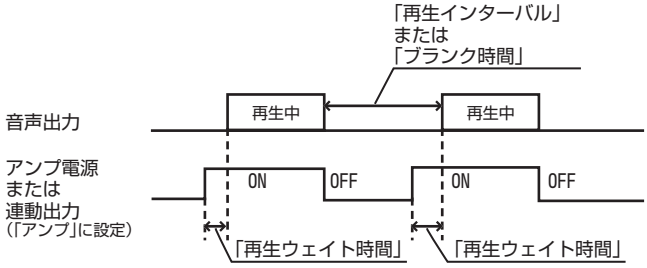
設定メニューから『1-8. ブランク / インターバル』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。

```
1-8.ﾌﾞﾗﾝｸ/ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ
ｵﾝ/ｵﾌ
```

<ブランク / インターバル設定画面>

4. ブランク / インターバル設定をする

・【選択】左、右ボタンで、『オン』または『オフ』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。
・『オフ』に設定すると、ブランク、インターバル時間が１００秒以上のときに設定が有効になります。
・設定を確定すると、自動的にブランク / インターバル設定画面に戻ります。
(工場出荷時:『オフ』)



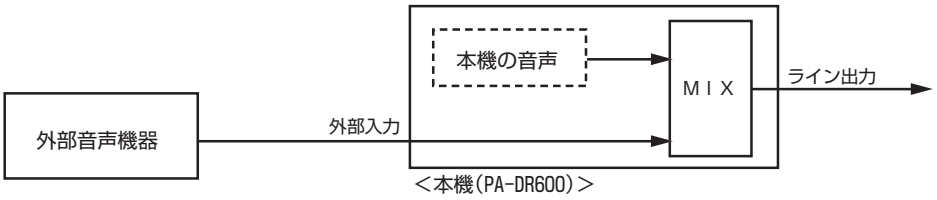
メモ

- 「再生インターバル」および「ブランク時間」が、１００秒以上に設定されているときに有効となります。
  １００秒未満のときは、ファイル再生していない間も連続で出力します。
- 「再生ウェイト時間」が設定されている場合は、ファイル再生開始より、設定した時間だけ早く出力されます。

外部音声機器からの音声をミキシング出力する

本機背面の【外部入力】端子から入力された音声を、本機の再生音声とミキシングして出力することができます。
また、優先順位、フェードイン / アウト時間など、用途に合わせて設定できます。

■ミキシング出力イメージ



＜本機(PA-DR600)＞

メモ

- 出力モード設定が「1 元出力モード」の場合のみ使用できます。「2 元出力モード」、「1 元 4 出力モード」に設定した場合は、外部入力の音声をライン出力から出力できません。

■ミキシング出力に関する設定

設定項目	選択肢	工場出荷時設定	設定メニュー	参照ページ
優先音源	本体 / 外部	本体	『1-9. ユウセンオンゲン』	75
外部入力レベル	0 ～ 9	9	『1-10. ガイブニュウリョクレベル』	75
フェードイン / アウト	0 ～ 10 秒	0 秒	『1-11. フェードイン / アウト』	77
ミキシングレベル	0 %～ 100 % (10 % 毎に設定)	40 %	『1-12. ミキシングレベル』	77

優先音源を設定する

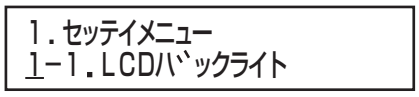
音声を優先して出力させる音源を設定します。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、
【決定 / 実行】ボタンを押します。



＜設定メニュー画面＞

3. 優先音源設定画面を表示する

設定メニューから『1-9. ユウセンオンゲン』を選択し、
【決定 / 実行】ボタンを押します。

＜優先音源設定画面＞

4. 優先音源の設定をする

・【選択】左、右ボタンで、『ホンタイ』または『ガイブ』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

『ホンタイ』:本機に設定したプレイリストを優先して再生します。
『ガイブ』 :【外部入力】端子に接続された音源を優先して再生します。

(工場出荷時:『ホンタイ』)

外部入力レベルを設定する

本機から出力する外部音声機器の音声レベルを設定します。

ご注意

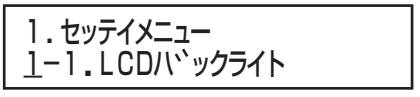
- 優先音源設定が「外部」の場合、音声レベル信号を検知してフェードイン/アウトの制御をしています。外部音声機器の音声出力レベルを定格レベル(− 10 dBs)に設定し、本機の「外部入力レベル」設定で音量を調節してください。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

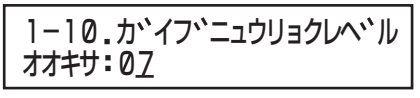
メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、
【決定 / 実行】ボタンを押します。



＜設定メニュー画面＞

3. 外部入力レベル設定画面を表示する

設定メニューから『1-10. ガイブニュウリョクレベル』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。

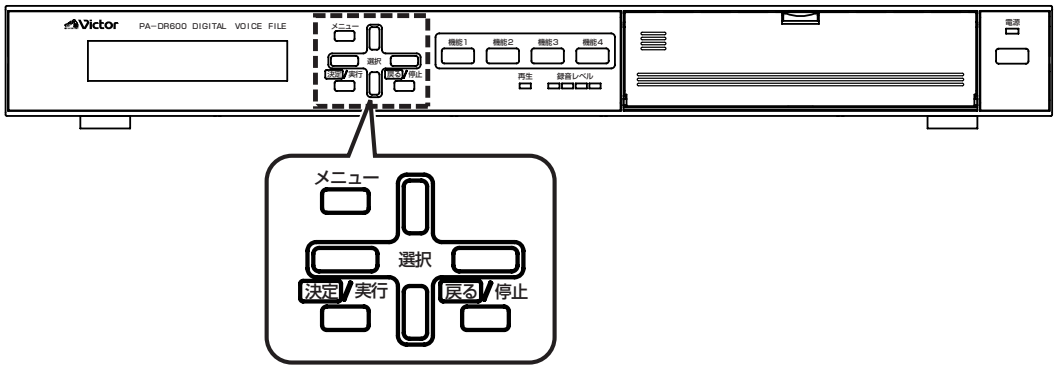


＜外部入力レベル設定画面＞

4. 外部入力レベルの設定をする

・【選択】上、下ボタンで、『0』(音量小)～『9』(音量大)の値から選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。
(工場出荷時:『9』)

外部音声機器からの音声をミキシング出力する（つづき）



用語について

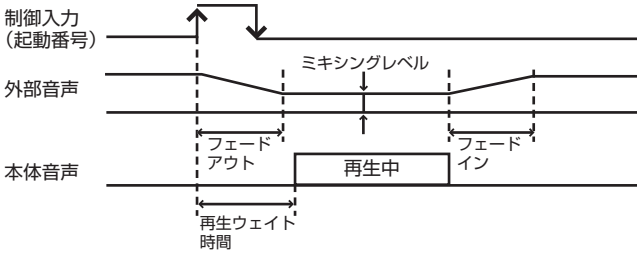
ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

ミキシングの設定をする

・ミキシングの設定は２つあります。下記の２つの設定をしてください。
　・フェードイン / アウト設定（☞ 77 ページ）
　・ミキシングレベル設定（☞ 77 ページ）
・本機のプレイリスト再生と外部音声機器の再生が重なったとき、「優先音源」の設定にしたがって、優先に設定していない音源の音声を「ミキシングレベル」で設定したレベルまでフェードアウトします。
・フェードアウトとフェードインの時間は同じです。
・ミキシングレベルの設定が「100%」のときは、そのままの音量で出力され、「0%」のときはミューティングとなります。

優先音源が「本体」(PA-DR600)の場合

外部音声機器を出力中に、本体のプレイリスト再生の起動が入った場合、外部音声をミキシングレベルまでフェードアウトし、本体の再生終了後に再び元のレベルまでフェードインします。

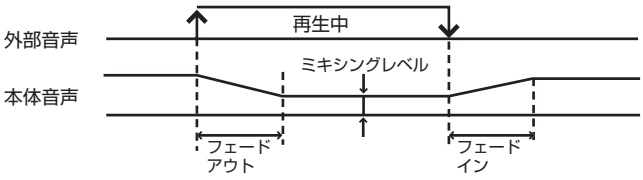


メモ

- 「フェードアウト時間」を「再生ウェイト時間」より短い時間に設定すると、音声が重ならないように放送できます。
- プレイリスト再生で、ブランク時間およびインターバル時間で設定した、ファイルを再生していない期間が11秒以上の場合、外部入力音声は元の音量に戻ります。

優先音源が「外部」の場合

本体音声を再生中に、外部入力の音声信号を検出すると、本体音声をミキシングレベルまでフェードアウトし、外部入力の音声信号が停止した後、再び元のレベルまでフェードインします。



メモ

- 外部入力の音声は、音声信号のレベルを検知して制御しています。音声が重ならないようにしたい場合は、「フェードイン/アウト」の時間を短く設定してください。
- 本体音声がフェードアウト→ミキシングレベル→フェードインしている期間、本機前面の【再生】表示灯が点滅表示します。

■フェードイン / アウト設定

・フェードイン / アウト時間を設定します。
・フェードインとフェードアウト時間は同じ時間になります。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、
【決定 / 実行】ボタンを押します。

```
1.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
1-1.LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
```

<設定メニュー画面>

3. フェードイン / アウト設定画面を表示する

設定メニューから『1-11. フェードイン / アウト』を選択し、
【決定 / 実行】ボタンを押します。

```
1-11.ﾌｪｰﾄﾞｲﾝ/ｱｳﾄ
ﾋﾞｮｳ:00
```

<フェードイン / アウト設定画面>

4. フェードイン / アウト時間の設定をする

・【選択】上、下ボタンで、0 秒～ 10 秒から選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

(工場出荷時:0 秒)

■ミキシングレベル設定

外部音声機器と本機の再生が重なったとき、優先度の低い方の音量を指定値まで下げます。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、
【決定 / 実行】ボタンを押します。

```
1.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
1-1.LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
```

<設定メニュー画面>

3. ミキシングレベル設定画面を表示する

設定メニューから『1-12. ミキシングレベル』を選択し、
【決定 / 実行】ボタンを押します。

```
1-12.ﾐｷｼﾝｸﾞﾚﾍﾞﾙ
 40%
```

<ミキシングレベル設定画面>

4. ミキシングレベル値を設定をする

・【選択】上、下ボタンで、100%(音量を下げない)～ 0%(無音にする)から選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

(工場出荷時:40%)

離れた場所から録音の制御をする

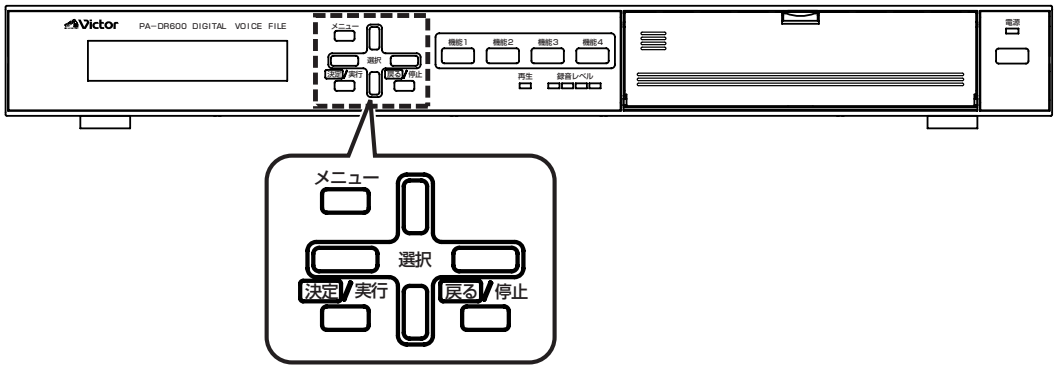
・本機背面の【制御入力】端子に制御機器(スイッチなど)を接続して制御することで、本機から離れた場所で録音 / 消去ができます。接続方法は、21 ページをご覧ください。

■録音制御に関する設定

設定項目	設定値	設定メニュー	参照ページ
制御入力モード	『ダイレクト』	『1-5. セイギョニュウリョクモード』	78
【制御入力】端子の機能設定	E011:『ショウキョ』 E012:『ロクオン』	『2-7. セイギョニュウリョク』	79
【連動】出力端子の設定	『ビジー』	『1-7. レンドウシュツリョク』	79

ご注意

- バイナリモードでの録音には対応していません。ダイレクトモードに設定してください。
- ファイルの消去が完了するまで録音を開始できません。本機の ＬＣＤ 画面表示を確認できないところでは、必ずビジー出力を使用して本機の状態を確認して操作してください。
- プレイリストに複数のファイルが登録されている場合でも、メッセージ番号001に設定されているファイルだけを消去/録音します。



用語について

ファイル　:録音した音声データ。
メッセージ　:再生するファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト:再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

【制御入力】端子の制御方式を設定する

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
1-1.LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
```

<設定メニュー画面>

3. 制御入力モード選択画面を表示する

・設定メニュー画面から、『1-5. セイギョニュウリョクモード』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1-5.ｾｲｷﾞｮﾆｭｳﾘｮｸﾓｰﾄﾞ
ﾀﾞｲﾚｸﾄ/ﾊﾞｲﾅﾘ
```

<制御入力モード選択画面>

4. 制御入力モードを『ダイレクト』設定にする

・【選択】上、下ボタンで、『ダイレクト』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

『ダイレクト』:【制御入力 1 ～ 15】の各端子に 1 つの動作を割り当てます。

【制御入力】端子に消去と録音の機能を設定する

信号が入力されると、ファイルの消去と録音を行うように設定します。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する

メインメニューから『2. プログラムメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
2-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
```

＜プログラムメニュー画面＞

3. 起動番号選択画面を表示する

・プログラムメニュー画面から、『2-7. セイギョニュウリョク』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
2-7.ｾｲｷﾞｮﾆｭｳﾘｮｸ
ｾﾝﾀｸ:E001 P001
```

＜起動番号選択画面＞

4.『E011』を選択する

・【選択】上、下ボタンで『E011』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・消去の動作は『E011』のみに設定可能です。

5. 消去動作を割り当てる

・【選択】左、右ボタンで『ショウキョ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、起動番号選択画面に戻ります。

```
ｷﾄﾞｳﾊﾞﾝｺﾞｳ  E011
ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ/ｼｮｳｷｮ/ﾅｼ
```

＜動作選択画面＞

6. 起動番号選択画面で『E012』を選択する

・【選択】上、下ボタンで『E012』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・録音の動作は『E012』のみに設定可能です。

7. 録音動作を割り当てる

・【選択】左、右ボタンで『ロクオン』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、制御入力選択画面に戻ります。

```
ｷﾄﾞｳﾊﾞﾝｺﾞｳ  E012
ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ/ﾛｸｵﾝ/ﾅｼ
```

＜動作選択画面＞

【連動】端子にビジー設定をする

録音またはファイルの消去が開始すると、【連動】端子に接続した被制御機器が起動します。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する

メインメニューから『1. セッテイメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
1-1.LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
```

＜設定メニュー画面＞

3. 連動出力設定画面を表示する

設定メニューから『1-7. レンドウシュツリョク』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
1-7.ﾚﾝﾄﾞｳｼｭﾂﾘｮｸ
ﾚﾝﾄﾞｳ 00:00
```

＜連動出力設定画面＞

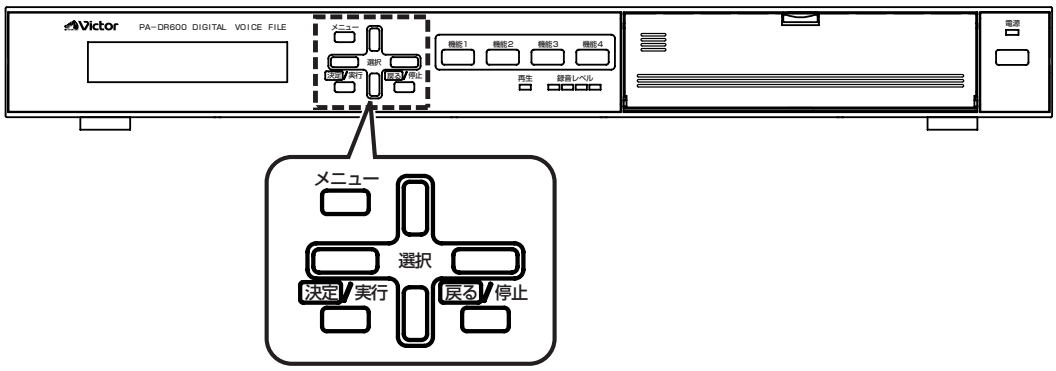
4.『ビジー』を選択する

・【選択】上、下ボタンで『ビジー』選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

```
1-7.ﾚﾝﾄﾞｳｼｭﾂﾘｮｸ
ﾋﾞｼﾞｰ
```

＜連動出力設定画面＞

離れた場所から録音の制御をする(つづき)



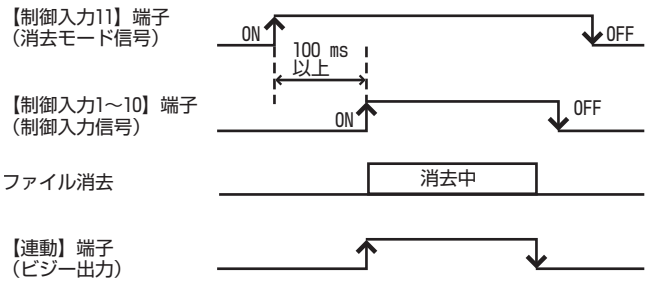
ファイルを消去する

すでに録音済みのファイルがある場合には、録音ができません。録音する前にファイルを消去します。

ご注意

- 消去を行う前に、【制御入力】端子に接続している外部機器(タイマーなど)の動作を停止してください。ファイルの消去中に、タイマーなどから入力があると、大切なファイルを消去してしまいます。

ファイル消去イメージ

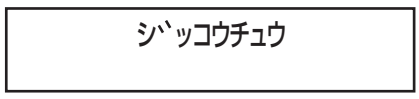


メモ

- 消去モード信号入力から制御入力信号を入力するまでの時間は 100 ms 以上空けてください。

1. 本機を実行中にする

・【決定/実行】ボタンを押します。
・システム動作を実行すると、実行中画面が表示されます。



<実行中画面>

2. 消去モードにする

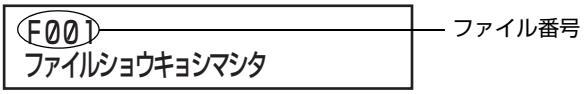
【制御入力 11】端子(「消去」機能設定)に接続しているスイッチをオンにします。

3. ファイルを消去する

・消去したいファイルを設定している【制御入力】端子(【制御入力 1 〜 10】端子)に接続されているスイッチをオンにします。
・「ビジー」に設定されている【連動】端子にランプが接続されている場合は、ランプが点灯します。

メモ

- ファイルを消去すると、本機のＬＣＤ画面に下記のように表示されます。



- 消去するファイルが存在しない場合や、対応するプレイリストが設定されていない場合は、ビジー出力はされません。
- プレイリストに複数のファイルが登録されている場合でも、メッセージ番号 001 に設定されているファイルだけを消去します。
- 消去中は、【制御入力】端子からの制御および【機能】ボタンは動作しません。

4. ファイルの消去を終了する

・消去が終わったら、手順 ***3.*** でオンにしたスイッチをオフにします。
・「ビジー」に設定されている【連動】端子にランプを接続している場合は、ファイルの消去が終了すると、ランプが消灯します。

5. 消去モードを終了する

【制御入力 11】端子(「消去」機能設定)に接続しているスイッチをオフにします。

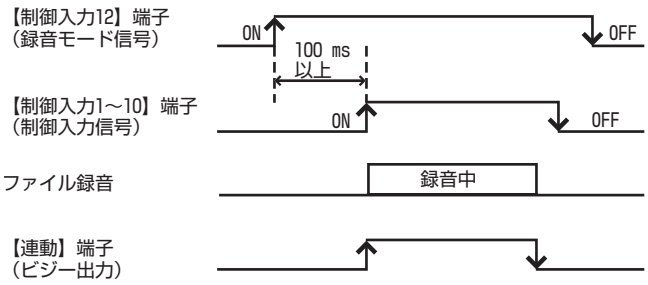
ファイルを録音をする

ファイルを消去したことを確認してから、録音をしてください。

ご注意

- 録音モードに入る前に、【制御入力】端子に接続している外部機器(タイマーなど)の動作を停止してください。録音中に、タイマーなどから入力があると、正常に録音ができません。

ファイル録音イメージ

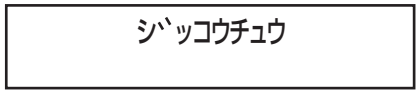


メモ

- 録音モード信号入力から制御入力信号を入力するまでの時間は 100 ms 以上空けてください。

1. 本機を実行中にする

・【決定/ 実行】ボタンを押します。
・システム動作を実行すると、実行中画面が表示されます。



<実行中画面>

2. 録音モードにする

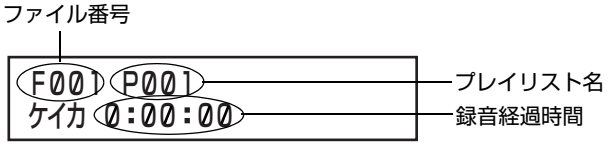
【制御入力 12】端子(「録音」機能設定)に接続しているスイッチをオンにします。

3. 録音をする

・録音したいファイルを設定している【制御入力】端子(【制御入力 1 〜 10】端子)に接続されているスイッチをオンにします。
・「ビジー」に設定されている【連動】端子にランプが接続されている場合は、ランプが点灯します。

メモ

- 録音中は、本機のＬＣＤ画面に下記のように表示されます。



- 録音済みファイルが存在している場合や、対応するプレイリストが設定されていない場合は、ビジー出力はされません。
- プレイリストに複数のファイルが登録されている場合でも、録音したファイルはメッセージ番号 001 に登録されます。
- 録音中は、【制御入力】端子からの制御および【機能】ボタンは動作しません。

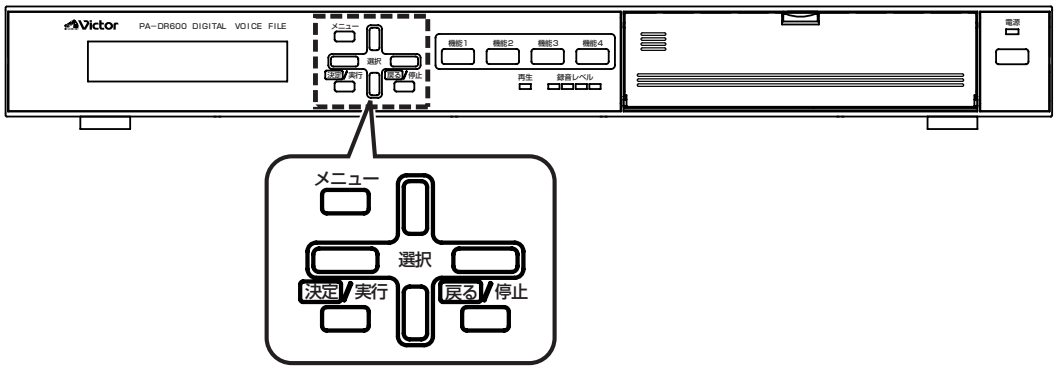
4. 録音を終了する

・録音が終わったら、手順 ***3.*** でオンにしたスイッチをオフにします。
・「ビジー」に設定されている【連動】端子にランプを接続している場合は、録音を終了すると、ランプが消灯します。

5. 録音モードを終了する

【制御入力 12】端子(「録音」機能設定)に接続しているスイッチをオフにします。

工場出荷時の設定に戻す



工場出荷状態に戻す
(メモリーカードを初期化する)

メモリーカードに保存したすべての設定内容と録音済みの音声ファイルを削除し、工場出荷時の状態に戻します。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから『6. メンテナンスメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
6.メンテナンスメニュー
6-1.CFテイシ
```

<メンテナンスメニュー画面>

3. メモリーカード初期化確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、『6-2.CF ショキカ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
6-2.CFショキカ
ショキカ&リスタート ハイ/イイエ
```

<メモリーカード初期化確認画面>

4. メモリーカードを初期化する。

・【選択】左、右ボタンで『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または【戻る/ 停止】ボタンを押すと、メモリーカードを初期化せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。
・メモリーカードの初期化が終わると、再起動します。

設定メニュー内の設定を初期化する

「1. セッテイメニュー」内の設定を工場出荷時状態に戻します。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから『6. メンテナンスメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
6.メンテナンスメニュー
6-1.CFテイシ
```

<メンテナンスメニュー画面>

3. 設定初期化確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、『6-3. セッテイショキカ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
6-3.セッテイショキカ
ショキカ&リスタート ハイ/イイエ
```

<設定初期化確認画面>

4. 設定を初期化する。

・【選択】左、右ボタンで『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または【戻る/ 停止】ボタンを押すと、設定を初期化せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。
・設定の初期化が終わると、再起動します。

すべてのプログラムを初期化する

「2. プログラムメニュー」内の設定を工場出荷時状態に戻し、プレイリストを初期化します。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照）
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから『6. メンテナンスメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
6.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
6-1.CFﾃｲｼ
```

＜メンテナンスメニュー画面＞

3. プログラム初期化確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、『6-4. プログラムショキカ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
6-4.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｮｷｶ
ｼｮｷｶ&ﾘｽﾀｰﾄ ﾊｲ/ｲｲｴ
```

＜プログラム初期化確認画面＞

4. プログラムを初期化する。

・【選択】左、右ボタンで『ハイ』を選択し、【決定/　実行】ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または【戻る/　停止】ボタンを押すと、プログラムを初期化せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。
・プログラムの初期化が終わると、再起動します。

すべてのファイルを消去する

メモリーカードに保存されている録音済みの音声ファイルをすべて消去します。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照）
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから『6. メンテナンスメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
6.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
6-1.CFﾃｲｼ
```

＜メンテナンスメニュー画面＞

3. ファイル消去確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、『6-5. ゼンファイルショウキョ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

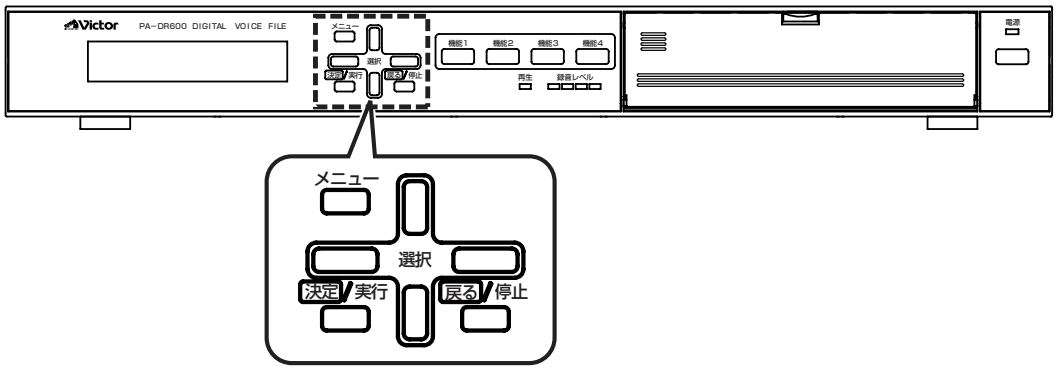
```
6-5.ｾﾞﾝﾌｧｲﾙｼｮｳｷｮ
ｼｮｳｷｮ          ﾊｲ/ｲｲｴ
```

＜ファイル消去確認画面＞

4. ファイルを消去する。

・【選択】左、右ボタンで『ハイ』を選択し、【決定/　実行】ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または【戻る/　停止】ボタンを押すと、ファイルを消去せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。
・ファイルの消去が終わると、自動的にメンテナンスメニュー画面に戻ります。

ログ管理について



動作ログを確認する

本機が行なった動作記録を確認することができます。

メモ

- 本機に記録できる動作ログは最大 100 件です。100 件を超える場合は、一番古い動作ログが消去されます。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから『6. メンテナンスメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
6.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
6-1.CFﾃｲｼ
```

<メンテナンスメニュー画面>

3. 動作ログ確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、『6-6. ドウサログ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
6-6.ﾄﾞｳｻﾛｸﾞ
001/100 001
```

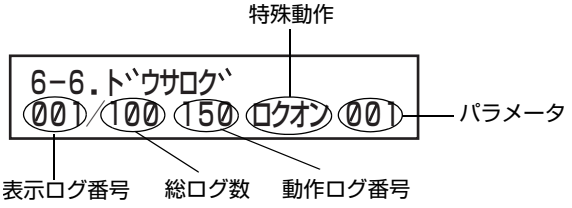
<動作ログ確認画面>

メモ

- ログが一つも記録されていない場合は、『ログハアリマセン』と表示されます。

4. 確認したいログを表示する。

・【選択】上、下ボタンでログをスクロールします。
・【戻る/ 停止】ボタンを押すと、メンテナンスメニュー画面に戻ります。



<動作ログ確認画面>

表示ログ番号 : 現在表示しているログ番号です。
001:最新ログ
↓
100:最古ログ

総ログ数 : 本機に登録されているログの総数です。
最大１００個まで登録されます。

動作ログ番号 : 実行した動作です。(☞ 85 ページ「動作ログパターン表」参照)

特殊動作 : 制御入力、録音、ファイル消去の動作のときに表示されます。
『キドウ』 :制御入力の場合
『ロクオン』 :録音の場合
『ショウキョ』:ファイル消去の場合

パラメータ : 特殊動作のときに表示します。
『キドウ』時 :起動番号を表示
『ロクオン』時 :ファイル番号を表示
『ショウキョ』時:ファイル番号を表示

動作ログを削除する

本機に記録されている動作ログをすべて削除します。

1. 動作ログ確認画面が表示されていることを確認する。

```
6-6.ﾄﾞｳｻﾛｸﾞ
001/100 001
```

＜動作ログ確認画面＞

2. ログ消去確認画面を表示する。

【機能 1】ボタン→【選択】右ボタン→【機能 2】ボタン→【選択】右ボタン→【機能 3】ボタン→【選択】右ボタン→【機能 4】ボタン→【選択】右ボタンの順番に押します。

3. ログを消去する

・『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

・『イイエ』を選択または【戻る/ 停止】ボタンを押すと、ログを消去せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。

```
ﾄﾞｳｻﾛｸﾞﾖ、ｼｮｳｷｮｼﾏｽｶ?
      ﾊｲ/ｲｲｴ
```

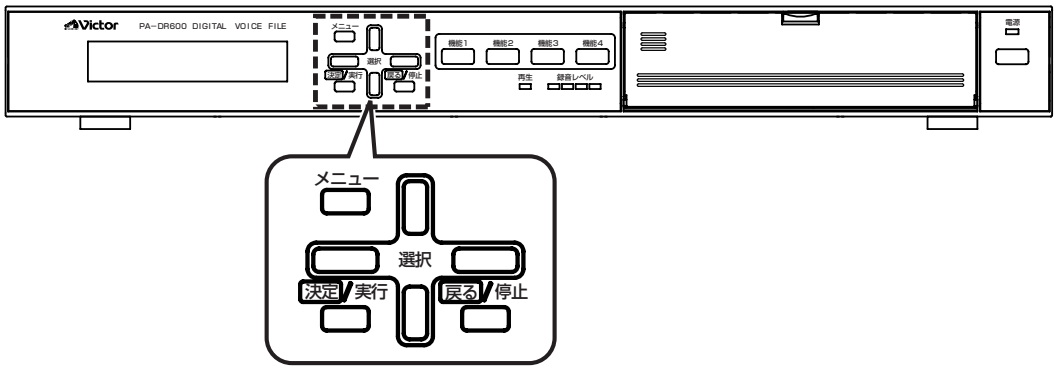
＜ログ消去確認画面＞

動作ログパターン表

動作ログ番号	特殊動作	パラメーター	動作内容
001			電源オン
002			システム動作を開始
003			システム動作を停止
017			機能ボタン 1 実行
018			機能ボタン 2 実行
019			機能ボタン 3 実行
020			機能ボタン 4 実行
033			機能ボタン 1 実行(PC より)
034			機能ボタン 2 実行(PC より)
035			機能ボタン 3 実行(PC より)
036			機能ボタン 4 実行(PC より)
051	キドウ	＊＊＊	制御入力実行
052	キドウ	＊＊＊	拡張モードの実行
081			PC 通信開始
082			PC 通信終了
097			ボタンロック設定
098			ボタンロック解除
114			メモリーカード取り出し
115			メモリーカード挿入
129			設定メニュー変更
150	ロクオン	＊＊＊	録音開始
151	ショウキョ	＊＊＊	録音ファイル消去

※ パラメーター欄の”＊＊＊”部分は、ファイル番号が表示されます。

ログ管理について(つづき)



エラーログを確認する

本機の動作中に発生したエラーを確認することができます。

ご注意

- 本機に記録できるエラーログは最大 100 件です。100 件を超える場合は、一番古いエラーログが消去されます。

1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照)
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから『6. メンテナンスメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
6.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
6-1.CFﾃｲｼ
```

<メンテナンスメニュー画面>

3. エラーログ確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、『6-7. エラーログ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
6-7.ｴﾗｰﾛｸﾞ
001/100 E001
```

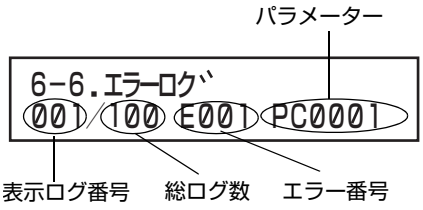
<エラーログ確認画面>

メモ

- ログが一つも記録されていない場合は、『ログハアリマセン』と表示されます。

4. 確認したいログを表示する。

・【選択】上、下ボタンでログをスクロールします。
・【戻る/ 停止】ボタンを押すと、メンテナンスメニュー画面に戻ります。



<エラーログ確認画面>

表示ログ番号 : 現在表示しているログ番号です。
001:最新ログ
↓
100:最古ログ

総ログ数 : 本機に登録されているログの総数です。
最大１００個まで登録されます。

エラー番号 : 発生したエラーです。(☞ 87 ページ「エラーログパターン表」参照)

パラメーター : 発生したエラーの詳細です。
『ＰＣ』 :PC エラー時に表示
『サイセイ』 :再生エラー時に表示
『ロクオン』 :録音失敗時に表示
『ショウキョ』:消去失敗時に表示
(☞ 87 ページ「エラーログパターン表」参照)

エラーログを削除する

本機に記録されているエラーログをすべて削除します。

1. エラーログ確認画面が表示されていることを確認する。

```
6-7.ｴﾗｰﾛｸﾞ
001/100 E001
```

＜エラーログ確認画面＞

2. ログ消去確認画面を表示する。

【機能 1】ボタン→【選択】右ボタン→【機能 2】ボタン→【選択】右ボタン→【機能 3】ボタン→【選択】右ボタン→【機能 4】ボタン→【選択】右ボタンの順番に押します。

3. ログを消去する

・『ハイ』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。

・『イイエ』を選択または【戻る/ 停止】ボタンを押すと、ログを消去せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。

```
ｴﾗｰﾛｸﾞヲ、ｼｮｳｷｮｼﾏｽｶ?
      ﾊｲ/ｲｲｴ
```

＜ログ消去確認画面＞

エラーログパターン表

エラー番号	パラメーター	エラー内容	対応
E001		ハードエラー	①
E002			
E003			
E004		本機の動作中にメモリーカードを抜いた	②
E005	F0	設定データの読み込みエラー	③
	F1		
	F2		
E006	F0	設定データの書き込みエラー	③
	F1		
	F2		
E033		起動時に、メモリーカードが本機に挿入されていない	②
E036	PC0048	PC 通信時エラー	④
	PC4192		
	PC0001		
	PC0003		
	PC4097		
	PC4098		
	PC4099		
	PC5000	拡張モード、通信エラー	
	PC5001		
	PC5002		
E037	サイセイ＊＊＊	ファイル再生エラー	②
E038	サイセイ＊＊＊		
E039	サイセイ＊＊＊		
E040	サイセイ＊＊＊		
E041	サイセイ＊＊＊		
E050	ロクオン＊＊＊	録音エラー	③
E051	ショウキョ＊＊＊	消去エラー	③

※ パラメーター欄に記載されているものは、LCD 画面に表示される内容です。記載がないものは、LCD 画面には何も表示されません。

※ パラメーター欄の”＊＊＊”部分は、ファイル番号が表示されます。

※「対応」に記載されている番号の詳細は下記のとおりです。

① ： 販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

② ： メモリーカードを正しく挿入してください。

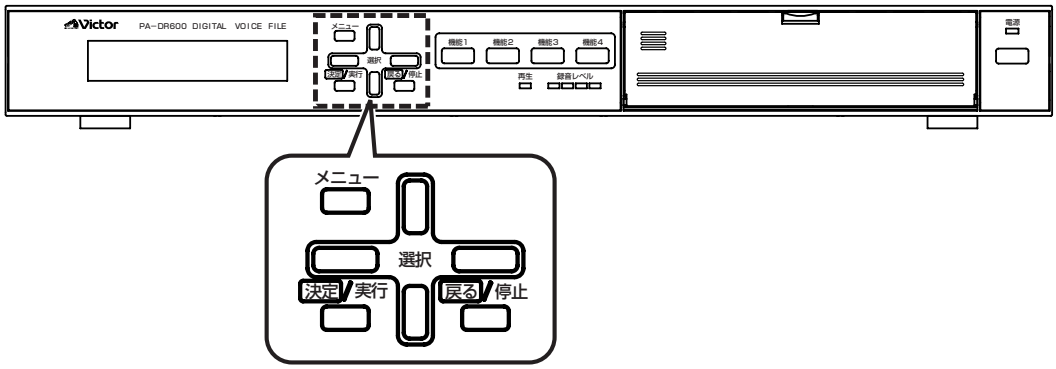
③ ： メモリーカードに異常がある可能性があります。正常なデータが保存されているか確認してください。指定のメモリーカードを使用していない場合は、指定のメモリーカードを使用してください。

④ ： 通信用ケーブルの接続、接続した外部機器に異常が無いかを確認してください。

※②、③、④ の対応を行なっても、再度エラーが発生する場合は、販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

バージョン表示

現在使用中のソフトウェアとハードウェアのバージョンを確認することができます。



1. メインメニュー画面を表示する

・システム動作実行中の場合は、必ずシステム動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 10 ページ「システム動作を停止する」参照）
・待機中画面を表示し、【メニュー】ボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

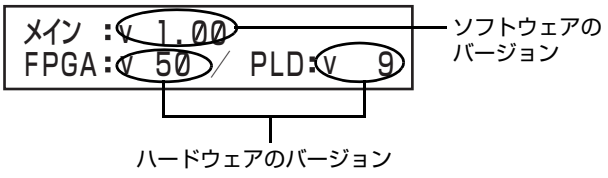
メインメニューから『6. メンテナンスメニュー』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
6.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
6-1.CFﾃｲｼ
```

＜メンテナンスメニュー画面＞

3. バージョン確認画面を表示する

メンテナンスメニュー画面から、『6-8. バージョン』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。



＜バージョン確認画面＞

メモ

- 【決定/ 実行】ボタンまたは【戻る/ 停止】ボタンを押すと、メンテナンスメニュー画面に戻ります。

こんなときは

ご使用中に「故障かな？」と思ったら下表または「各種エラー表示」(☞ 90 ページ)を参考に確認をしてください。それでも直らない場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご連絡ください。

症　状	確　認	処　置	参照ページ
電源が入らない	電源コードが抜けていませんか。	電源コードを接続してください。	−
ボタンを押しても反応がない	ボタンをロックしていませんか。	ボタンのロックを解除します。	12
LCD 画面が見にくい	バックライトが消灯していませんか。	バックライトの設定を『テントウ』にしてください。	48
再生されないファイルがある	2 元出力モードで、対応していない録音方式のファイルを使用していませんか。	2 元出力モードでは、「スタンダード - モノラル」と「ロング - モノラル」で録音されたファイルしか使用できません。ファイル編集メニューで、フォーマット変換してください。	54
	1 元 4 出力モードで、ステレオ録音したファイルを使用していませんか。	1 元 4 出力モードでは、モノラル録音されたファイルしか使用できません。ファイル編集メニューでモノラルに変換してください。	54
録音中にヘッドホンから音声が聞えない	本機の仕様です。録音中の音声を聞くことはできません。	録音を停止すると、録音したファイルを保存する前に試聴することができます。	33
本機前面のマイク入力端子から録音したとき、Rch が無音、または別の音声が録音されている	ステレオモードで録音していませんか。ステレオモードで録音すると、Rch には本機背面の外部入力端子に接続された外部機器の音声が録音されてしまいます。	本機前面のマイク入力端子は、モノラル録音専用です。モノラルモードで録音してください。 マイク入力端子から録音する場合、外部入力端子に接続した外部機器は停止してください。モニターから音声が聞こえてしまいます。	32
本機背面の外部入力端子から録音したとき、Lch の音だけ歪む	本機前面のカバー内の、マイク / ライン切換えスイッチが「マイク」側になっていませんか。	マイク / ライン切換えスイッチを「ライン」側に設定してください。	24
本機背面の外部入力端子から録音するとき、音量が小さい部分でモニターしている音声が途切れることがある	優先音源の設定が『ガイブ』になっていませんか。	録音される音声には影響ありません。試聴で確認してください。 ※ 優先音源の設定が『ガイブ』になっている場合、音声レベルを検知して出力させています。	33
録音または設定中にメッセージが表示される	表示されている内容を確認してください。	「各種エラー表示」を参考に対応してください。	90
連動出力端子を『レンドウ』に設定すると、出力されない。	2 元出力モードで使用していませんか。	2 元出力モードでは、『レンドウ』設定は使用できません。無効となります。	72
外部入力から音声が途切れる	優先音源の設定が『ガイブ』になっていませんか。	優先音源の設定が『ガイブ』の場合、音声レベルを検知して出力しています。音量を下げたい場合は、外部音声機器のレベルを定格(− 10 dBs)に設定し、本機の「外部入力レベル」設定で音量を調節してください。	75
	外部音声機器の出力レベルは小さくなっていないですか。		

各種エラー表示

動作中のエラー表示

エラー内容	原因	処置	参照ページ
『*CF カクニン』	電源オン時に、メモリーカードが本機に挿入されていません。	メモリーカードを本機に正しく挿入してください。	27
『*CF イジョウ』 または 『*CF カクニン』	メモリーカードのデータを正常に読み込めないときに表示されます。	正常なデータが保存されたメモリーカードを本機に再度挿入してください。	27
	指定のメモリーカード以外を使用したときに表示されます。	指定のメモリーカードを使用してください。	3
『プレイリストヲセッテイシテクダサイ』	起動番号または機能ボタンにプレイリストが設定されていないときに表示されます。	プレイリストを設定してください。	59
『E』	再生時に、メモリーカードのデータが正常に読み込めなかったときに表示されます。	正常なデータが保存されたメモリーカードを本機に再度挿入してください。	27
	再生中のプレイリストに、録音していないファイル番号が設定されていませんか。	録音済みのファイル番号を設定してください。	59
	2 元出力 /1 元 4 出力モードでステレオ録音したファイルを使用していませんか。	モノラル録音のファイルを使用してください。	31
『* エラーハッセイ SRAM』	本機が故障している可能性があります。	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。	—
『* エラーハッセイ FPGA』	本機が故障している可能性があります。	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。	—
『* エラーハッセイ CPLD』	本機が故障している可能性があります。	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。	—

録音中のエラー表示

エラー内容	原因	処置	参照ページ
『*CF ホゾンエラー』	録音時に、データをメモリーカードに保存できなかったときに表示します。	メモリーカードに異常がある可能性があります。	—
	指定品以外のメモリーカードを使用していませんか。	指定のメモリーカードを使用してください。	3
『* アキプレイリストナシ』	録音時、すでに 999 個のプレイリストを作成済みで空きがありません。	不要なプレイリストを削除してください。	67
『* アキヨウリョウガタリマセン』	録音中に、メモリーカードの空き容量が無くなりました。	不要なファイルを削除してください。	57
『* アキファイルナシ』	録音時、すでに 999 個のファイルを作成済みで空きがありません。	不要なファイルを削除してください。	57

設定、編集中のエラー表示

エラー内容	原因	処置	参照ページ
『*CF ホゾンエラー』	録音時に、データをメモリーカードに保存できなかったときに表示します。	メモリーカードに異常がある可能性があります。	―
	指定品以外のメモリーカードを使用していませんか。	指定のメモリーカードを使用してください。	3
『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』	設定および編集時、ファイルが登録されていないプレイリストを選択したときに表示されます。	ファイルが登録されているプレイリストを選択してください。	59
『* メッセージスウガサイダイデス』	プレイリスト作成時、1 つのプレイリストに登録するメッセージが 100 個を超える場合に表示されます。	別のプレイリストを作成してください。	59
『* アキプレイリストナシ』	プレイリストのコピー時、すでに 999 個のプレイリストを作成済みで空きがありません。	不要なプレイリストを削除してください。	67
『* アキヨウリョウガタリマセン』	ファイル編集の処理中にメモリーカードの空き容量が無くなりました。 ※ ファイル編集を行うには、選択したファイルと同程度の空き容量が必要です。	不要なファイルを削除してください。	57
『* ロクオンファイルナシ』	プレイリスト設定や、ファイル編集中に、録音されていないファイル番号を選択していませんか。	ファイル番号を確認してください。	―
		録音済みのファイル番号を選択してください。	―
『* コノファイルハヘンカンデキマセン』	フォーマット変換の設定で、変換元のファイルを「ロング - モノラル」形式のファイルを選択していませんか。	「ロング - モノラル」形式のファイルは他のフォーマットに変換できません。 フォーマットを統一する必要がある場合は、他のファイルのフォーマットを変換してください。	54
『* ファイルガスデニアリマス』	ファイル編集のファイルコピーで、録音済みのファイル番号をコピー先に選択していませんか。	空いているファイル番号を選択してください。	56
『* シュツリョクガセッテイサレテイマセン』	1 元 4 出力モードの出力先設定で、出力先が 1 つも選択されていません。	1 つ以上の出力先を選択してください。	47
『* ファイルエラー』	『ファイルサイセイ』メニューで録音していないファイル番号を選択していませんか。	録音済みのファイル番号を選択してください。	34
『* ファイルヲサクジョシテクダサイ』	制御入力 12 による録音時に、ファイルが消去されていません。	録音する前にファイルを消去してください。	80
『* ファイルガアリマセン』	制御入力 11 による消去時に、すでにファイルが消去されています。	必要に応じて録音を行なってください。	81

保証とアフターサービスについて

証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望ににより有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	:デジタルボイスファイル
品番	:PA-DR600
お買い上げ日	:
故障の状況	:故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

●メモリーカード部

サンプリング周波数(Fs)：44.1 kHz, 22.05 kHz
信号処理方式：16 Bit リニア PCM、8 Bit μ-law
チャンネル数：ステレオ(Fs=22.05 kHz のみ)、モノラル
最大記録時間(512 MB カード使用時)：約 1 時間 30 分
(ハイ - スタンダード - モノラル)
約 6 時間(ロング - モノラル)
最大録音ファイル数：999
最大プレイリスト数：999(1 プレイリストあたり最大 100 ファイル登録可能)
メモリーカード：デジタルメモリーカード(別売)
品番:QAM0961-001 (128 MB)
QAM0961-002 (512 MB)

●音声出力部

ライン出力
端子：RCA ピンジャック、
L(1)/R(2)/3/4
(1 元モード:L/R またはモノラル使用時は L に接続)
(2 元モード:1、2に接続)
(1 元 4 出力モード:1、2、3、4に接続)
出力インピーダンス：100 Ω 不平衡(適合負荷 10 kΩ 以上)
出力レベル：基準 − 10 dBs
最大 8.2 dBs(メインボリューム最大)
周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz ± 2 dB

ヘッドホン出力
端子：φ3.5 複式ミニジャック
出力レベル：3 mW + 3 mW (8 Ω ～ 32 Ω 適合)

モニタースピーカー：100 mW

●音声入力部

外部入力(ステレオライン録音入力兼用)
端子：RCA ピンジャック、
L/R(モノラル使用時は、L に接続)
入力レベル / インピーダンス：− 10 dBs/5 kΩ 不平衡

録音入力
端子：φ3.5 複式ミニジャック、
ステレオ入力時 L/R ミックス
入力レベル / インピーダンス：マイク時; − 54 dBs / 10 kΩ 不平衡
ライン時; − 10 dBs / 5 kΩ 不平衡

●制御入出力部

制御入力(× 15)：無電圧メーク接点およびオープンコレクタ出力に適合、ネジ式端子
制御出力：アンプ電源制御出力;
リレー接点(DC 30 V, 1 A, ネジ式端子)
連動出力;
リレー接点(DC 30 V, 1 A, ネジ式端子)
通信ポート：USB B タイプ(前面)
RS-232C, D-SUB 9ピンオス(背面)

●操作部

表示：LCD 表示;
20 文字× 2 行(バックライト付き)
電源表示;LED × 1
再生動作表示;LED × 1
録音レベル表示;LED × 4
操作スイッチ：【電源】ボタン
【選択】上、下、右、左ボタン、
【機能】1,2,3,4 ボタン、
【メニュー】ボタン、
【決定/実行】ボタン
【戻る/停止】ボタン

●総合部

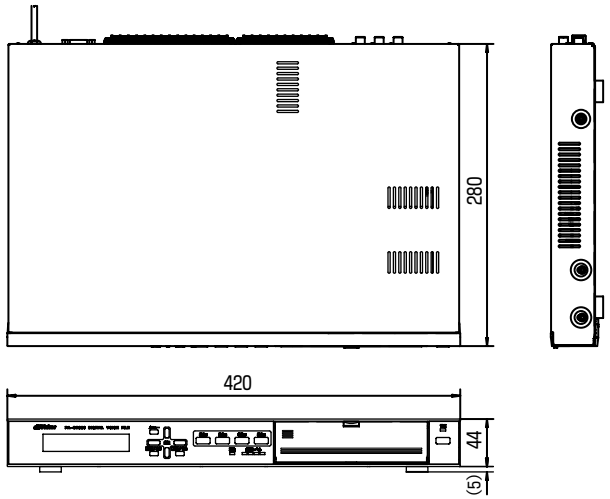
電源：AC 100 V 50 Hz/60 Hz、DC 24 V
消費電力：9 W
使用温度範囲：0 ℃～ 40 ℃
質量：約 3.3 kg
寸法：420 mm × 44 mm × 280 mm
(幅×高さ×奥行き)、(突起部含まず)

仕上げ
フロントパネル：ライトグレーABS 樹脂(マンセル 3Y6/0.6 近似、日塗工 CN-65(2005 年) 近似)
トップカバー：ライトグレー塗装鋼板(マンセル 3Y6/0.6 近似、日塗工 CN-65(2005 年) 近似)
適合ラックマウント金具：ラックマウント金具 PA-U11(EIA 1U)

●付属品・添付物

取扱説明書(本書)× 1
保証書× 1
安全上のご注意× 1
ビクターサービス窓口案内× 1

■外形寸法図(単位:mm)



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

■2 進数(バイナリ)番号 - 起動番号対応表 「0」=オフ 「1」=オン

起動番号	制御入力									
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
E001	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
E002	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
E003	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
E004	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
E005	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
E006	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
E007	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
E008	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
E009	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
E010	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
E011	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
E012	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
E013	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
E014	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
E015	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
E016	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
E017	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
E018	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
E019	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
E020	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
E021	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
E022	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0
E023	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1
E024	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
E025	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
E026	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
E027	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
E028	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
E029	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1
E030	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0
E031	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
E032	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
E033	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
E034	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
E035	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
E036	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
E037	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
E038	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0
E039	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1
E040	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
E041	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1
E042	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
E043	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1
E044	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0
E045	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
E046	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0
E047	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1
E048	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
E049	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
E050	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0
E051	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
E052	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0
E053	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1
E054	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0
E055	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1
E056	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
E057	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1
E058	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0
E059	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1
E060	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0
E061	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1
E062	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0
E063	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
E064	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
E065	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
E066	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
E067	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
E068	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
E069	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
E070	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0
E071	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1
E072	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
E073	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
E074	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0
E075	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1
E076	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
E077	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1
E078	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0
E079	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1
E080	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
E081	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
E082	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
E083	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1
E084	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0
E085	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1
E086	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0
E087	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1
E088	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
E089	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1
E090	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0
E091	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1
E092	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0
E093	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1
E094	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0
E095	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1
E096	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
E097	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
E098	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
E099	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1
E100	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0
E101	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1
E102	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0
E103	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1
E104	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0
E105	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1
E106	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0
E107	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1
E108	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0
E109	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1
E110	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0
E111	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1
E112	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0
E113	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1
E114	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0
E115	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1
E116	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0
E117	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1
E118	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0
E119	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1
E120	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0
E121	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1
E122	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0
E123	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1
E124	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0
E125	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1
E126	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0
E127	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
E128	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
E129	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
E130	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
E131	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
E132	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
E133	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
E134	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0
E135	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1
E136	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
E137	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
E138	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
E139	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1
E140	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0
E141	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1
E142	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0
E143	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1
E144	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
E145	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
E146	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
E147	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1
E148	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0
E149	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1
E150	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0
E151	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1
E152	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
E153	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1
E154	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0
E155	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1
E156	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0
E157	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1
E158	0	0	1	0	0	1	1	1	1	0
E159	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1
E160	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
E161	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1
E162	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0
E163	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1
E164	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0
E165	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1
E166	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0
E167	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1
E168	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0
E169	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1
E170	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
E171	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1
E172	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0
E173	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1
E174	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0
E175	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1
E176	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
E177	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1
E178	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0
E179	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1
E180	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0
E181	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1
E182	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0
E183	0	0	1	0	1	1	0	1	1	1
E184	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0
E185	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1
E186	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0
E187	0	0	1	0	1	1	1	0	1	1
E188	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0
E189	0	0	1	0	1	1	1	1	0	1
E190	0	0	1	0	1	1	1	1	1	0
E191	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1
E192	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
E193	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1
E194	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0
E195	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
E196	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0
E197	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1
E198	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0
E199	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1
E200	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0
E201	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1
E202	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0
E203	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1
E204	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0
E205	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1
E206	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0
E207	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1
E208	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0
E209	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1
E210	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0
E211	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1
E212	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0
E213	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1
E214	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0
E215	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1
E216	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0
E217	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1
E218	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0
E219	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1
E220	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0
E221	0	0	1	1	0	1	1	1	0	1
E222	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0
E223	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1
E224	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
E225	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1
E226	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0
E227	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1
E228	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0
E229	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1
E230	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0
E231	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1
E232	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0
E233	0	0	1	1	1	0	1	0	0	1
E234	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0
E235	0	0	1	1	1	0	1	0	1	1
E236	0	0	1	1	1	0	1	1	0	0
E237	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1
E238	0	0	1	1	1	0	1	1	1	0
E239	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1
E240	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0
E241	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1
E242	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0
E243	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1
E244	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0
E245	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1
E246	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0
E247	0	0	1	1	1	1	0	1	1	1
E248	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0
E249	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1
E250	0	0	1	1	1	1	1	0	1	0
E251	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1
E252	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0
E253	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1
E254	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0
E255	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
E256	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
E257	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
E258	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
E259	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
E260	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
E261	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
E262	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0
E263	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1
E264	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
E265	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1
E266	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0
E267	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1
E268	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0
E269	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1
E270	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0
E271	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1
E272	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
E273	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
E274	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
E275	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1
E276	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0
E277	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1
E278	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0
E279	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1
E280	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
E281	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1
E282	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0
E283	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1
E284	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0
E285	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1
E286	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0
E287	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1
E288	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
E289	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
E290	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0
E291	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1
E292	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
E293	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1
E294	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0
E295	0	1	0	0	1	0	0	1	1	1
E296	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0
E297	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
E298	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0
E299	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1
E300	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0
E301	0	1	0	0	1	0	1	1	0	1
E302	0	1	0	0	1	0	1	1	1	0
E303	0	1	0	0	1	0	1	1	1	1
E304	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0
E305	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1
E306	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0
E307	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1
E308	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0
E309	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1
E310	0	1	0	0	1	1	0	1	1	0
E311	0	1	0	0	1	1	0	1	1	1
E312	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0
E313	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1
E314	0	1	0	0	1	1	1	0	1	0
E315	0	1	0	0	1	1	1	0	1	1
E316	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0
E317	0	1	0	0	1	1	1	1	0	1
E318	0	1	0	0	1	1	1	1	1	0
E319	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1
E320	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
E321	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
E322	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
E323	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1
E324	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0
E325	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
E326	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0
E327	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1
E328	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0
E329	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1
E330	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0
E331	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1
E332	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0
E333	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1
E334	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0
E335	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1
E336	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0
E337	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1
E338	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0
E339	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1
E340	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0
E341	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
E342	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0

起動番号	制御入力										
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
E343	0	1	0	1	0	1	0	1	1	1	
E344	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	
E345	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	
E346	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	
E347	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	
E348	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	
E349	0	1	0	1	0	1	1	1	0	1	
E350	0	1	0	1	0	1	1	1	1	0	
E351	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1	
E352	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	
E353	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	
E354	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	
E355	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	
E356	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	
E357	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1	
E358	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	
E359	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1	
E360	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	
E361	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	
E362	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	
E363	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	
E364	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	
E365	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
E366	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	
E367	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	
E368	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	
E369	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	
E370	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	
E371	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	
E372	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	
E373	0	1	0	1	1	1	0	1	0	1	
E374	0	1	0	1	1	1	0	1	1	0	
E375	0	1	0	1	1	1	0	1	1	1	
E376	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	
E377	0	1	0	1	1	1	1	0	0	1	
E378	0	1	0	1	1	1	1	0	1	0	
E379	0	1	0	1	1	1	1	0	1	1	
E380	0	1	0	1	1	1	1	1	0	0	
E381	0	1	0	1	1	1	1	1	0	1	
E382	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0	
E383	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	
E384	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
E385	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	
E386	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	
E387	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	
E388	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	
E389	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	
E390	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	
E391	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	
E392	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	
E393	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	
E394	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	
E395	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	
E396	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	
E397	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	
E398	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	
E399	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	
E400	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	
E401	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	
E402	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	
E403	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	
E404	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	
E405	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	
E406	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	
E407	0	1	1	0	0	1	0	1	1	1	
E408	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	
E409	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	
E410	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	
E411	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	
E412	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	
E413	0	1	1	0	0	1	1	1	0	1	
E414	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	
E415	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	
E416	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	
E417	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	
E418	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	
E419	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	
E420	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	
E421	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	
E422	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	
E423	0	1	1	0	1	0	0	1	1	1	
E424	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	
E425	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	
E426	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	
E427	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	

起動番号	制御入力										
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
E428	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	
E429	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	
E430	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	
E431	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	
E432	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	
E433	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	
E434	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	
E435	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	
E436	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	
E437	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	
E438	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	
E439	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	
E440	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	
E441	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	
E442	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	
E443	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	
E444	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	
E445	0	1	1	0	1	1	1	1	0	1	
E446	0	1	1	0	1	1	1	1	1	0	
E447	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	
E448	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	
E449	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	
E450	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	
E451	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	
E452	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	
E453	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	
E454	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	
E455	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1	
E456	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	
E457	0	1	1	1	0	0	1	0	0	1	
E458	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	
E459	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1	
E460	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	
E461	0	1	1	1	0	0	1	1	0	1	
E462	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	
E463	0	1	1	1	0	0	1	1	1	1	
E464	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	
E465	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	
E466	0	1	1	1	0	1	0	0	1	0	
E467	0	1	1	1	0	1	0	0	1	1	
E468	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	
E469	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	
E470	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	
E471	0	1	1	1	0	1	0	1	1	1	
E472	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	
E473	0	1	1	1	0	1	1	0	0	1	
E474	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	
E475	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	
E476	0	1	1	1	0	1	1	1	0	0	
E477	0	1	1	1	0	1	1	1	0	1	
E478	0	1	1	1	0	1	1	1	1	0	
E479	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	
E480	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	
E481	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	
E482	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	
E483	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	
E484	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	
E485	0	1	1	1	1	0	0	1	0	1	
E486	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	
E487	0	1	1	1	1	0	0	1	1	1	
E488	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	
E489	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1	
E490	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0	
E491	0	1	1	1	1	0	1	0	1	1	
E492	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	
E493	0	1	1	1	1	0	1	1	0	1	
E494	0	1	1	1	1	0	1	1	1	0	
E495	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	
E496	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	
E497	0	1	1	1	1	1	0	0	0	1	
E498	0	1	1	1	1	1	0	0	1	0	
E499	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1	
E500	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0	
E501	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1	
E502	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0	
E503	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	
E504	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	
E505	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	
E506	0	1	1	1	1	1	1	0	1	0	
E507	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	
E508	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	
E509	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	
E510	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	
E511	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
E512	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

起動番号	制御入力										
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
E513	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
E514	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
E515	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
E516	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
E517	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
E518	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
E519	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
E520	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
E521	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
E522	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	
E523	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	
E524	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
E525	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	
E526	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	
E527	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
E528	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
E529	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
E530	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
E531	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	
E532	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	
E533	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	
E534	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	
E535	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	
E536	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
E537	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
E538	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	
E539	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
E540	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	
E541	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	
E542	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	
E543	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	
E544	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
E545	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
E546	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	
E547	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	
E548	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	
E549	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	
E550	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	
E551	1	0	0	0	1	0	0	1	1	1	
E552	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
E553	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	
E554	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	
E555	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	
E556	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	
E557	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	
E558	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	
E559	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	
E560	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
E561	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	
E562	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	
E563	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	
E564	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	
E565	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	
E566	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	
E567	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	
E568	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	
E569	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	
E570	1	0	0	0	1	1	1	0	1	0	
E571	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	
E572	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	
E573	1	0	0	0	1	1	1	1	0	1	
E574	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	
E575	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	
E576	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
E577	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
E578	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	
E579	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	
E580	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
E581	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	
E582	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	
E583	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	
E584	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
E585	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
E586	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	
E587	1	0	0	1	0	0	1	0	1	1	
E588	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	
E589	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	
E590	1	0	0	1	0	0	1	1	1	0	
E591	1	0	0	1	0	0	1	1	1	1	
E592	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
E593	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	
E594	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	
E595	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	
E596	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	
E597	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	

起動番号	制御入力										
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
E598	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	
E599	1	0	0	1	0	1	0	1	1	1	
E600	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	
E601	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	
E602	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	
E603	1	0	0	1	0	1	1	0	1	1	
E604	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	
E605	1	0	0	1	0	1	1	1	0	1	
E606	1	0	0	1	0	1	1	1	1	0	
E607	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	
E608	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	
E609	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	
E610	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	
E611	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	
E612	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	
E613	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	
E614	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	
E615	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	
E616	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	
E617	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	
E618	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	
E619	1	0	0	1	1	0	1	0	1	1	
E620	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	
E621	1	0	0	1	1	0	1	1	0	1	
E622	1	0	0	1	1	0	1	1	1	0	
E623	1	0	0	1	1	0	1	1	1	1	
E624	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	
E625	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	
E626	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0	
E627	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	
E628	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	
E629	1	0	0	1	1	1	0	1	0	1	
E630	1	0	0	1	1	1	0	1	1	0	
E631	1	0	0	1	1	1	0	1	1	1	
E632	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	
E633	1	0	0	1	1	1	1	0	0	1	
E634	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	
E635	1	0	0	1	1	1	1	0	1	1	
E636	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	
E637	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1	
E638	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	
E639	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	
E640	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
E641	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
E642	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
E643	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	
E644	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
E645	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	
E646	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	
E647	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	
E648	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	
E649	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	
E650	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	
E651	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	
E652	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	
E653	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	
E654	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	
E655	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1	
E656	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
E657	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	
E658	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
E659	1	0	1	0	0	1	0	0	1	1	
E660	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	
E661	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	
E662	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	
E663	1	0	1	0	0	1	0	1	1	1	
E664	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	
E665	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	
E666	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	
E667	1	0	1	0	0	1	1	0	1	1	
E668	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	
E669	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1	
E670	1	0	1	0	0	1	1	1	1	0	
E671	1	0	1	0	0	1	1	1	1	1	
E672	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
E673	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	
E674	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	

■2 進数(バイナリ)番号 - 起動番号対応表(つづき)　「0」=オフ「1」=オン

起動番号	制御入力									
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
E683	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1
E684	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0
E685	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1
E686	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0
E687	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1
E688	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0
E689	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1
E690	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0
E691	1	0	1	0	1	1	0	0	1	1
E692	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0
E693	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1
E694	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0
E695	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1
E696	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0
E697	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1
E698	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0
E699	1	0	1	0	1	1	1	0	1	1
E700	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0
E701	1	0	1	0	1	1	1	1	0	1
E702	1	0	1	0	1	1	1	1	1	0
E703	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1
E704	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
E705	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1
E706	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0
E707	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1
E708	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0
E709	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1
E710	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0
E711	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1
E712	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0
E713	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1
E714	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0
E715	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1
E716	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0
E717	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1
E718	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0
E719	1	0	1	1	0	0	1	1	1	1
E720	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0
E721	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1
E722	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0
E723	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1
E724	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0
E725	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
E726	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0
E727	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1
E728	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0
E729	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1
E730	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0
E731	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1
E732	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0
E733	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1
E734	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0
E735	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1
E736	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0
E737	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1
E738	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0
E739	1	0	1	1	1	0	0	0	1	1
E740	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0
E741	1	0	1	1	1	0	0	1	0	1
E742	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0
E743	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1
E744	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0
E745	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1
E746	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0
E747	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1
E748	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0
E749	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1
E750	1	0	1	1	1	0	1	1	1	0
E751	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1
E752	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0
E753	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1
E754	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0
E755	1	0	1	1	1	1	0	0	1	1
E756	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0
E757	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1
E758	1	0	1	1	1	1	0	1	1	0
E759	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1
E760	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0
E761	1	0	1	1	1	1	1	0	0	1
E762	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0
E763	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1
E764	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0
E765	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1
E766	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0
E767	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1
E768	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

起動番号	制御入力									
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
E769	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
E770	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
E771	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
E772	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
E773	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1
E774	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0
E775	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1
E776	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
E777	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1
E778	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0
E779	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1
E780	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0
E781	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1
E782	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0
E783	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
E784	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
E785	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1
E786	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0
E787	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1
E788	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0
E789	1	1	0	0	0	1	0	1	0	1
E790	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0
E791	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1
E792	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0
E793	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1
E794	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0
E795	1	1	0	0	0	1	1	0	1	1
E796	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0
E797	1	1	0	0	0	1	1	1	0	1
E798	1	1	0	0	0	1	1	1	1	0
E799	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1
E800	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
E801	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1
E802	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0
E803	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1
E804	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0
E805	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1
E806	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0
E807	1	1	0	0	1	0	0	1	1	1
E808	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0
E809	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1
E810	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0
E811	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1
E812	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0
E813	1	1	0	0	1	0	1	1	0	1
E814	1	1	0	0	1	0	1	1	1	0
E815	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1
E816	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0
E817	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1
E818	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0
E819	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
E820	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0
E821	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1
E822	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0
E823	1	1	0	0	1	1	0	1	1	1
E824	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0
E825	1	1	0	0	1	1	1	0	0	1
E826	1	1	0	0	1	1	1	0	1	0
E827	1	1	0	0	1	1	1	0	1	1
E828	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0
E829	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1
E830	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0
E831	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1
E832	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
E833	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1
E834	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0
E835	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1
E836	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0
E837	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1
E838	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0
E839	1	1	0	1	0	0	0	1	1	1
E840	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0
E841	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1
E842	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0
E843	1	1	0	1	0	0	1	0	1	1
E844	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0
E845	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1
E846	1	1	0	1	0	0	1	1	1	0
E847	1	1	0	1	0	0	1	1	1	1
E848	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0
E849	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1
E850	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0
E851	1	1	0	1	0	1	0	0	1	1
E852	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0
E853	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1
E854	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0

起動番号	制御入力									
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
E855	1	1	0	1	0	1	0	1	1	1
E856	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0
E857	1	1	0	1	0	1	1	0	0	1
E858	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0
E859	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1
E860	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0
E861	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1
E862	1	1	0	1	0	1	1	1	1	0
E863	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1
E864	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0
E865	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1
E866	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0
E867	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1
E868	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0
E869	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1
E870	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
E871	1	1	0	1	1	0	0	1	1	1
E872	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0
E873	1	1	0	1	1	0	1	0	0	1
E874	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0
E875	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1
E876	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0
E877	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1
E878	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0
E879	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1
E880	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0
E881	1	1	0	1	1	1	0	0	0	1
E882	1	1	0	1	1	1	0	0	1	0
E883	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1
E884	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0
E885	1	1	0	1	1	1	0	1	0	1
E886	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0
E887	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1
E888	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0
E889	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1
E890	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0
E891	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1
E892	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0
E893	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1
E894	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0
E895	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1
E896	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
E897	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1
E898	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0
E899	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1
E900	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0
E901	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1
E902	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0
E903	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1
E904	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0
E905	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1
E906	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0
E907	1	1	1	0	0	0	1	0	1	1
E908	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0
E909	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1
E910	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0
E911	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1
E912	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0
E913	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1
E914	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0
E915	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1
E916	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0
E917	1	1	1	0	0	1	0	1	0	1
E918	1	1	1	0	0	1	0	1	1	0
E919	1	1	1	0	0	1	0	1	1	1
E920	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0
E921	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1
E922	1	1	1	0	0	1	1	0	1	0
E923	1	1	1	0	0	1	1	0	1	1
E924	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0
E925	1	1	1	0	0	1	1	1	0	1
E926	1	1	1	0	0	1	1	1	1	0
E927	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1
E928	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0
E929	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1
E930	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0
E931	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1
E932	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0
E933	1	1	1	0	1	0	0	1	0	1
E934	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0
E935	1	1	1	0	1	0	0	1	1	1
E936	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0
E937	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1
E938	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0
E939	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1
E940	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0

起動番号	制御入力									
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
E941	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1
E942	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0
E943	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1
E944	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0
E945	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1
E946	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0
E947	1	1	1	0	1	1	0	0	1	1
E948	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0
E949	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1
E950	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0
E951	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1
E952	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0
E953	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1
E954	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0
E955	1	1	1	0	1	1	1	0	1	1
E956	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0
E957	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1
E958	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0
E959	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1
E960	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
E961	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1
E962	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0
E963	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1
E964	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0
E965	1	1	1	1	0	0	0	1	0	1
E966	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0
E967	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1
E968	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0
E969	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1
E970	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0
E971	1	1	1	1	0	0	1	0	1	1
E972	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0
E973	1	1	1	1	0	0	1	1	0	1
E974	1	1	1	1	0	0	1	1	1	0
E975	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1
E976	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0
E977	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1
E978	1	1	1	1	0	1	0	0	1	0
E979	1	1	1	1	0	1	0	0	1	1
E980	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0
E981	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1
E982	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0
E983	1	1	1	1	0	1	0	1	1	1
E984	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0
E985	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1
E986	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0
E987	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1
E988	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0
E989	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1
E990	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0
E991	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1
E992	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
E993	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1
E994	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0
E995	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1
E996	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0
E997	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1
E998	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0
E999	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1

＜コピーしてお使いください＞

■プレイリスト設定シート

プレイリスト番号				
プレイリスト名				
メッセージ番号	ファイル番号	音量	ブランク時間	メッセージ内容

PA－DR600　デジタルボイスファイル

お客様ご相談センター

フリーダイヤル
0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950［代表］
FAX (045)450-2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（042）660-7203

© 2006 Victor Company of Japan, Limited

LST0410-001B